

**令和6年度町民アンケート調査
結果報告書**

**令和6年11月
香美町**

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査方法	1
4. 報告書の見方	1
II. 調査結果概要	2
1. まちへの愛着度	2
2. まちへの定住意向	2
3. 「住み続けたい」と考える理由	2
4. 「町外へ移りたい」と考える理由	2
5. 香美町で生活する上での困りごと	2
6. 香美町で生活する上での困りごとが生じた際に頼れる人の状況	3
7. 町が実施している施策の満足度・重要度・注力度	3
8. 町が実施している施策の評価結果	4
9. 町が実施している施策の満足度の上位及び下位 3 項目	6
10. 町が実施している施策の重要度の上位及び下位 3 項目	6
11. 町が実施している施策の注力度の上位及び下位 3 項目	7
III. 調査結果	8
1. あなたご自身とご家族の状況などについてお伺いします。	8
問 1 あなたの性別を選択してください。(1つだけ○)	8
問 2 あなたの現在の年齢を選択してください。(1つだけ○)	8
問 3 あなたの居住地区を選択してください。(1つだけ○)	9
問 4 家族構成(世帯)を選択してください。(1つだけ○)	9
問 5 現在の職業を選択してください。(1つだけ○)(兼業の方は主な職業を1つだけ○)	10
問 6 あなたが同居している方を選択してください。(あてはまるものすべてに○)	10
問 7 現在の通勤・通学先を選択してください。(1つだけ○)	11
問 8 香美町にお住まいになって、通算で何年になりますか。(1つだけ○)	12
2. まちへの愛着度・定住意向についてお伺いします。	13
問 9 香美町に対して、愛着を感じていますか。(1つだけ○)	13
問 10 これからも香美町に住みたいと思いますか。(1つだけ○)	14
問 10-1 「1 住み続けたい」と考える理由を選択してください(3つまで○)	15
問 10-2 「2 町外へ移りたい」と考える理由を選択してください(3つまで○)	16
3. 香美町で生活する上での困りごとについてお伺いします。	17
問 11 香美町で生活するに当たり、普段どのようなことに困りごとが生じますか。(あてはまるものすべてに○)	17
問 12 香美町で生活するに当たり、困りごとが生じた際に頼れる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)	19

4. 町が実施している施策の満足度、今後の重要度・注力度	21
基本方針Ⅰ ふるさとを担う子どもを育むまち	39
問 13 「地域で子育てを担うまちの推進」について	39
問 14 「学校と地域がつながるまちの推進」について	43
問 15 「生涯を通じ学び合うまちの推進」について	47
問 16 「文化を育み創るまちの推進」について	52
基本方針Ⅱ 若者がいきいきと働くまち	56
問 17 「地域を担う産業人を育むまちの推進」について	56
問 18 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」について	60
問 19 「水産業を振興するまちの推進」について	64
問 20 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」について	68
基本方針Ⅲ みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち	72
問 21 「健やかに暮らせるまちの推進」について	72
問 22 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」について	76
問 23 「安全安心に暮らせるまちの推進」について	80
基本方針Ⅳ みんなで創る魅力あるまち	85
問 24 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」について	85
問 25 「交通網が充実したまちの推進」について	90
問 26 「快適で心地よい住環境のまちの推進」について	95
問 27 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」について	99
基本方針Ⅴ 地域の豊かな資源を生かすまち	104
問 28 「自然と共生するまちの推進」について	104
問 29 「環境への責任を果たすまちの推進」について	108
基本方針Ⅵ 協働によるまちづくりの推進	113
問 30 「協働で築かれるまちの推進」について	113
問 31 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」について	117
基本方針Ⅶ 経営的視点にたった行財政運営の推進	121
問 32 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」について	121

I. 調査概要

1. 調査目的

香美町では、「香美町総合計画」に基づき、まちの将来像である「こどもたちに 夢と未来をつなぐまち」の実現を目指して、計画的なまちづくりを進めていますが、著しい社会情勢の変化に対応したよりよいまちづくりを進めるため、「第3次香美町総合計画（計画期間：2026年度～2030年度）」を策定することとしています。

策定に当たって、町民の皆さまの意向や町の施策の満足度、重要度などについて把握し、今後のまちづくりを進めるための貴重な資料とするため、18歳以上の町民の皆さまの中から、無作為に抽出した2,000人の方を対象に、アンケート調査を実施させていただくこととしました。

2. 調査期間

令和6年8月8日～令和6年9月2日

3. 調査方法

(1) 対象

香美町内在住の18歳以上の方

(2) 回答人数

793人

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収、インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者2,000人に対して、有効回収数793人（郵送609人、WEB184人）、回収率39.7%となりました。

4. 報告書の見方

(1) 数表中のNは、設問に対する回答者数（number of case）を表しています。

(2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入しています。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合があります。

(3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超えます。

(4) 「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載しています。

II. 調査結果概要

1. まちへの愛着度

- 香美町への愛着については、「愛着を感じる」が 77.9%、「愛着を感じない」が 18.2%となっています。
- 年齢別にみると、「愛着を感じる」と答えた方の割合は、「18～19 歳」で 87.5%と最も高く、次いで、「55～59 歳」で 84.1%、「20～24 歳」で 84.0%となっています。
- 居住区別にみると、「香住区」、「村岡区」、「小代区」それぞれで約 8 割の方が「愛着を感じる」と答えています。
- 居住年数別にみると、「1 年未満」で 88.9%と最も高く、次いで、「30 年以上」で 80.1%、「20 年以上 30 年未満」で 76.5%となっています。

2. まちへの定住意向

- これからも香美町に住みたいと思うかについては、「住み続けたい」が 69.6%、「町外へ移りたい」が 27.6%となっています。
- 年齢別にみると、「住み続けたい」と答えた方の割合は、「70 歳以上」が 78.7%と最も高く、次いで、「55～59 歳」で 78.0%、「65～69 歳」で 77.4%となっています。
- 「町外へ移りたい」と答えた方の割合は、「18～19 歳」で 75.0%と最も高く、年齢が上がるにつれて、その割合が低くなる傾向が見られます。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区それぞれで約 7 割の方が「住み続けたい」と答えています。
- 居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた方の割合は、「1 年未満」で 88.9%と最も高く、次いで、「30 年以上」で 74.6%、「10 年以上 20 年未満」で 56.3%となっています。

3. 「住み続けたい」と考える理由

- 「自然環境が豊かである」が 70.8%と最も多く、次いで「働く場が近場にある」が 25.2%、「地域の連帯感がある」が 23.4%となっています。

4. 「町外へ移りたい」と考える理由

- 「買い物不便」が 62.6%と最も多く、次いで「道路・交通の便が悪い」が 48.9%、「働く場が不十分」が 37.0%となっています。

5. 香美町で生活する上での困りごと

- 「買い物」が 61.3%と最も多く、次いで「通院」が 50.1%、「通勤・通学」が 20.6%となっています。
- 年齢別にみると、「18～19 歳」では「買い物」が 87.5%、「通勤・通学」が 62.5%と、他の年齢に比べて高くなっています。また、「45～49 歳」では、「近所づきあい」の割合が他と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、小代区では「買い物」、「通院」と答えた方の割合が、香住区と村岡区に比べてそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。
- 居住年数別にみると、「10 年以上 20 年未満」では「通勤・通学」が 51.6%と、他と比べて高くなっています。

6. 香美町で生活する上での困りごとが生じた際に頼れる人の状況

- 「親戚や親族」が 79.3%と最も多く、次いで「近所の方」が 27.1%、「行政職員」が 10.1%となっています。
- 年齢別にみると、「45～49 歳」、「65～69 歳」では「行政職員」の割合が他と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、小代区では「近所の方」、「行政職員」の割合が、香住区、村岡区と比べて高くなっています。
- 居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて、「親戚や親族」の割合が高くなる傾向が見られます。

7. 町が実施している施策の満足度・重要度・注力度

<満足度が低く、重要度が高い「強化領域」>

- 「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「水産業を振興するまちの推進」、「交通網が充実したまちの推進」の3つの主要施策が分布し、「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「交通網が充実したまちの推進」については、すべての居住地区において、年齢区分別では 18～24 歳を除いて「強化領域」に分布しています。

<満足度が低く、重要度が低い「検討領域」>

- 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」、「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」、「快適で心地よい住環境のまちの推進」、「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」の4つの主要施策が「検討領域」に分布しています。
- 「快適で心地よい住環境のまちの推進」については、すべての地区及び年齢区分において分布し、「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」はすべての地区、年齢区分別では 18～24 歳を除いて分布し、「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」は香住区を除く居住地区及びすべての年齢区分において「検討領域」に分布しています。

<満足度が高く、重要度が高い「向上領域」>

- 「地域で子育てを担うまちの推進」、「学校と地域がつながるまちの推進」、「健やかに暮らせるまちの推進」、「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」、「安全安心に暮らせるまちの推進」、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」、「環境への責任を果たすまちの推進」の7つの主要施策が分布し、基本方針Ⅲのすべてと基本方針Ⅰ、Ⅳ、Ⅴの一部の主要施策が分布しています。
- 「環境への責任を果たすまちの推進」については、すべての地区及び年齢区分において分布し、「学校と地域がつながるまちの推進」はすべての地区、年齢区分別では 18～24 歳を除いて「向上領域」に分布しています。

<満足度が高く、重要度が低い「見直し領域」>

- 「生涯を通じ学び合うまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」、「自然と共生するまちの推進」、「協働で築かれるまちの推進」、「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」、「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」の6つの主要施策が分布しています。
- 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」については、すべての居住地区及び年齢区分において分布しています。

8. 町が実施している施策の評価結果

- 各施策の2軸分析分布状況、満足度等の順位、不満理由については表1のとおりとなり、それぞれの不満理由の解消が求められています。
- 2軸分析については、第2次香美町総合計画後期基本計画に掲げられた主要施策を対象に、満足度・重要度調査を実施し、P21の図4-1をもとに、各主要施策の評価を点数化した上で、加重平均値を算出し、横軸に「満足度」の加重平均値、縦軸に「重要度」の加重平均値を配置し、町の主要施策に対する相対的な町民の意識を分析したものになります。
- 2軸分析のそれぞれの領域については、次のとおりとなります。
「強化領域」：満足度が低く、重要度が高い 「検討領域」：満足度が低く、重要度が低い
「向上領域」：満足度が高く、重要度が高い 「見直し領域」：満足度が高く、重要度が低い

表1 各施策の評価結果（全体）

基本方針	主要施策名	2軸分析 分布領域	満足度 (順位)	重要度 (順位)	注力度 (順位)	不満理由（上位3項目）
基本方針 I	地域で子育てを担う まちの推進	向上領域	8	1	3	1. 子育てに関する経済的支援が不十分 2. 子育て支援施設の数や規模が不十分 3. 子育て支援サービスの取組が不十分
基本方針 I	学校と地域がつなが るまちの推進	向上領域	6	10	9	1. 学校と地域の連携が不十分 2. 学力向上のための取組が不十分 3. ふるさと教育の取組が不十分
基本方針 I	生涯を通じ学び合う まちの推進	見直し領域	7	19	17	1. 参加したい講座・教室がない 2. 学習やスポーツをする場が少ない 3. その他
基本方針 I	文化を育み創るまち の推進	見直し領域	10	20	18	1. 文化芸術を鑑賞する機会が少ない 2. 文化財の保存、継承の取組が不十分 3. 文化芸術・文化財に関する情報提供が不十分
基本方針 II	地域を担う産業人を 育むまちの推進	強化領域	20	7	1	1. 地元で就職するための仕組みが不十分 2. 町外から企業を誘致するための取組が不十分 3. 地元の産業や企業への支援が不十分
基本方針 II	次代を生かす農林業 を振興するまちの推 進	検討領域	18	13	11	1. 有害鳥獣による被害対策が不十分 2. 担い手育成への支援が不十分 3. 農林業者の経営の安定に向けた支援が不十分
基本方針 II	水産業を振興するま ちの推進	強化領域	9	9	6	1. 担い手育成への支援が不十分 2. 漁業者・水産加工事業者の経営の安定に向 けた支援が不十分 3. 地産地消ができる仕組みが不十分
基本方針 II	地域資源を活かし人 と経済の循環を生み だすまちの推進	検討領域	15	12	8	1. 地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が 不十分 2. 持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分 3. 魅力ある祭りやイベントが少ない
基本方針 III	健やかに暮らせるま ちの推進	向上領域	4	4	5	1. 医療施設が少ない 2. 休日・夜間の医療体制が不十分 3. 住民の自主的な健康づくりへの支援が不十分

基本方針	主要施策名	2軸分析 分布領域	満足度 (順位)	重要度 (順位)	注力度 (順位)	不満理由（上位3項目）
基本方針 Ⅲ	みんなで支えあい幸 せに暮らせるまちの推 進	向上領域	5	3	7	1. 高齢者や障害者が自立した生活を送るための 支援が不十分 2. 高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提 供が不十分 3. 高齢者・障害者福祉や介護に関する相談体 制が不十分
基本方針 Ⅲ	安全安心に暮らせる まちの推進	向上領域	2	8	12	1. 防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が 不十分 2. 交通安全に向けた施設整備の取組が不十分 3. 住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓 発が不十分
基本方針 Ⅳ	みんなでつくる災害に 強いまちの推進	向上領域	3	2	4	1. 避難所の運営体制が不安 2. 土砂災害や津波防災対策が不十分 3. 高齢者など災害弱者への対応が不十分
基本方針 Ⅳ	交通網が充実したま ちの推進	強化領域	17	5	2	1. JR が利用しにくい 2. 高速道路など、広域的な道路網の整備が不十 分 3. バスが利用しにくい
基本方針 Ⅳ	快適で心地よい住環 境のまちの推進	検討領域	14	14	13	1. 公園や広場が充実していない 2. 危険な空家対策が不十分 3. 良好な住環境を守るための取組が不十分
基本方針 Ⅳ	住んでみたいまち、住 み続けたいまちの推 進	検討領域	19	15	10	1. 空き家の利活用対策が不十分 2. 町から転出した人に対して、町へ戻り、定住して もらうための仕組みが不十分 3. 移住推進に関する情報発信が不十分
基本方針 Ⅴ	自然と共生するまち の推進	見直し領域	12	17	20	1. 住民主体の環境保全や美化活動への取組が 不十分 2. 再生可能エネルギーの普及支援が不十分 3. 環境保全や美化活動に関する啓発が不十分
基本方針 Ⅴ	環境への責任を果た すまちの推進	向上領域	1	6	15	1. 不法投棄などに対する監視・指導體制が不十 分 2. ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓 発が不十分 3. ごみの分別ルールが不十分
基本方針 Ⅵ	協働で築かれるまち の推進	見直し領域	16	18	19	1. 住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない 2. 住民主体のまちづくり活動の支援が不十分 3. 地域コミュニティの設立に対する支援が不十分
基本方針 Ⅵ	男女共同参画社会 の形成と人権の尊重	見直し領域	13	16	16	1. 町政への女性参画が不十分 2. 男女平等意識を浸透させる啓発が不十分 3. ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援が不 十分
基本方針 Ⅵ	経営的視点にたった 行財政運営がなされ るまちの推進	見直し領域	11	11	14	1. 職員の資質向上の取組が不十分 2. 行財政改革の取組が不十分 3. 歳入を増やすための取組が不十分

9. 町が実施している施策の満足度の上位及び下位 3 項目

- 満足度の高い主要施策 上位 3 項目を全体及び居住地区別に比較すると、順位は違うものの、「環境への責任を果たすまちの推進」、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」、「安全安心に暮らせるまちの推進」の項目が共通して上がっています。
- 満足度の低い主要施策 下位 3 項目については、「地域を担う産業人を育むまちの推進」が全体及びすべての居住地区で一番満足度が低い結果となりました。

表 2 「満足度」の高い主要施策 上位 3 項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	環境への責任を果たすまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進
2	安全安心に暮らせるまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進
3	みんなでつくる災害に強いまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進

表 3 「満足度」の低い主要施策 下位 3 項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進
2	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	快適で心地よい住環境のまちの推進	次代を生かす農林業を振興するまちの推進
3	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進

10. 町が実施している施策の重要度の上位及び下位 3 項目

- 重要度の高い主要施策 上位 3 項目を全体及び居住地区別に比較すると、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」が共通して上がっています。
- 重要度の低い主要施策 下位 3 項目については、「生涯を通じ学び合うまちの推進」が全体及びすべての居住地区で共通して上がっています。

表 4 「重要度」の高い主要施策 上位 3 項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	交通網が充実したまちの推進
2	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進
3	みんなを支えあい幸せに暮らせるまちの推進	みんなを支えあい幸せに暮らせるまちの推進	交通網が充実したまちの推進	みんなを支えあい幸せに暮らせるまちの推進

表5 「重要度」の低い主要施策 下位3項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	生涯を通じ学び合うまちの推進	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	文化を育み創るまちの推進
2	文化を育み創るまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進
3	協働で築かれるまちの推進	男女共同参画社会の形成と人権の尊重	快適で心地よい住環境のまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進

11. 町が実施している施策の注力度の上位及び下位3項目

- 注力度の高い主要施策 上位3項目については、全体及び居住地区別にみても、順位は違うものの、「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「交通網が充実したまちの推進」、「地域で子育てを担うまちの推進」が全体及びすべての居住地区別で共通して上がっています。
- 注力度の低い主要施策 下位3項目については、「自然と共生するまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」が全体及びすべての居住地区で共通して上がっています。

表6 「注力度」の高い主要施策 上位3項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	交通網が充実したまちの推進
2	交通網が充実したまちの推進	交通網が充実したまちの推進	交通網が充実したまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進
3	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進

表7 「注力度」の低い主要施策 下位3項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	自然と共生するまちの推進	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進
2	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	文化を育み創るまちの推進	自然と共生するまちの推進
3	文化を育み創るまちの推進	文化を育み創るまちの推進 生涯を通じ学び合うまちの推進 (同割合のため)	協働で築かれるまちの推進	文化を育み創るまちの推進

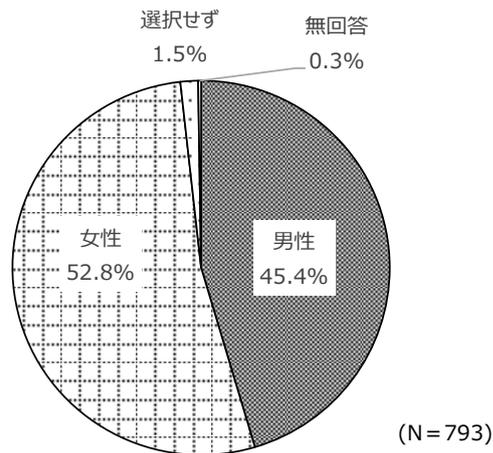
Ⅲ. 調査結果

1. あなたご自身とご家族の状況などについてお伺いします。

問1 あなたの性別を選択してください。(1つだけ○)

- 性別については、「女性」が 52.8%、「男性」が 45.4%となっています。

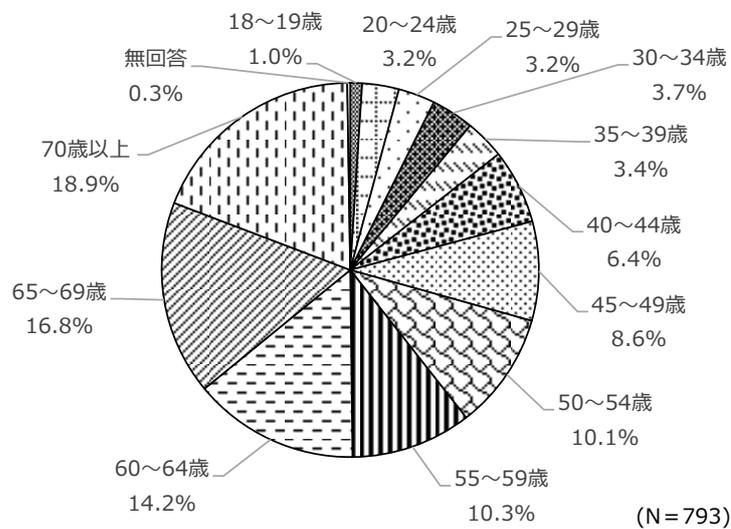
図1 性別



問2 あなたの現在の年齢を選択してください。(1つだけ○)

- 年齢については、「70歳以上」が 18.9%と最も多く、次いで「65～69歳」が 16.8%、「60～64歳」が 14.2%となっています。

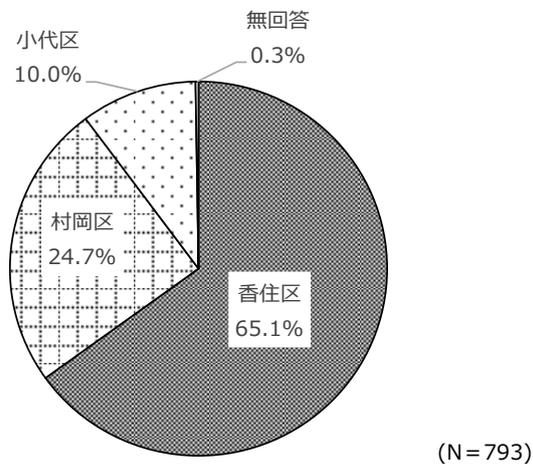
図2 年齢



問3 あなたの居住地区を選択してください。(1つだけ○)

- 居住地区については、「香住区」が65.1%、「村岡区」が24.7%、「小代区」が10.0%となっています。

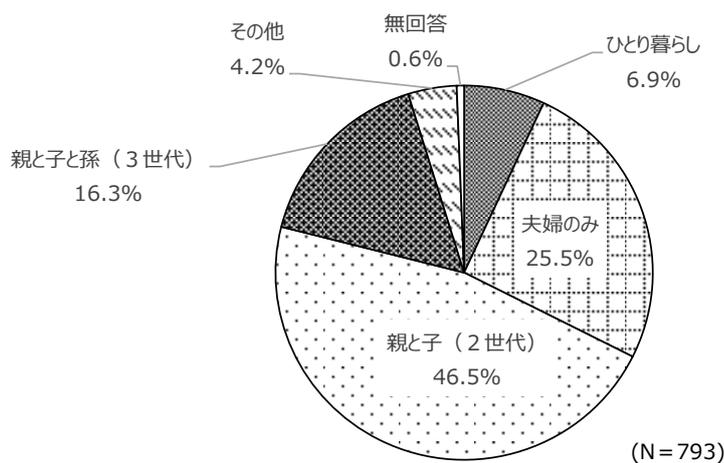
図3 居住地区



問4 家族構成(世帯)を選択してください。(1つだけ○)

- 家族構成については、「親と子(2世代)」が46.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.5%、「親と子と孫(3世代)」が16.3%となっています。

図4 家族構成



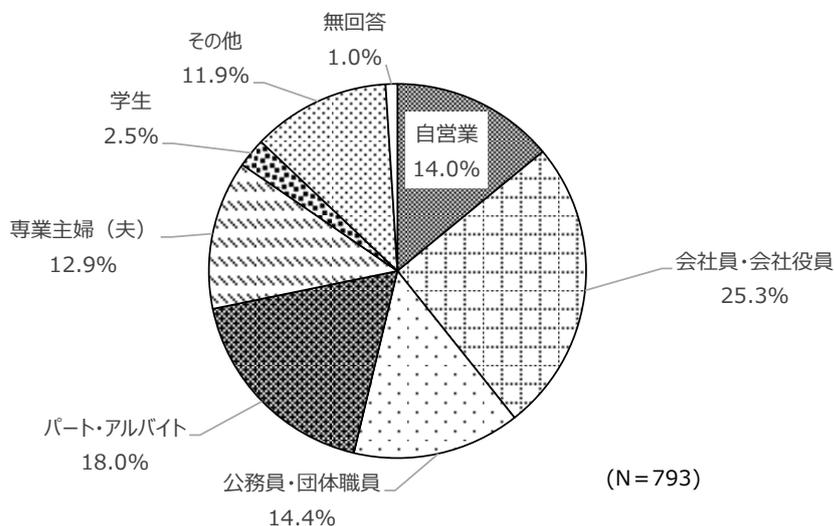
【その他】

親と叔父／妹、夫婦／姉、弟／4世代／グループホーム／実習生

問5 現在の職業を選択してください。(1つだけ○) (兼業の方は主な職業を1つだけ○)

- 職業については、「会社員・会社役員」が25.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が18.0%、「公務員・団体職員」が14.4%となっています。

図5 職業



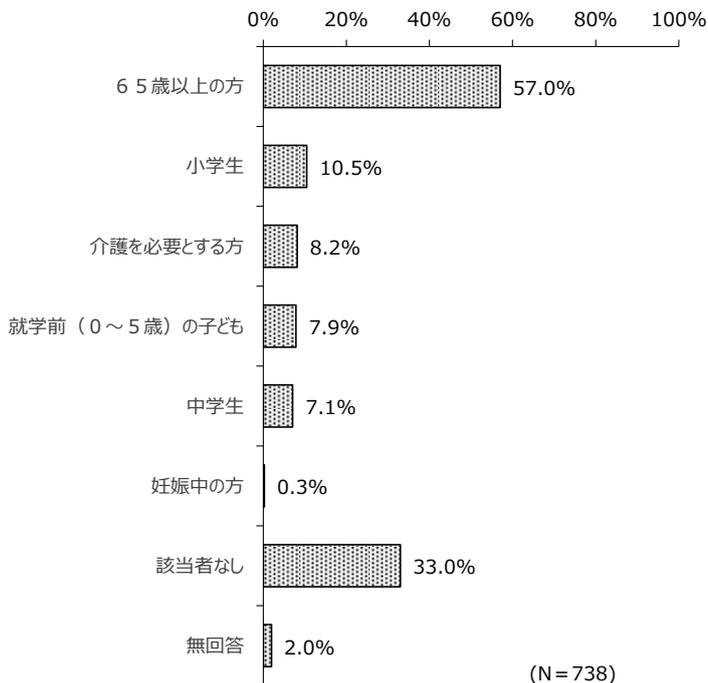
【その他】

無職／年金生活者／看護師／福祉事業所／漁師／加工員／嘱託職員／臨時職員／研修生

問6 あなたが同居している方を選択してください。(あてはまるものすべてに○)

- 同居している方については、「65歳以上の方」が57.0%と最も多く、次いで「小学生」が10.5%、「介護を必要とする方」が8.2%となっています。

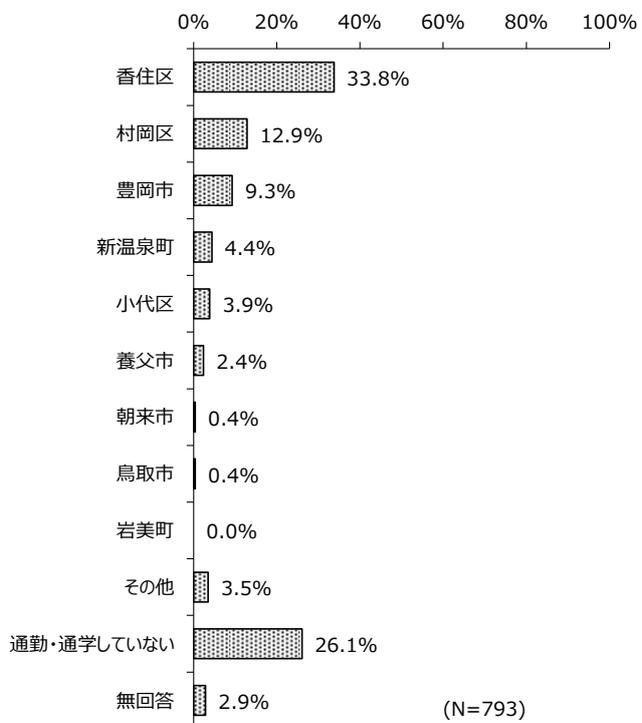
図6 同居者



問7 現在の通勤・通学先を選択してください。(1つだけ)

- 通勤・通学先については、「香住区」が33.8%と最も多く、次いで「村岡区」が12.9%、「豊岡市」が9.3%となっています。

図7 通勤・通学先



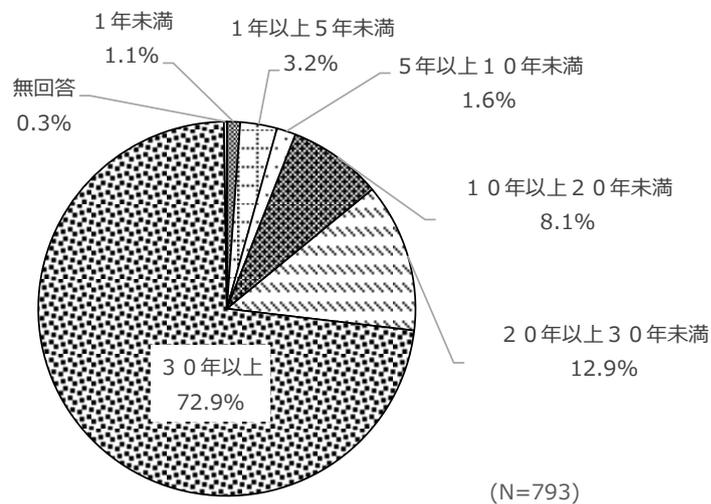
【その他】

大阪府／大阪市／京都府／京都市／尼崎市／神戸市／福知山市／岡山市／三木市／久美浜

問8 香美町にお住まいになって、通算で何年になりますか。(1つだけ○)

- 居住年数については、「30年以上」が72.9%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が12.9%、「10年以上20年未満」が8.1%となっています。

図8 居住年数

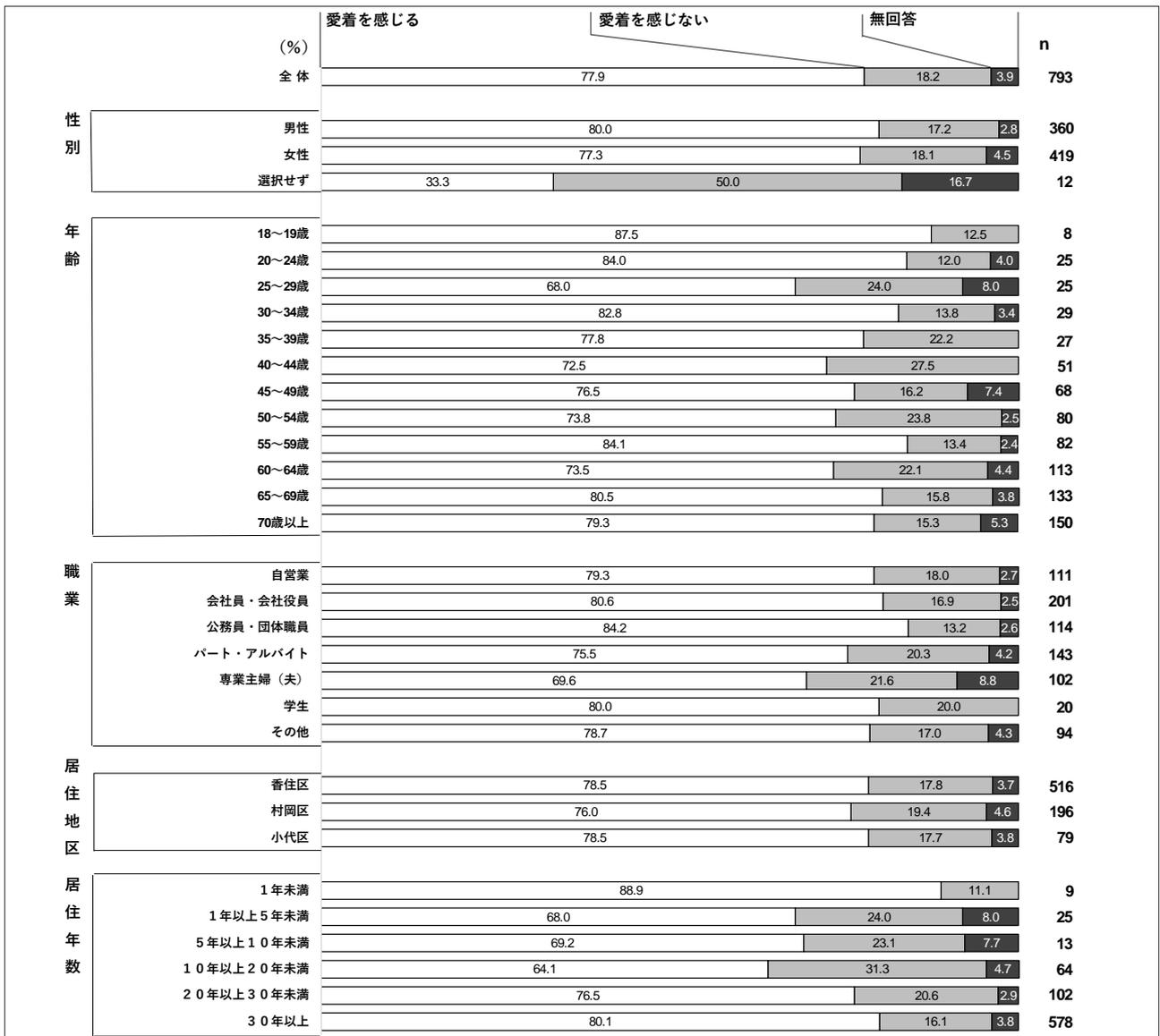


2. まちへの愛着度・定住意向についてお伺いします。

問9 香美町に対して、愛着を感じていますか。(1つだけ○)

- 香美町への愛着については、「愛着を感じる」が77.9%、「愛着を感じない」が18.2%となっています。
- 男女別にみると、「愛着を感じる」と答えた方の割合は、男性では80.0%、女性では77.3%となっています。
- 年齢別にみると、「愛着を感じる」と答えた方の割合は、「18～19歳」で87.5%と最も高く、次いで、「55～59歳」で84.1%、「20～24歳」で84.0%となっています。
- 職業別にみると、「愛着を感じる」と答えた方の割合は、「公務員・団体職員」で84.2%と最も高く、次いで、「会社員・会社役員」で80.6%、「学生」で80.0%となっています。
- 居住区別にみると、「香住区」、「村岡区」、「小代区」それぞれで約8割の方が「愛着を感じる」と答えています。
- 居住年数別にみると、「愛着を感じる」と答えた方の割合は、「1年未満」で88.9%と最も高く、次いで、「30年以上」で80.1%、「20年以上30年未満」で76.5%となっています。

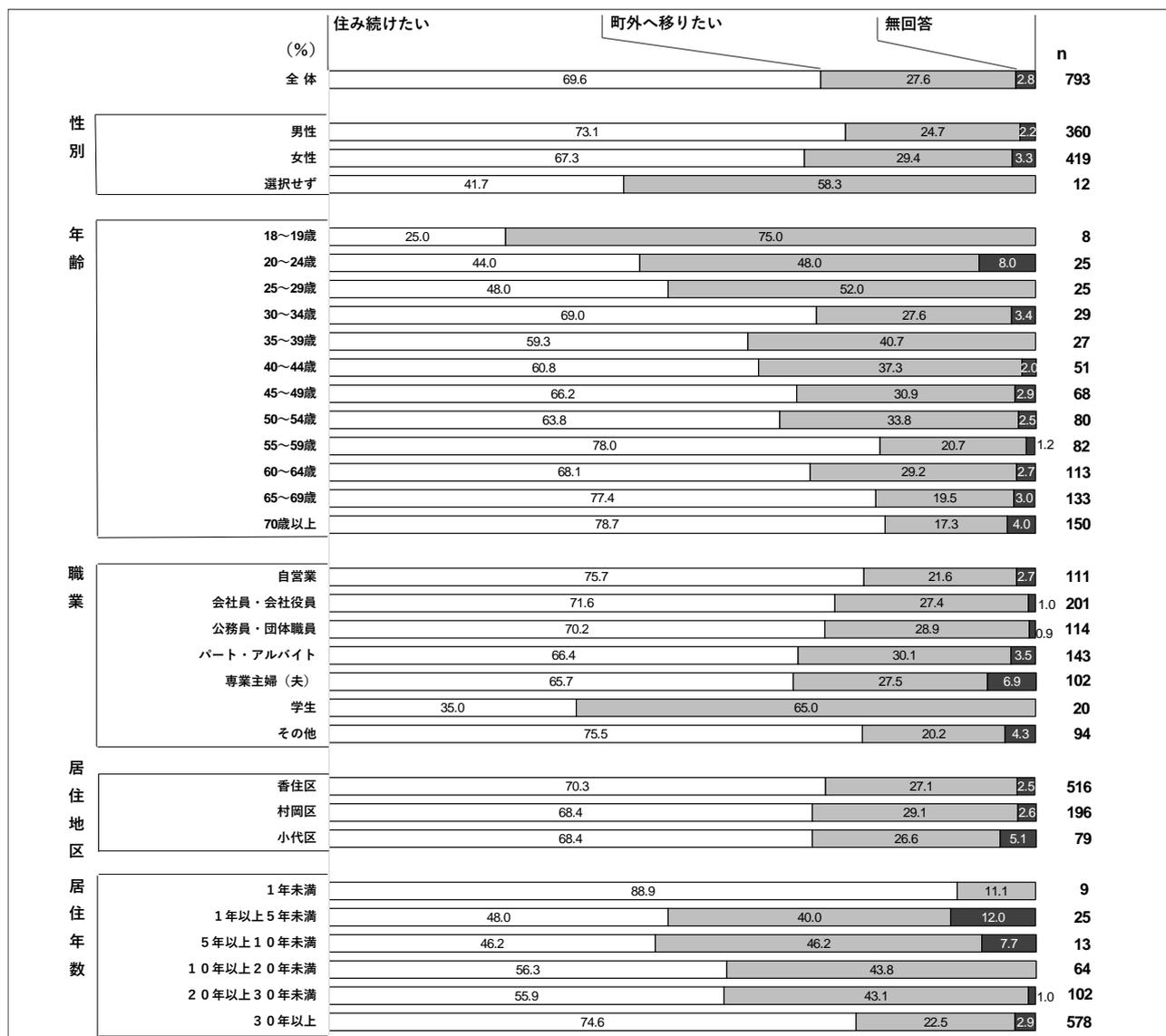
図9 香美町に対して、愛着を感じているか



問 10 これからも香美町に住みたいと思いますか。（1つだけ○）

- これからも香美町に住みたいと思うかについては、「住み続けたい」が 69.6%、「町外へ移りたい」が 27.6%となっています。
- 「住み続けたい」と答えた方の割合は、男性では 73.1%、女性では 67.3%となっています。
- 年齢別にみると、「住み続けたい」と答えた方の割合は、「70 歳以上」が 78.7%と最も高く、次いで、「55～59 歳」で 78.0%、「65～69 歳」で 77.4%となっています。また、「町外へ移りたい」と答えた方の割合は、「18～19 歳」で 75.0%と最も高く、年齢が上がるにつれて、その割合が低くなる傾向が見られます。
- 職業別にみると、「住み続けたい」と答えた方の割合は、「学生」では 35.0%と最も低くなっており、他の職業ではそれぞれ約 7 割となっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区それぞれで約 7 割の方が「住み続けたい」と答えています。
- 居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた方の割合は、「1 年未満」で 88.9%と最も高く、次いで、「30 年以上」で 74.6%、「10 年以上 20 年未満」で 56.3%となっています。

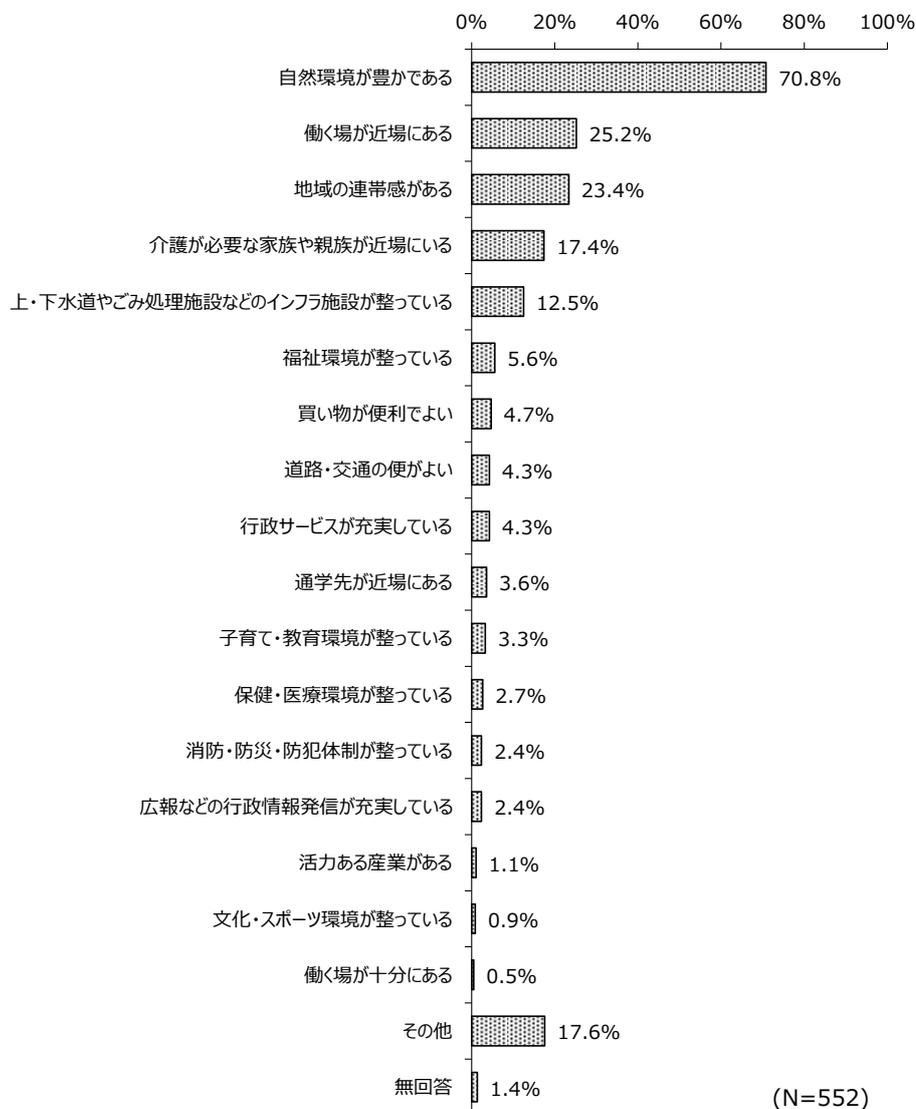
図 10 これからも香美町に住みたいと思うか



問 10-1 「1 住み続けたい」と考える理由を選択してください（3つまで○）

- 「1 住み続けたい」と考える理由については、「自然環境が豊かである」が70.8%と最も多く、次いで「働く場が近場にある」が25.2%、「地域の連帯感がある」が23.4%となっています。

図 10-1 「1 住み続けたい」と考える理由



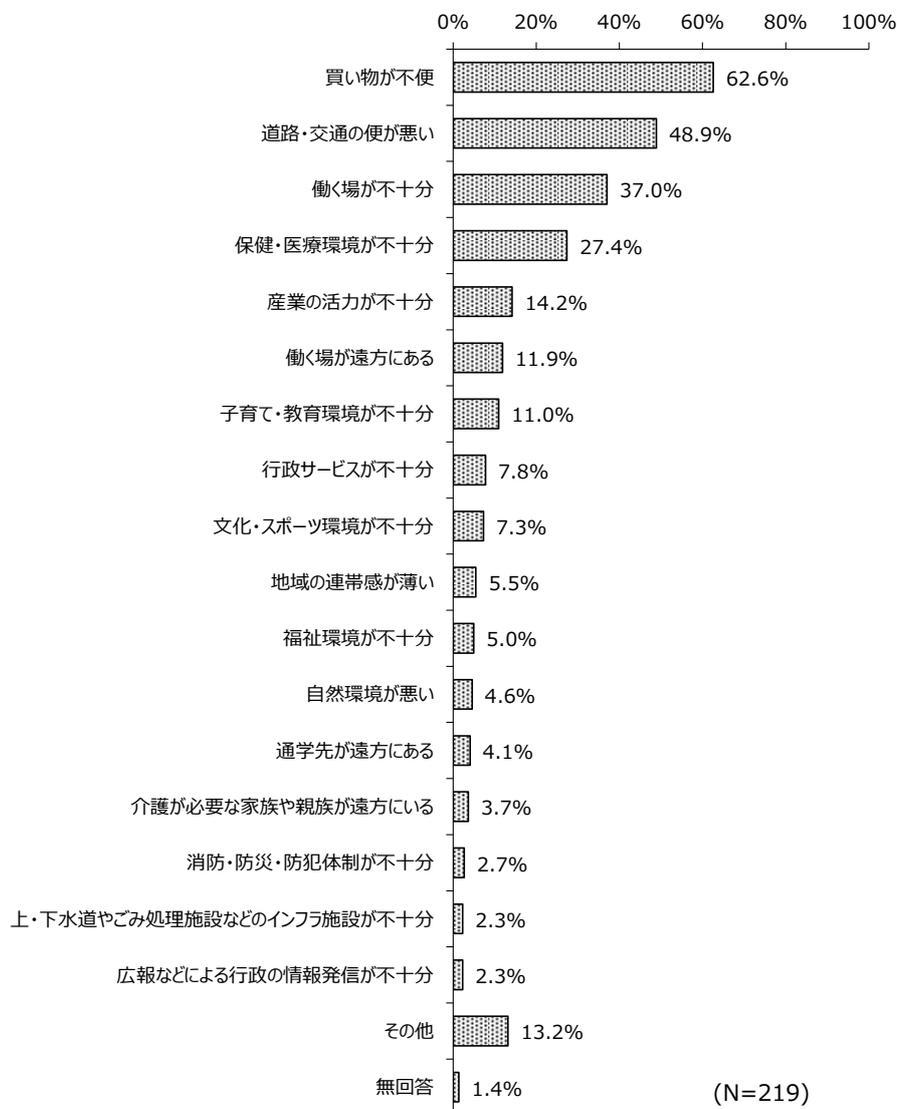
【その他】

老いて行動力がない／不便だが親も町内にいるため／自営業／持ち家があるため／やむなく／他に出たことがない
 災害が少ない／愛着があるから／先祖の家を守らなければいけない／動けません／社会福祉が整っている／家・人間関係がある／他所へ行けないから／家族・友人がいる／住み慣れている／親がいるから／高齢の親と同居のため
 健康、自立しているため／いまさら町外に出ても人間関係をきづくのは無理なのでしかたなく…／友人がいる 他

問 10-2 「2 町外へ移りたい」と考える理由を選択してください（3つまで〇）

- 「2 町外へ移りたい」と考える理由については、「買い物不便」が 62.6%と最も多く、次いで「道路・交通の便が悪い」が 48.9%、「働く場が不十分」が 37.0%となっています。

図 10-2 「2 町外へ移りたい」と考える理由



【その他】

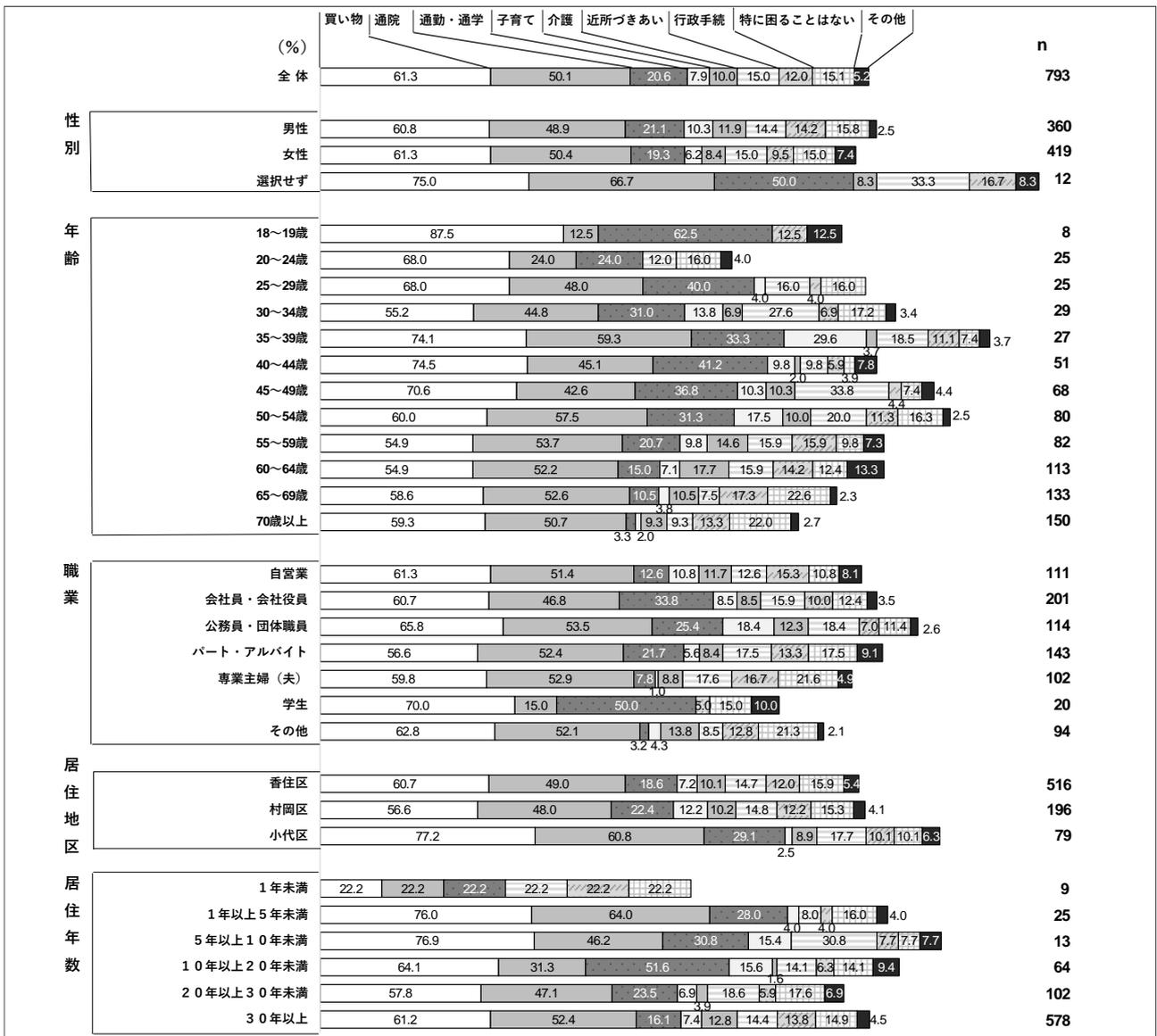
住民が意地悪／地域の付き合いが大変すぎる／不便だと思うので老後は移りたい／災害による津波が怖い／生活しにくい／子や孫の近くへ移りたい。雪の少ない所へ移りたい。／賃金が安い／家庭環境／封建的／都会の方が遊ぶ所がたくさんあるから／雪かきが大変です／町としての活性化がない／娯楽施設が少ない／子どもの人数が少なく様々な人間関係などの体験をしないままで過ごすのが不安だから／将来、独居になった場合は生活全般の理由で町外を／限界集落になってきているから／震災が来た時に逃げ場と指定されている建物が低い 他

3. 香美町で生活する上での困りごとについてお伺いします。

問 11 香美町で生活するに当たり、普段どのようなことに困りごとが生じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 香美町で生活する上での困りごとについては、「買い物」が 61.3%と最も多く、次いで「通院」が 50.1%、「通勤・通学」が 20.6%となっています。
- 生活する上での困りごとについて、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、「18～19 歳」では「買い物」が 87.5%、「通勤・通学」が 62.5%と、他の年齢に比べて高くなっています。また、「45～49 歳」では、「近所づきあい」の割合が他と比べてやや高くなっています。
- 職業別にみると、「公務員・団体職員」では「子育て」が 18.4%と、他の年齢に比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、小代区では「買い物」、「通院」と答えた方の割合が、香住区と村岡区に比べてそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。
- 居住年数別にみると、「10 年以上 20 年未満」では「通勤・通学」が 51.6%と、他と比べて高くなっています。

図 11 香美町で生活する上での困りごと



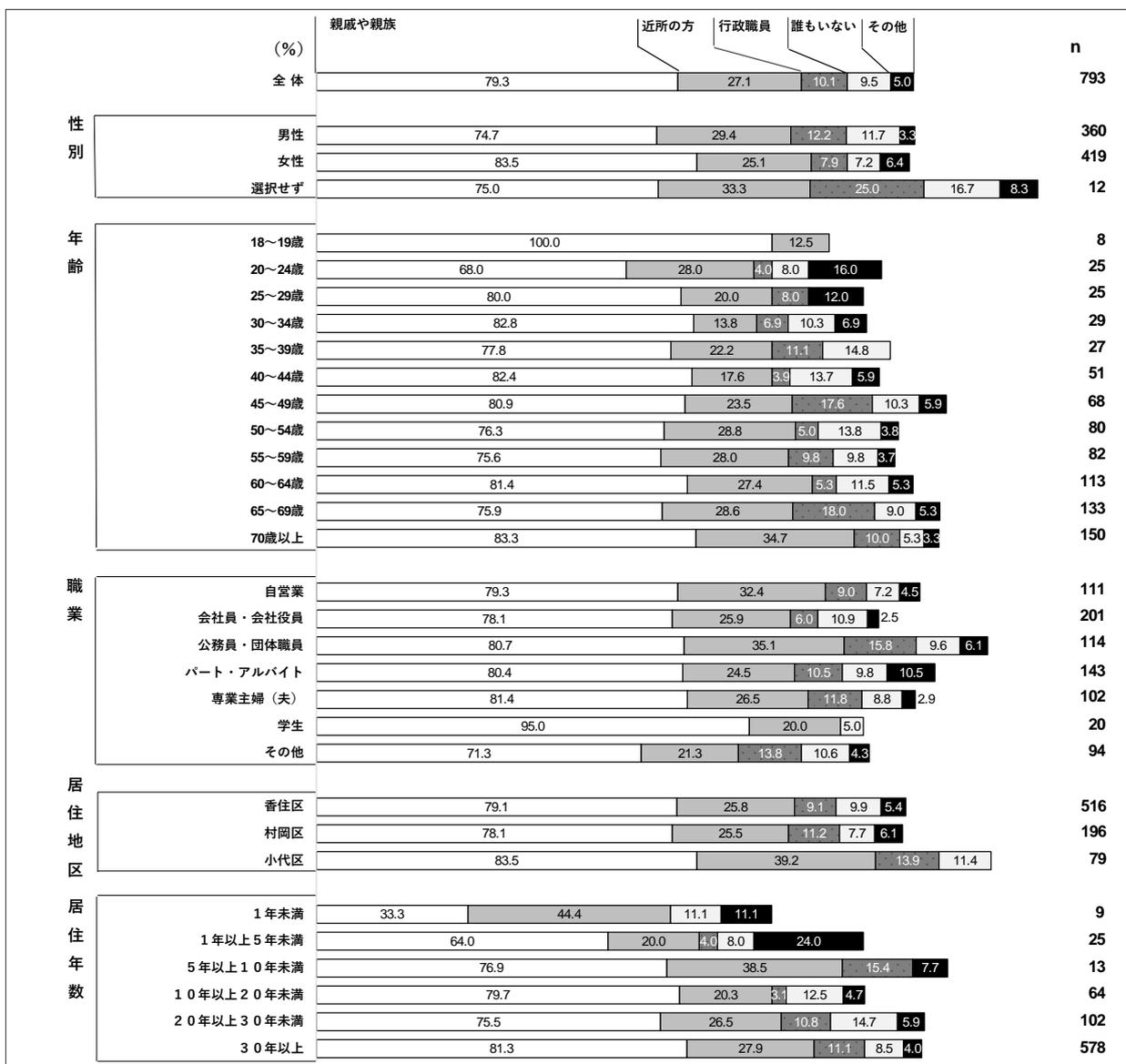
【その他】

高齢になってからの交通手段、人手不足／レジャー／道路交通網、移動手段／年中除草作業～冬場の除雪作業
／ゴミ袋・記名／バスの本数／交通の便、特に JR／娯楽／雪かき／旅行・ネット回線／娯楽がすくない／働く場所
がない／インターネットの環境が悪い／車がないと動けない／少子高齢化／医者不足（香住病院）／運動、歩
行、ウォーキング出来る所がない！／スーパーが 1 店しかなく不便である／今はない／冬期の除雪を早くしてほしい／
動物 サル、シカ／過疎化している感じが否めない。／都会に出にくい／地区の行事／仕事環境が減ることへの不
安、子供の減少／地区行事への参加／隣保の役割が多すぎる。町会費が高い。重要なこと 他

問 12 香美町で生活するに当たり、困りごとが生じた際に頼れる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 困りごとが生じた際に頼れる人については、「親戚や親族」が 79.3%と最も多く、次いで「近所の方」が 27.1%、「行政職員」が 10.1%となっています。
- 男女別にみると、男性では、「近所の方」、「行政職員」、「誰もいない」の割合が、女性と比べてやや高くなっています。また、女性では、「親戚や親族」の割合が、男性より 10 ポイント近く高くなっています。
- 年齢別にみると、「45～49 歳」、「65～69 歳」では「行政職員」の割合が他の年齢と比べてやや高くなっています。
- 職業別にみると、「自営業」、「公務員・団体職員」では、「近所の方」の割合が他と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、小代区では「行政職員」の割合が、香住区、村岡区と比べて高くなっています。
- 居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて、「親戚や親族」の割合が高くなる傾向が見られます。

図 12 困りごとが生じた際に頼れる人



【その他】

友人、知人／支援員さん、サービス管理者／分かりません（相手はどう思っているかわかりません）／職場／親戚も
高齢になり後継者は別居なので現実的には頼れる人がいない／困り事による／同業者 他

4. 町が実施している施策の満足度、今後の重要度・注力度

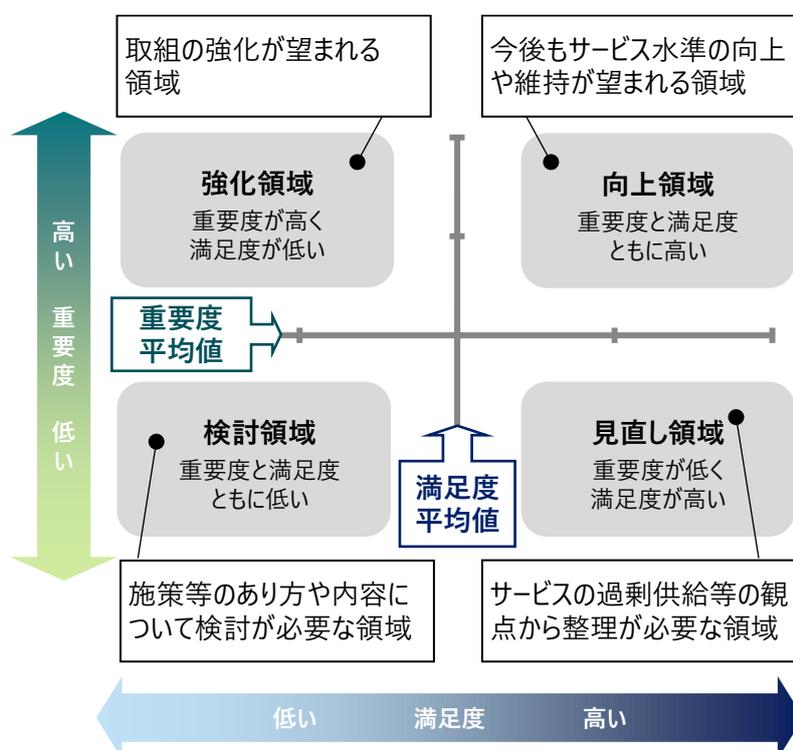
第2次香美町総合計画後期基本計画に掲げられた主要施策を対象に、満足度・重要度調査を実施し、表4-1をもとに、各主要施策の評価を点数化した上で、加重平均値を算出し、2軸分析を行っています。

図4-1では、横軸に「満足度」の加重平均値、縦軸に「重要度」の加重平均値を配置し、町の主要施策に対する相対的な町民の意識を可視化しています。

表1 「満足度」と「重要度」の選択肢に対する配点

満足度		重要度	
選択肢	配点	選択肢	配点
非常に満足	3点	非常に重要	3点
満足	2点	重要である	2点
やや満足	1点	少し重要	1点
わからない	0点	あまり重要ではない	-1点
やや不満	-1点	重要ではない	-2点
不満	-2点	全く重要ではない	-3点
非常に不満	-3点	-	-

図1 「満足度」と「重要度」の2軸分析イメージ



(1) まとめ (2 軸分析結果)

<全体>

- 2軸分析による各主要施策の分布状況は、満足度が低く、重要度が高い「強化領域」には3項目、満足度が低く、重要度が低い「検討領域」には4項目、満足度が高く、重要度が高い「向上領域」には7項目、満足度が高く、重要度が低い「見直し領域」には6項目の主要施策が分布しています。
- 基本方針Ⅲについては、全体及び居住地区別にみても、全ての主要施策が「向上領域」に分布しています。
- 基本目標Ⅴの「環境への責任を果たすまちの推進」についても、全体及び居住地区、年齢区分別すべてにおいて、「向上領域」に分布しています。

<居住地区別>

- 居住地区別にみると、「香住区」では他の居住地区との相違点として、「水産業を振興するまちの推進」、「地域資源を活かした人と経済の循環を生みだすまちの推進」が「強化領域」に分布し、「村岡区」では他の居住地区との相違点として、「水産業を振興するまちの推進」が「見直し領域」に、「協働で築かれるまちの推進」が「検討領域」に分布しています。
- 「小代区」では、他の居住地区との相違点として、「地域で子育てを担うまちの推進」、「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」が「強化領域」に分布し、「生涯を通じ学び合うまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」が「検討領域」に分布、「水産業を振興するまちの推進」、「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」が「向上領域」に分布しています。

<年齢区分別>

- 年齢区分別にみると、全年齢区分で共通しているものとして、「生涯を通じ学び合うまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」、「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」、「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」が「見直し領域」に分布し、「快適で心地よい住環境のまちの推進」が「検討領域」に分布、「環境への責任を果たすまちの推進」が「向上領域」に分布しています。
- 2軸分析によるそれぞれの主要施策の分布領域については、次のとおりとなります。
「強化領域」：満足度が低く、重要度が高い 「検討領域」：満足度が低く、重要度が低い
「向上領域」：満足度が高く、重要度が高い 「見直し領域」：満足度が高く、重要度が低い

表2 全体、居住地区、年齢別 各施策の2軸分析結果表

基本方針	主要施策名	全体	居住地区			年齢		
			香住区	村岡区	小代区	18～24歳	25～64歳	65歳以上
基本方針Ⅰ	地域で子育てを担うまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	強化領域	検討領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅰ	学校と地域がつながるまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	見直し領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅰ	生涯を通じ学び合うまちの推進	見直し領域	見直し領域	見直し領域	検討領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域
基本方針Ⅰ	文化を育み創るまちの推進	見直し領域	見直し領域	見直し領域	検討領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域
基本方針Ⅱ	地域を担う産業人を育むまちの推進	強化領域	強化領域	強化領域	強化領域	検討領域	強化領域	強化領域
基本方針Ⅱ	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	検討領域	検討領域	検討領域	強化領域	見直し領域	検討領域	強化領域

基本方針	主要施策名	全体	居住地区			年齢		
			香住区	村岡区	小代区	18～24歳	25～64歳	65歳以上
基本方針Ⅱ	水産業を振興するまちの推進	強化領域	強化領域	見直し領域	向上領域	見直し領域	向上領域	強化領域
基本方針Ⅱ	地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進	検討領域	強化領域	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域
基本方針Ⅲ	健やかに暮らせるまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	見直し領域	強化領域	向上領域
基本方針Ⅲ	みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	検討領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅲ	安全安心に暮らせるまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	見直し領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅳ	みんなで作る災害に強いまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	見直し領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅳ	交通網が充実したまちの推進	強化領域	強化領域	強化領域	強化領域	検討領域	強化領域	強化領域
基本方針Ⅳ	快適で心地よい住環境のまちの推進	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域
基本方針Ⅳ	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	検討領域	検討領域	検討領域	検討領域	強化領域	検討領域	検討領域
基本方針Ⅴ	自然と共生するまちの推進	見直し領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域	向上領域	見直し領域	見直し領域
基本方針Ⅴ	環境への責任を果たすまちの推進	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域	向上領域
基本方針Ⅵ	協働で築かれるまちの推進	見直し領域	見直し領域	検討領域	見直し領域	向上領域	見直し領域	見直し領域
基本方針Ⅵ	男女共同参画社会の形成と人権の尊重	見直し領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域
基本方針Ⅵ	経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進	見直し領域	見直し領域	見直し領域	向上領域	見直し領域	見直し領域	見直し領域

(2) まとめ (各領域と不満理由)

- 各領域における各主要施策の不満理由は表 4-3~4-6 のとおりとなり、それぞれの不満理由の解消が必要です。

表 3 「強化領域」の各施策の不満理由 (全体)

基本方針	主要施策名	不満理由 (上位 3 項目)
基本方針 II	地域を担う産業人を育むまちの推進	1. 地元で就職するための仕組みが不十分 2. 町外から企業を誘致するための取組が不十分 3. 地元の産業や企業への支援が不十分
基本方針 II	水産業を振興するまちの推進	1. 担い手育成への支援が不十分 2. 漁業者・水産加工事業者の経営の安定に向けた支援が不十分 3. 地産地消ができる仕組みが不十分
基本方針 IV	交通網が充実したまちの推進	1. JR が利用しにくい 2. 高速道路など、広域的な道路網の整備が不十分 3. バスが利用しにくい

表 4 「検討領域」の各施策の不満理由 (全体)

基本方針	主要施策名	不満理由 (上位 3 項目)
基本方針 II	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	1. 有害鳥獣による被害対策が不十分 2. 担い手育成への支援が不十分 3. 農林業者の経営の安定に向けた支援が不十分
基本方針 II	地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進	1. 地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分 2. 持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分 3. 魅力ある祭りやイベントが少ない
基本方針 IV	快適で心地よい住環境のまちの推進	1. 公園や広場が充実していない 2. 危険な空家対策が不十分 3. 良好な住環境を守るための取組が不十分
基本方針 IV	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	1. 空き家の活用対策が不十分 2. 町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分 3. 移住推進に関する情報発信が不十分

表 5 「向上領域」の各施策の不満理由 (全体)

基本方針	主要施策名	不満理由 (上位 3 項目)
基本方針 I	地域で子育てを担うまちの推進	1. 子育てに関する経済的支援が不十分 2. 子育て支援施設の数や規模が不十分 3. 子育て支援サービスの取組が不十分
基本方針 I	学校と地域がつながるまちの推進	1. 学校と地域の連携が不十分 2. 学力向上のための取組が不十分 3. ふるさと教育の取組が不十分
基本方針 III	健やかに暮らせるまちの推進	1. 医療施設が少ない 2. 休日・夜間の医療体制が不十分 3. 住民の自主的な健康づくりへの支援が不十分
基本方針 III	みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進	1. 高齢者や障害者が自立した生活を送るための支援が不十分 2. 高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提供が不十分 3. 高齢者・障害者福祉や介護に関する相談体制が不十分

基本方針	主要施策名	不満理由（上位3項目）
基本方針Ⅲ	安全安心に暮らせるまちの推進	1. 防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分 2. 交通安全に向けた施設整備の取組が不十分 3. 住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓発が不十分
基本方針Ⅳ	みんなでつくる災害に強いまちの推進	1. 避難所の運営体制が不安 2. 土砂災害や津波防災対策が不十分 3. 高齢者など災害弱者への対応が不十分
基本方針Ⅴ	環境への責任を果たすまちの推進	1. 不法投棄などに対する監視・指導体制が不十分 2. ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓発が不十分 3. ごみの分別ルールが不十分

表6 「見直し領域」の各施策の不満理由（全体）

基本方針	主要施策名	不満理由（上位3項目）
基本方針Ⅰ	生涯を通じ学び合うまちの推進	1. 参加したい講座・教室がない 2. 学習やスポーツをする場が少ない 3. その他
基本方針Ⅰ	文化を育み創るまちの推進	1. 文化芸術を鑑賞する機会が少ない 2. 文化財の保存、継承の取組が不十分 3. 文化芸術・文化財に関する情報提供が不十分
基本方針Ⅴ	自然と共生するまちの推進	1. 住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分 2. 再生可能エネルギーの普及支援が不十分 3. 環境保全や美化活動に関する啓発が不十分
基本方針Ⅵ	協働で築かれるまちの推進	1. 住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない 2. 住民主体のまちづくり活動の支援が不十分 3. 地域コミュニティの設立に対する支援が不十分
基本方針Ⅵ	男女共同参画社会の形成と人権の尊重	1. 町政への女性参画が不十分 2. 男女平等意識を浸透させる啓発が不十分 3. ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援が不十分
基本方針Ⅵ	経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進	1. 職員の資質向上の取組が不十分 2. 行財政改革の取組が不十分 3. 歳入を増やすための取組が不十分

(3) まとめ（満足度比較）

- 満足度が高い主要施策は全体では順に「環境への責任を果たすまちの推進」、「安全安心に暮らせるまちの推進」、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」となり、満足度が低い主要施策は順に「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」、「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」となりました。
- 全体と居住地区を比較すると、「香住区」は「文化を育み創るまちの推進」、「快適で心地よい住環境のまちの推進」、「生涯を通じ学び合うまちの推進」の3項目のみ全体より高い結果となりました。「村岡区」はほとんどの主要施策は全体と同等又は少し高い結果となっており、「文化を育み創るまちの推進」、「快適で心地よい住環境のまちの推進」のみ全体の満足度より低い結果となりました。
- 「小代区」は「生涯を通じ学び合うまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」、「水産業を振興するまちの推進」の3つの主要施策のみ全体より低い結果となり、全体より10ポイント以上高い項目は5つあります。
- 満足度の高い主要施策 上位3項目を全体及び居住地区別に比較すると、順位は違うものの、「環境への責任を果たすまちの推進」、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」、「安全安心に暮らせるまちの推進」の項目が共通して上がっています。また、満足度の低い主要施策 下位3項目については、「地域を担う産業人を育むまちの推進」が全体及び居住地区別で一番満足度が低い結果となりました。

図2 「満足度」の全体と居住地区の比較

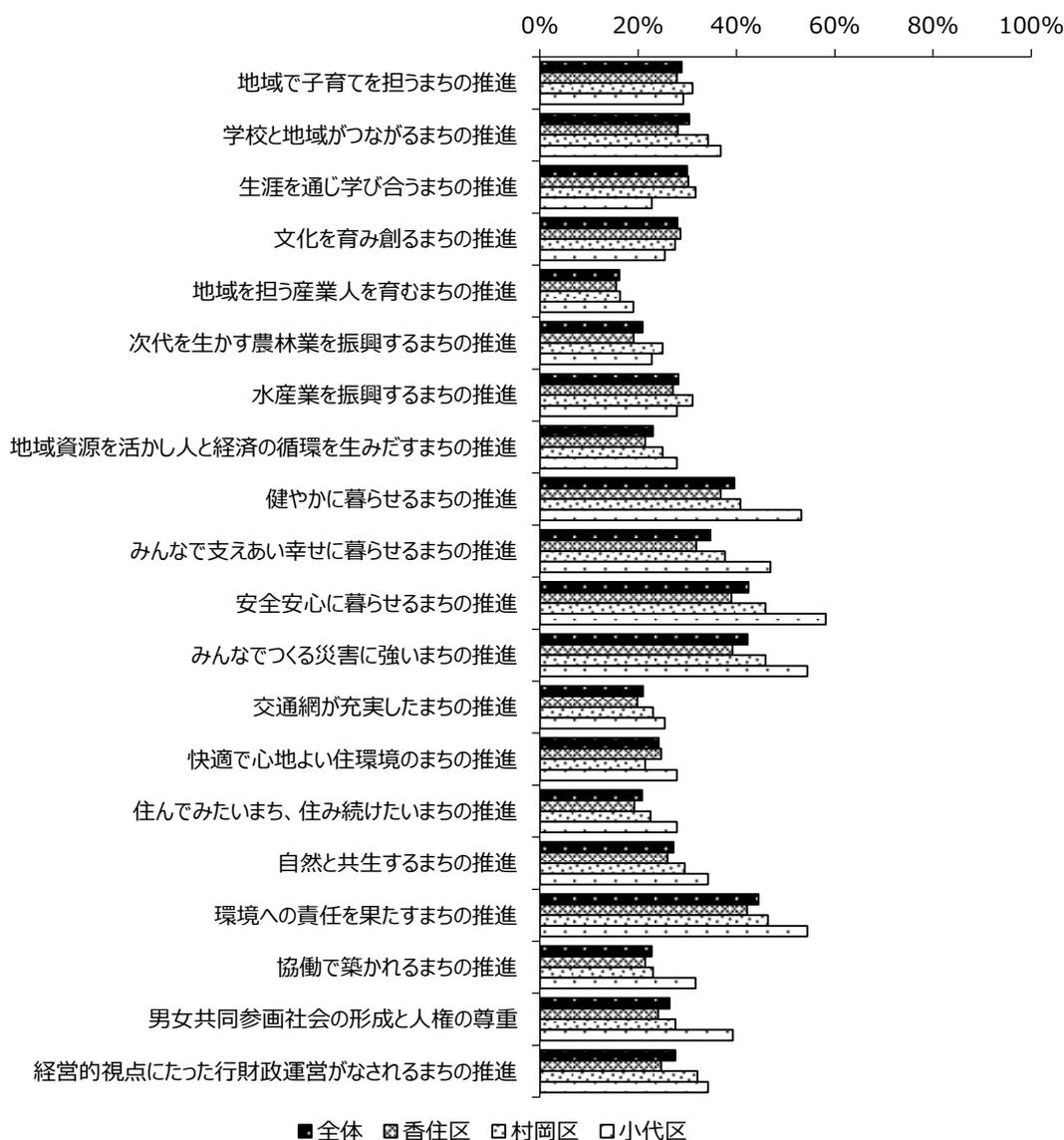


表 7 「満足度」の高い主要施策 上位 3 項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	環境への責任を果たすまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進
2	安全安心に暮らせるまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	環境への責任を果たすまちの推進
3	みんなでつくる災害に強いまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進	安全安心に暮らせるまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進

表 8 「満足度」の低い主要施策 下位 3 項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進
2	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	快適で心地よい住環境のまちの推進	次代を生かす農林業を振興するまちの推進
3	次代を生かす農林業を振興するまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進

(4) まとめ（施策ごとの重要度比較）

- 重要度が高い主要施策は全体では順に「地域で子育てを担うまちの推進」、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」、「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」となり、重要度が低い主要施策は順に「生涯を通じ学び合うまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」、「協働で築かれるまちの推進」となりました。
- 全体と居住地区を比較すると、「香住区」は全体と同様の結果となっており、「村岡区」は全体より低い主要施策は 12 ありますが、全体との差は全主要施策±4 ポイント以内となっています。
- 「小代区」は「文化を育み創るまちの推進」が全体より約 13 ポイント低く、「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」は全体より約 9 ポイント低い結果となりました。
- 重要度の高い主要施策 上位 3 項目を全体及び居住地区別に比較すると、「みんなでつくる災害に強いまちの推進」が共通して上がっています。また、重要度の低い主要施策 下位 3 項目については、「生涯を通じ学び合うまちの推進」が全体及び居住地区別で共通して上がっています。

図 3 「重要度」の全体と居住地区の比較

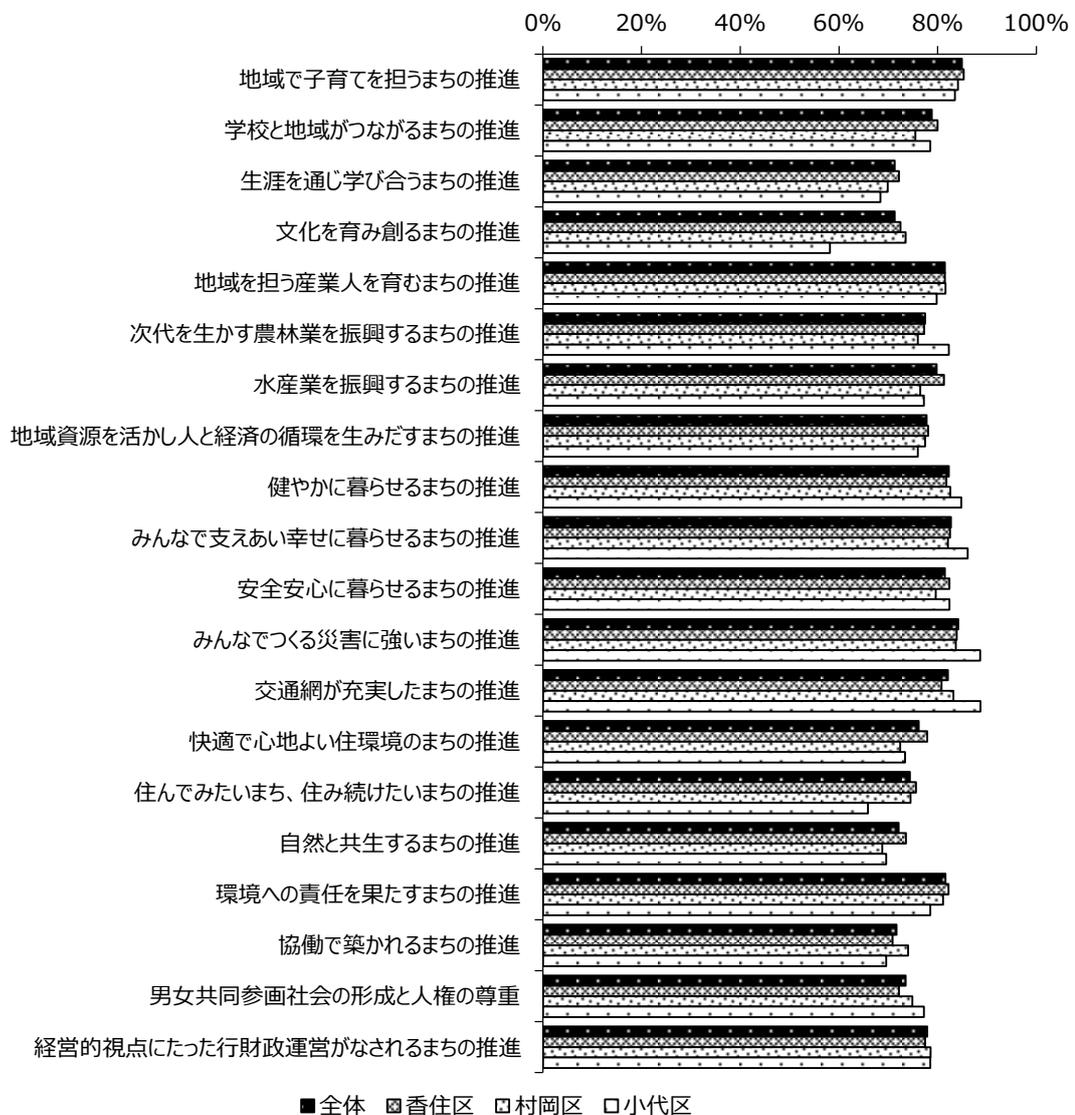


表 9 「重要度」の高い主要施策 上位 3 項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	交通網が充実したまちの推進
2	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進	みんなでつくる災害に強いまちの推進
3	みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進	みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進	交通網が充実したまちの推進	みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進

表 10 「重要度」の低い主要施策 下位 3 項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	生涯を通じ学び合うまちの推進	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	文化を育み創るまちの推進
2	文化を育み創るまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進	住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進
3	協働で築かれるまちの推進	男女共同参画社会の形成と人権の尊重	快適で心地よい住環境のまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進

(5) まとめ（施策ごとの注力度比較）

- 注力度が高い主要施策は全体では順に「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「交通網が充実したまちの推進」、「地域で子育てを担うまちの推進」となり、満足度が低い主要施策は順に「自然と共生するまちの推進」、「協働で築かれるまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」となりました。
- 全体と居住地区を比較すると、「香住区」は「水産業を振興するまちの推進」が、全体より約 7 ポイント高い結果となっています。「村岡区」は「水産業を振興するまちの推進」が全体より約 11 ポイント低く、「学校と地域がつながるまちの推進」は全体より約 5 ポイント低い状況です。
- 「小代区」はほぼすべての主要施策が全体より低い結果となっており、「水産業を振興するまちの推進」、「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」、「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」は、全体より 10 ポイント以上低い結果となりました。
- 注力度の高い主要施策 上位 3 項目については、全体及び居住地区別にみても、順位は違うものの、「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「交通網が充実したまちの推進」、「地域で子育てを担うまちの推進」が全体及び居住地区別で共通して上がっています。また、注力度の低い主要施策 下位 3 項目については、「自然と共生するまちの推進」、「文化を育み創るまちの推進」が全体及び居住地区別で共通して上がっています。

図 4 「注力度」の全体と居住地区の比較

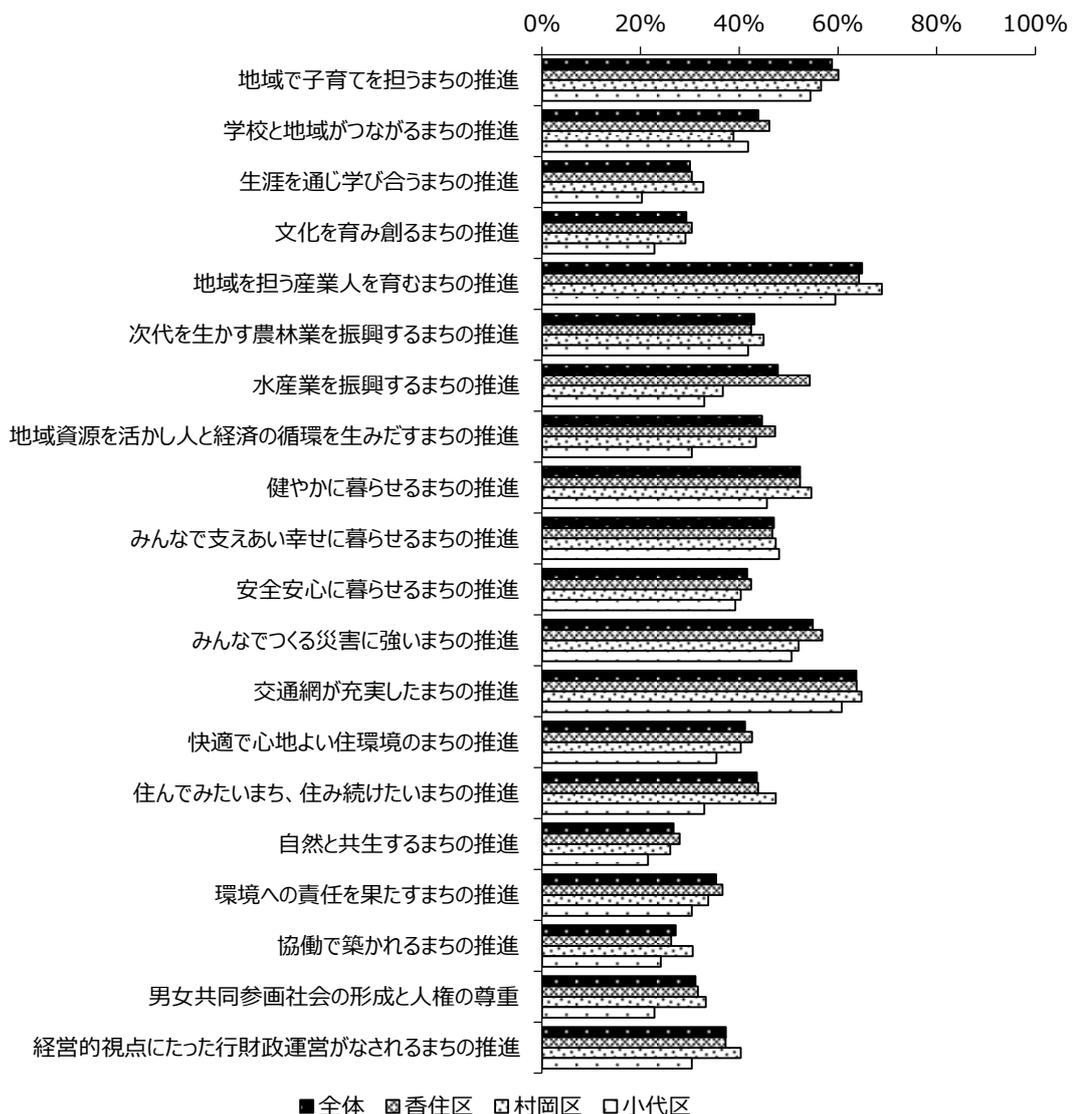


表 11 「注力度」の高い主要施策 上位3項目（高い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進	交通網が充実したまちの推進
2	交通網が充実したまちの推進	交通網が充実したまちの推進	交通網が充実したまちの推進	地域を担う産業人を育むまちの推進
3	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進	地域で子育てを担うまちの推進

表 12 「注力度」の低い主要施策 下位3項目（低い順）

	全体	香住区	村岡区	小代区
	主要施策名	主要施策名	主要施策名	主要施策名
1	自然と共生するまちの推進	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	生涯を通じ学び合うまちの推進
2	協働で築かれるまちの推進	自然と共生するまちの推進	文化を育み創るまちの推進	自然と共生するまちの推進
3	文化を育み創るまちの推進	文化を育み創るまちの推進 生涯を通じ学び合うまちの推進 (同割合のため)	協働で築かれるまちの推進	文化を育み創るまちの推進

(6) 満足度と重要度の2軸分析（全体）

- 「満足度高・重要度高」の象限には「みんなでつくる災害に強いまちの推進」や「安全安心に暮らせるまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「交通網が充実したまちの推進」や「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「水産業を振興するまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図5 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果（全体）

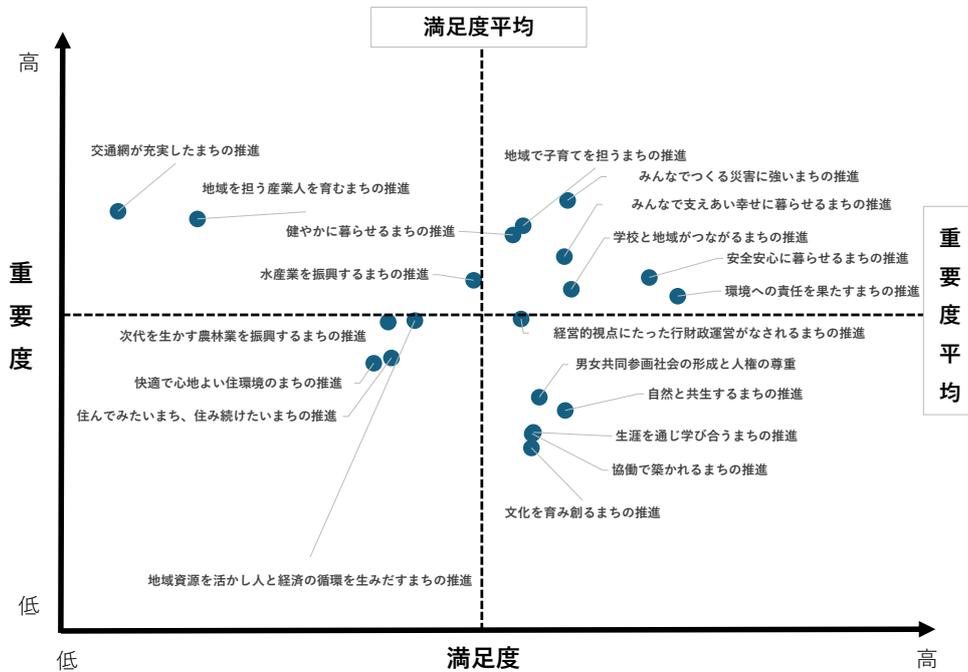
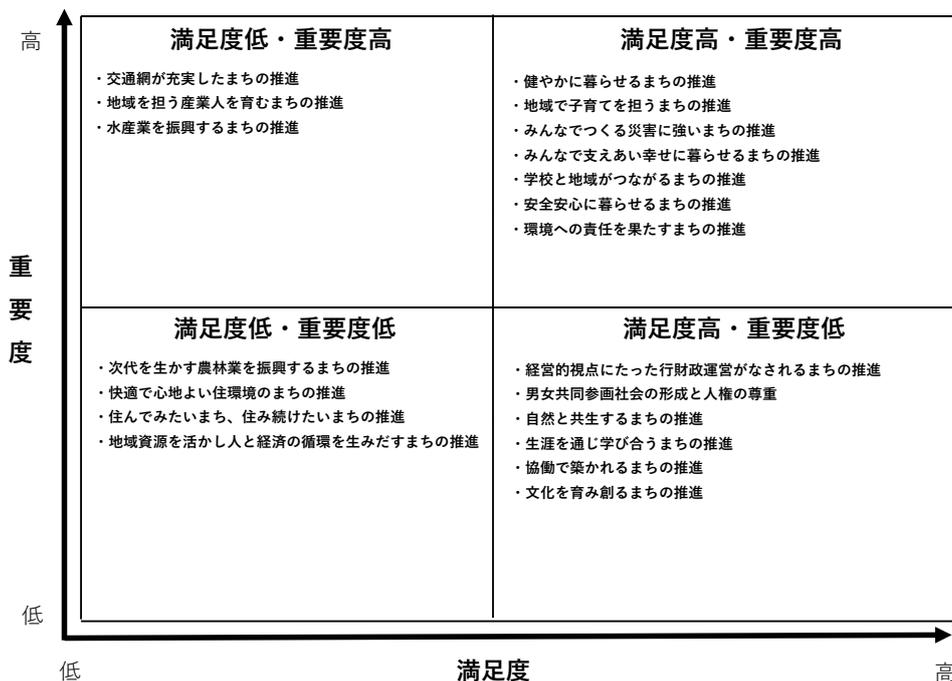


図6 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その2（全体）



(7) 満足度と重要度の2軸分析（年齢別）

① 18～24歳

- 「18～24歳」では、「満足度高・重要度高」の象限には「自然と共生するまちの推進」や「環境への責任を果たすまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」が分布しています。

図7 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果（18～24歳）

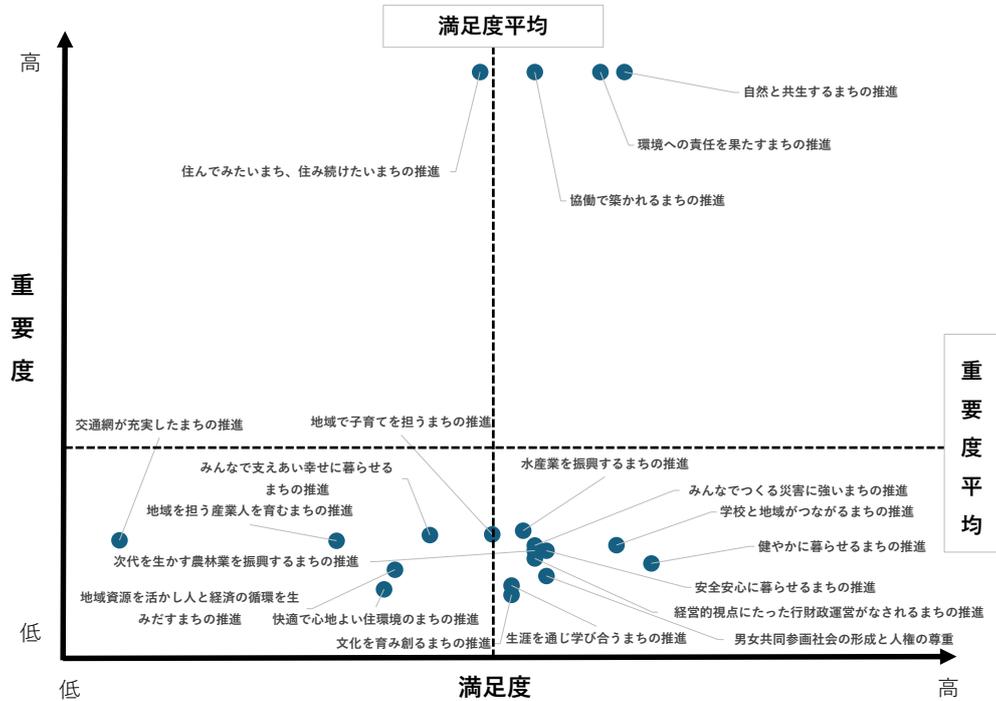
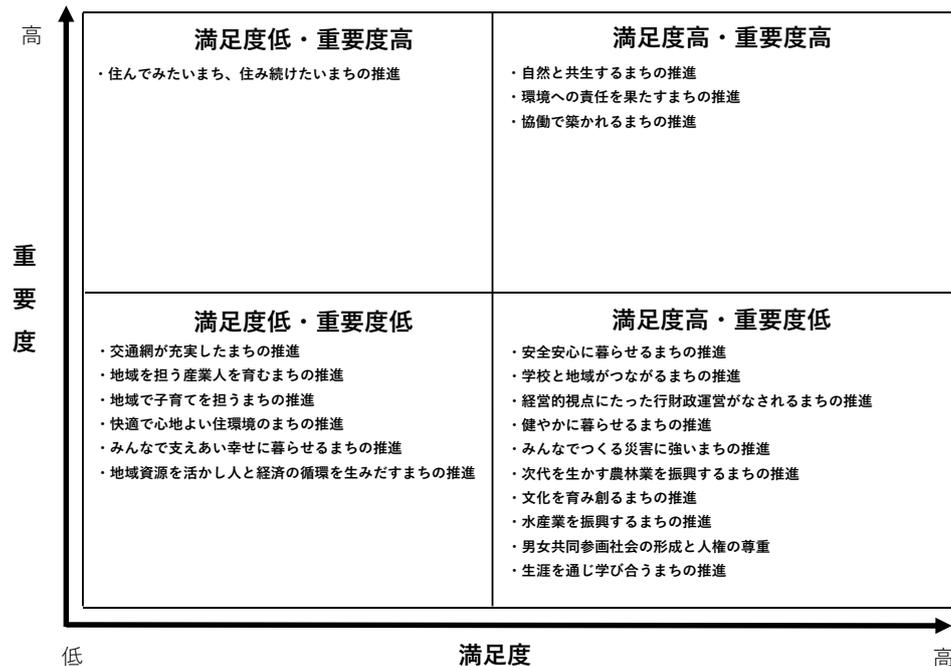


図8 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果その2（18～24歳）



② 25～64歳

- 「25～64歳」では、「満足度高・重要度高」の象限には「地域で子育てを担うまちの推進」や「水産業を振興するまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「健やかに暮らせるまちの推進」や「交通網が充実したまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図9 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果（25～64歳）

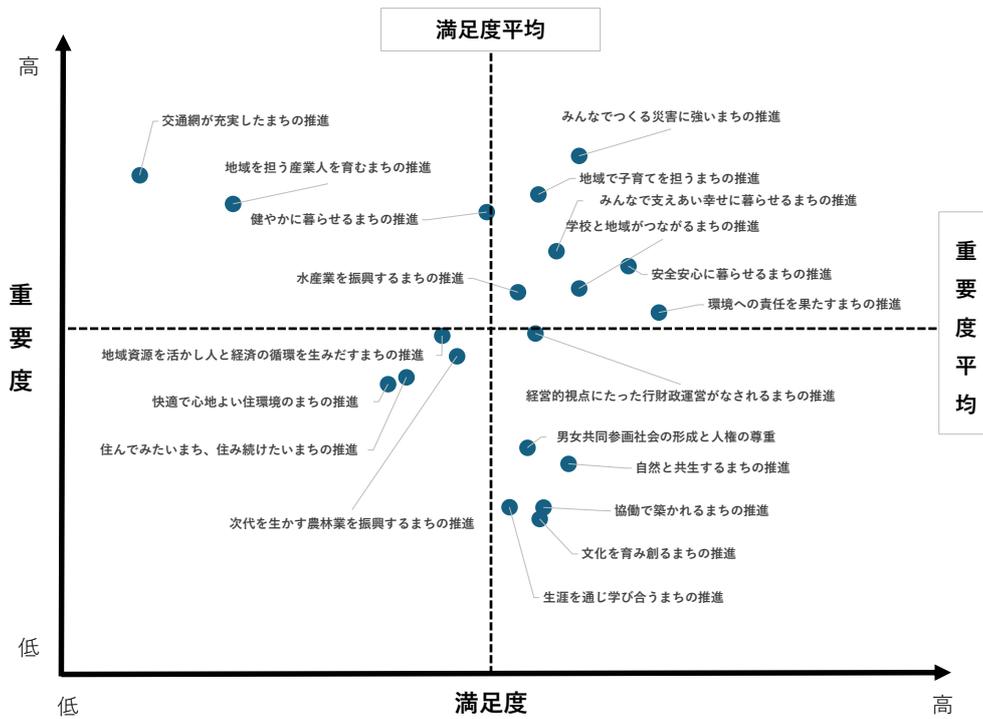
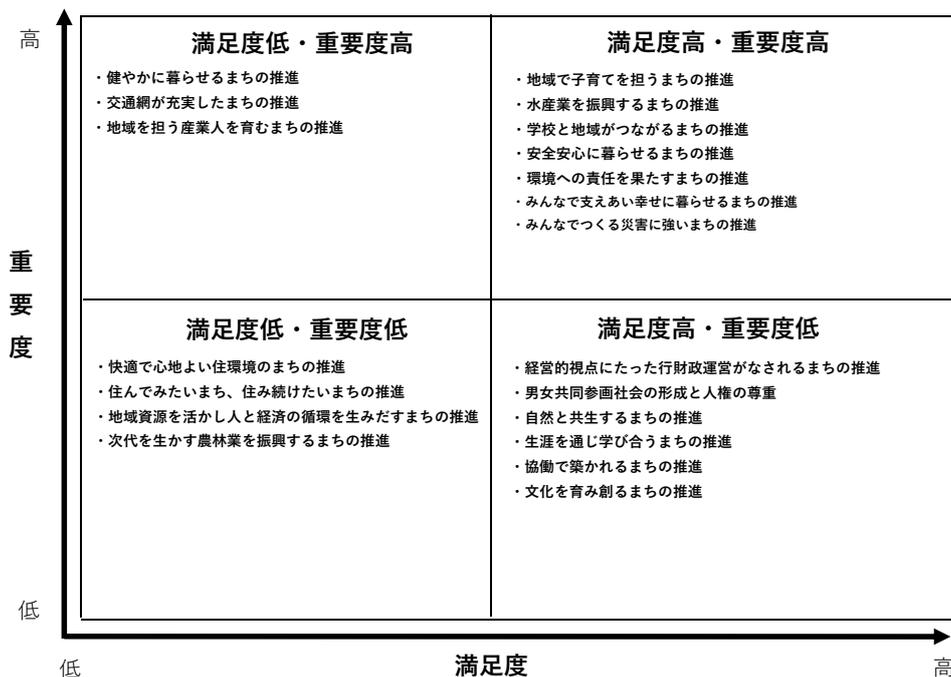


図10 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果その2（25～64歳）



③ 65歳以上

- 「65歳以上」では、「満足度高・重要度高」の象限には「地域で子育てを担うまちの推進」や「学校と地域がつながるまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「交通網が充実したまちの推進」や「地域を担う産業人を育むまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図 11 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果（65歳以上）

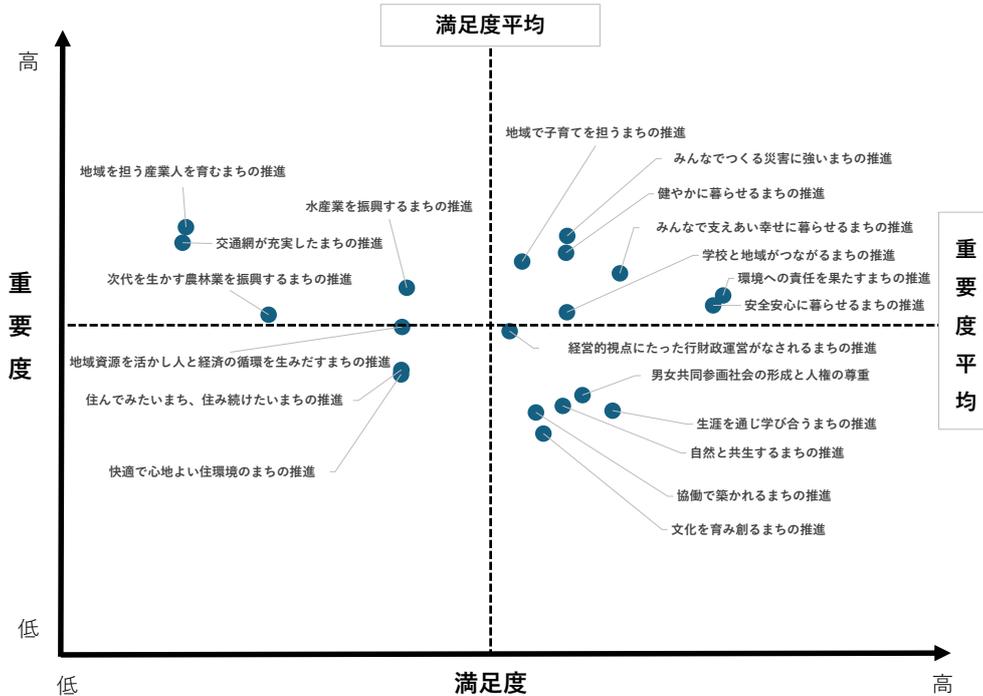
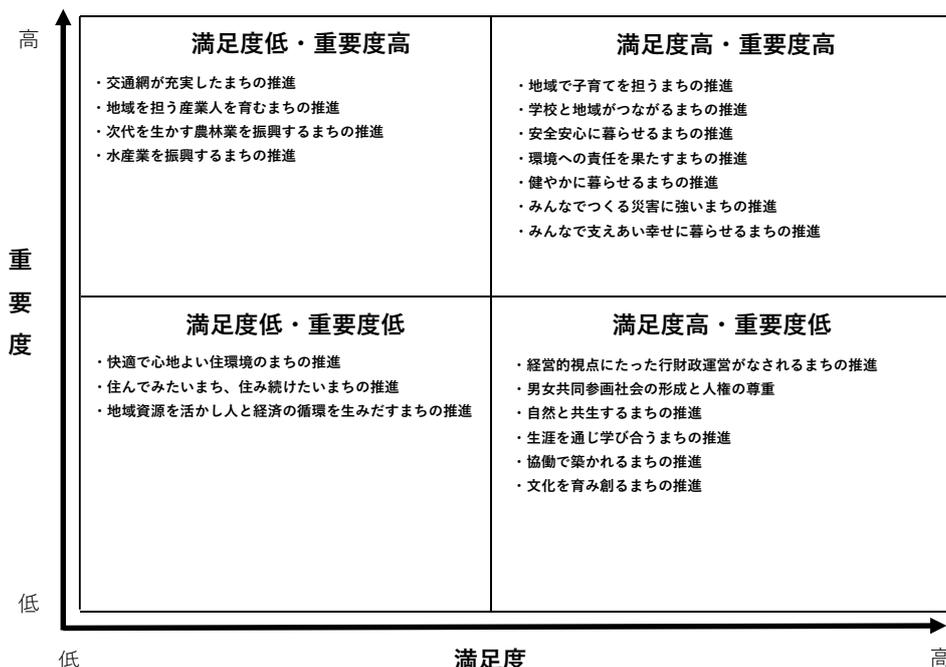


図 12 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果その2（65歳以上）



(8) 満足度と重要度の2軸分析（居住地区別）

① 香住区

- 居住地区別にみると、「香住区」では「満足度高・重要度高」の象限には「安全安心に暮らせるまちの推進」や「環境への責任を果たすまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「水産業を振興するまちの推進」や「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図 13 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その1（香住区）

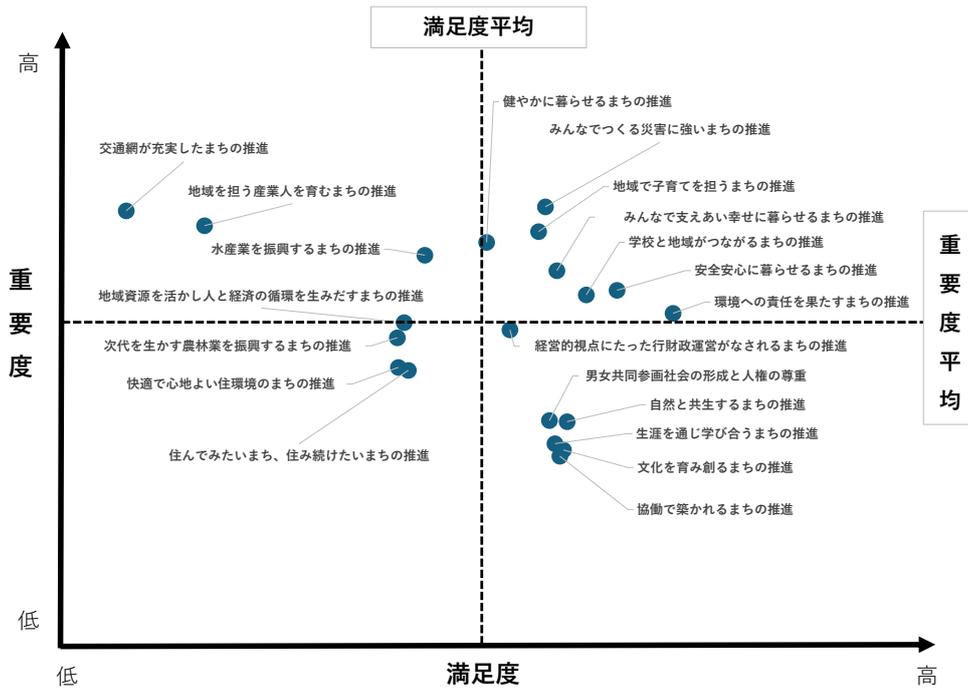
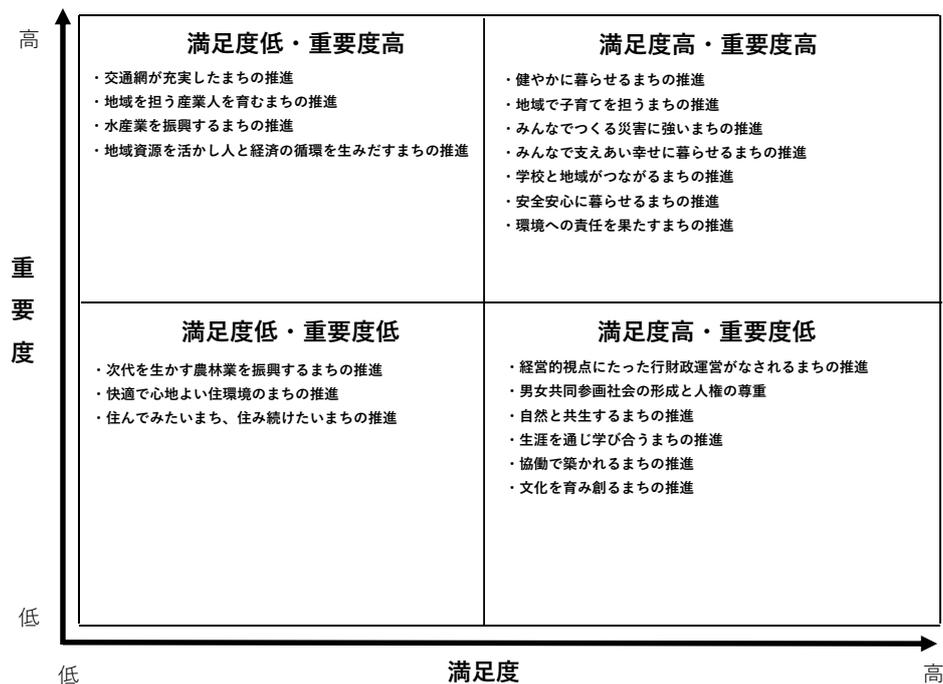


図 14 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その2（香住区）



②村岡区

- 「村岡区」では「満足度高・重要度高」の象限には「安全安心に暮らせるまちの推進」や「環境への責任を果たすまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「交通網が充実したまちの推進」や「地域を担う産業人を育むまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図 15 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その1（村岡区）

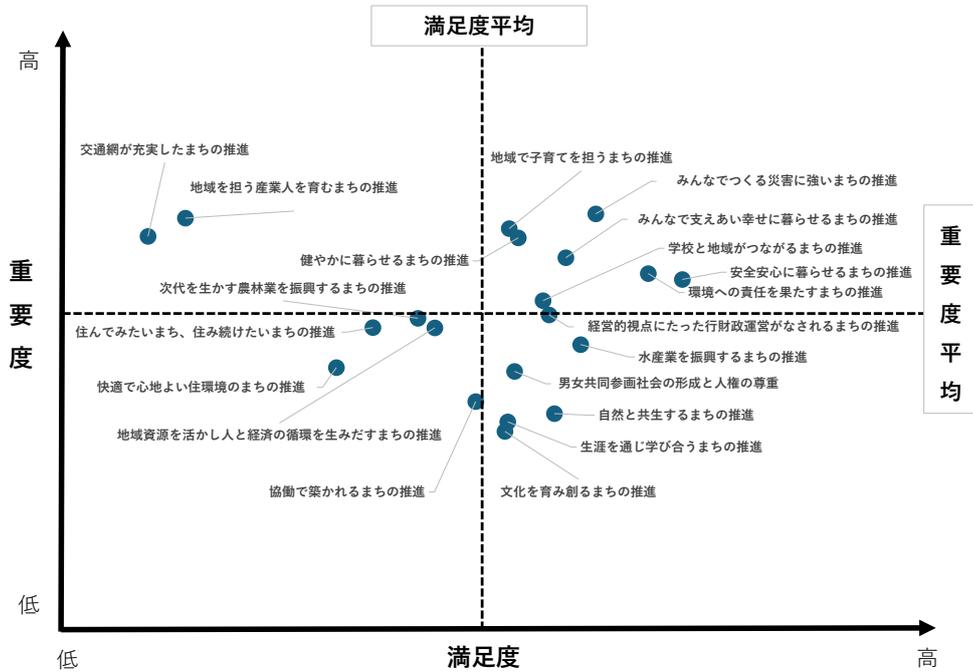
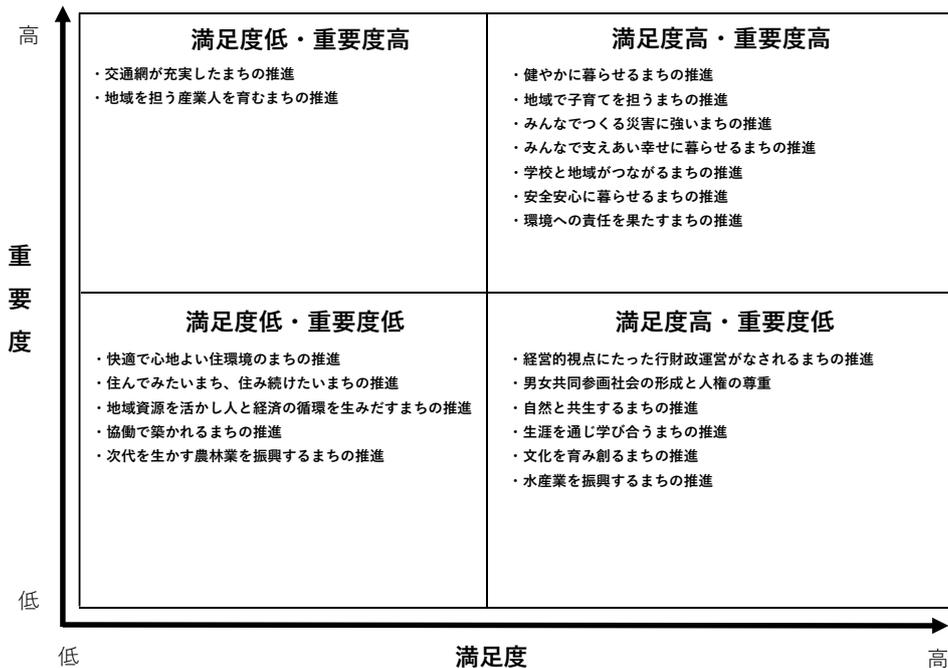


図 16 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その2（村岡区）



③小代区

- 「小代区」では「満足度高・重要度高」の象限には「安全安心に暮らせるまちの推進」や「環境への責任を果たすまちの推進」などの主要施策が分布し、「満足度低・重要度高」の象限には「地域で子育てを担うまちの推進」や「地域を担う産業人を育むまちの推進」、「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」などの主要施策が分布しています。

図 17 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その1（小代区）

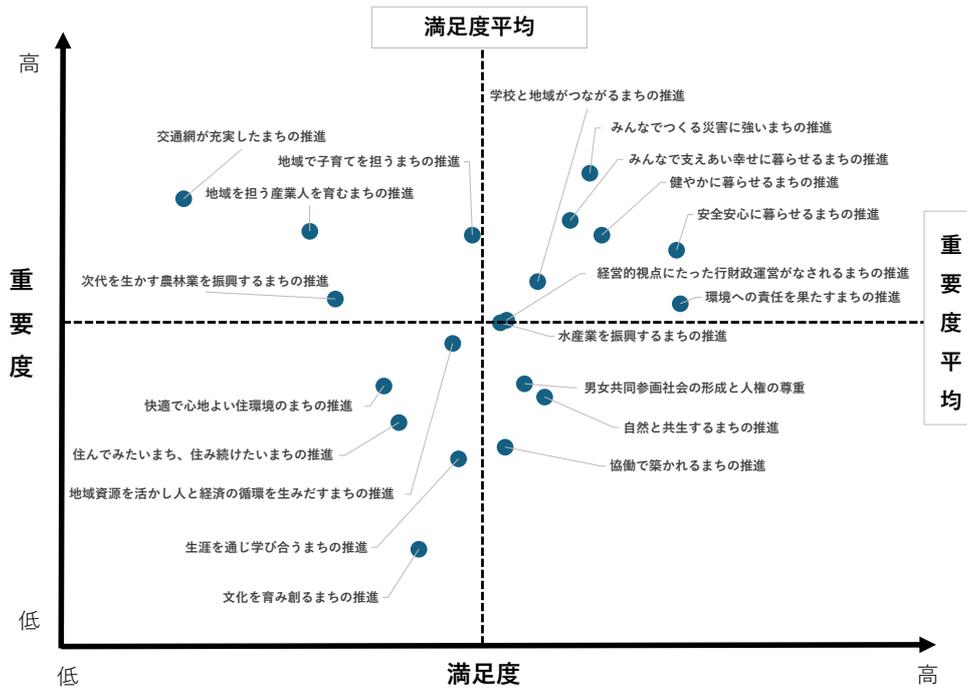
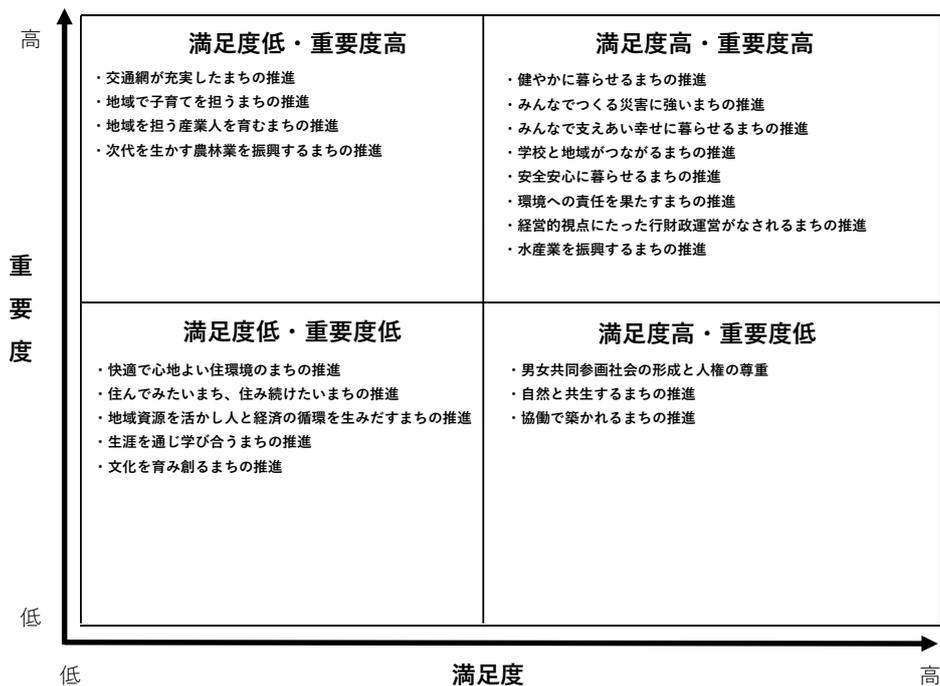


図 18 「満足度」と「重要度」の2軸分析結果 その2（小代区）



基本方針Ⅰ ふるさとを担う子どもを育むまち

問 13 「地域で子育てを担うまちの推進」について

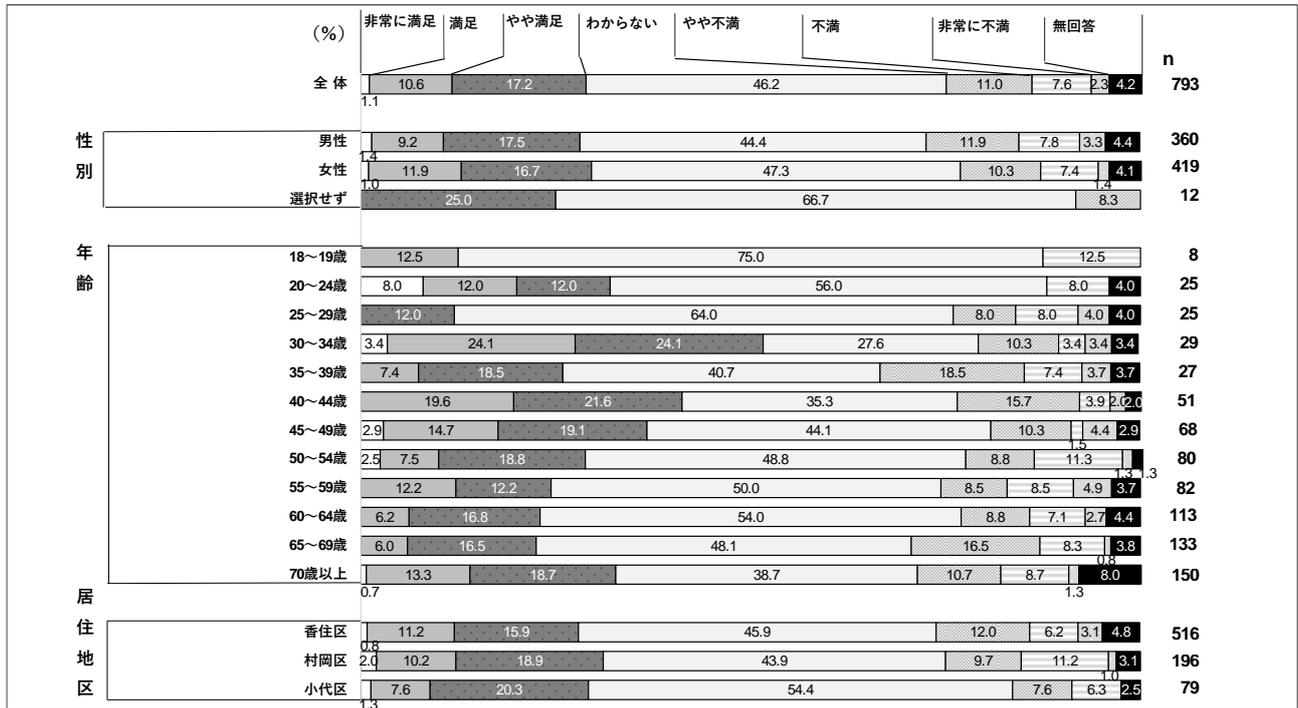
施策内容

結婚・出産期における支援から教育・保育サービス、放課後の居場所づくりまで、子どもの成長にあわせた切れ目のない支援を充実させ、安心して子育てができる環境づくりに努めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 28.9%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 20.9%を8ポイント上回っており、「わからない」が 46.2%となっています。
- 「地域で子育てを担うまちの推進」の満足度について、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 51.6%で最も高く、「40～44 歳」が 41.2%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 29.6%で最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「村岡区」が 31.1%で最も高く、「小代区」が 29.2%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「村岡区」が 21.9%で最も高くなっています。

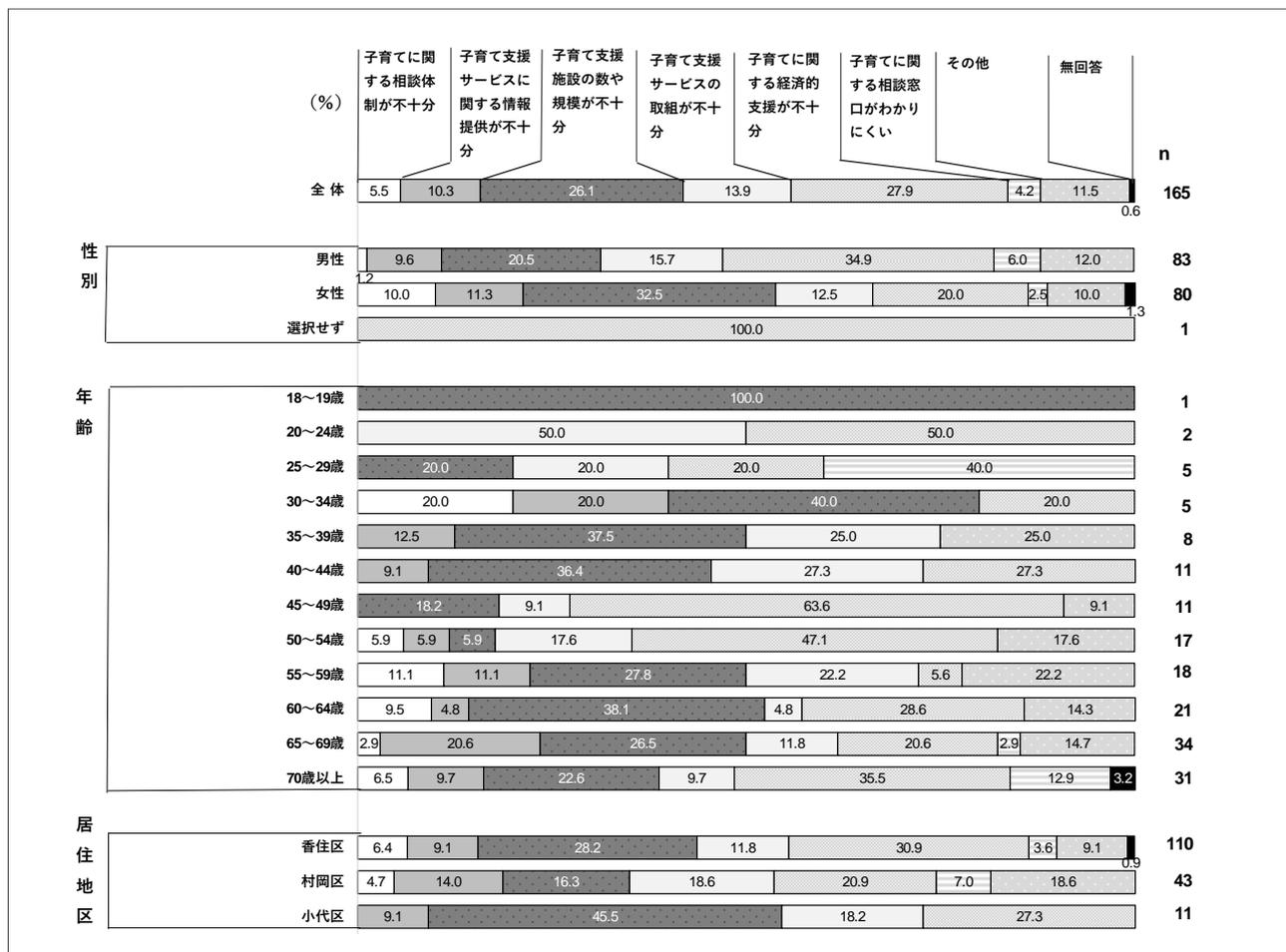
図 13- 1 「地域で子育てを担うまちの推進」の満足度



不満理由

- 「地域で子育てを担うまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「子育てに関する経済的支援が不十分」が 27.9%で最も高く、次いで「子育て支援施設の数や規模が不十分」の 26.1%、「子育て支援サービスの取組が不十分」が 13.9%となっています。
- 男女別で見ると、男性では、「子育てに関する経済的支援が不十分」が 34.9%と最も高く、次いで「子育て支援施設の数や規模が不十分」が 20.5%、「子育て支援サービスの取組が不十分」が 15.7%となっています。女性では、「子育て支援施設の数や規模が不十分」が 32.5%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援が不十分」が 20.0%、「子育て支援サービスの取組が不十分」が 12.5%となっています。
- 年齢別にみると、「45～49 歳」では、「子育てに関する経済的支援が不十分」が 63.6%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、「小代区」では、「子育て支援施設の数や規模が不十分」が 45.5%となっており、香住区、村岡区に比べて 15 ポイント以上高くなっています。

図 13-2 「地域で子育てを担うまちの推進」の不満理由



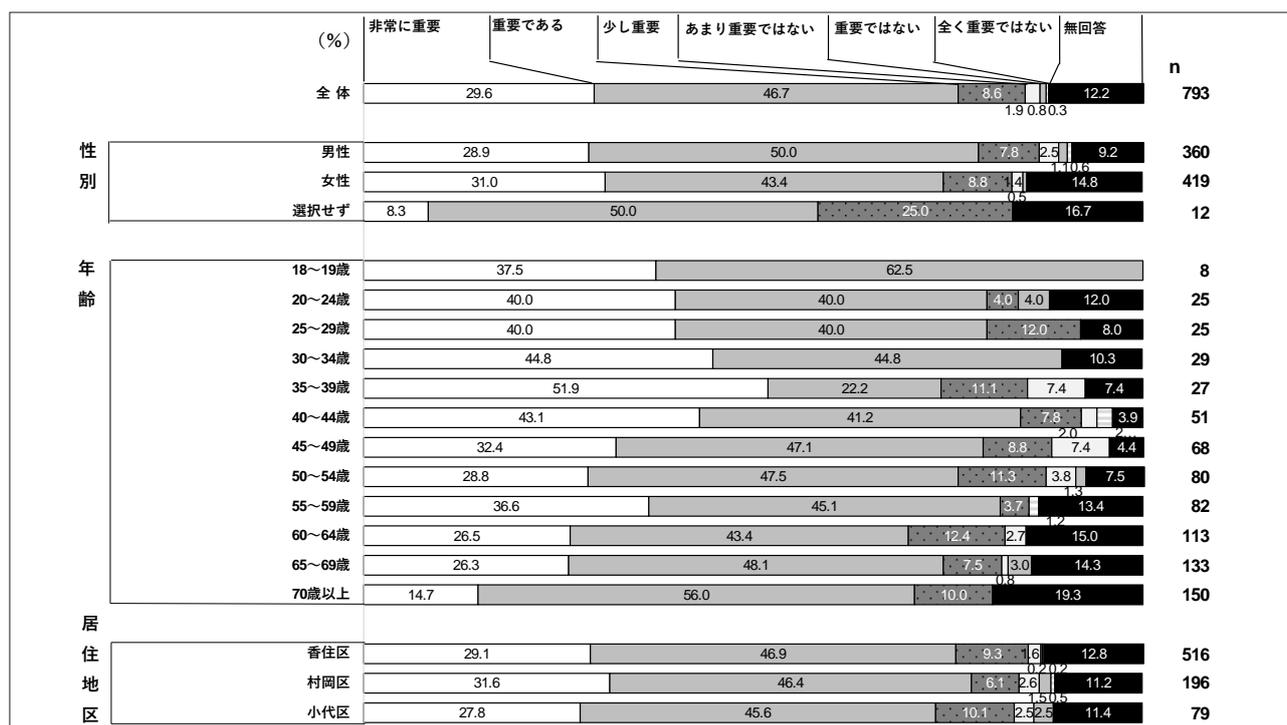
【その他】

小さな町で、保育園、幼稚園と大切な時期に友達、先生、環境が何度か変わること。幼保一体でやってほしい。／子育てへの支援は素晴らしいが、若い世代の地域への関わりが少ない。親としての責任も持ってほしい。／その年代の同居者がいないため支援の内容がわからない。仮にその年代の人と同居していれば多くの支援は望みたいと思う。／子育ては終わりました。若い子を地元で就職して結婚をさせる事が大事ではないでしょうか。／本当に実施しているのか？さえ感じる／子育て以前に子供が全然いない。まず若い人が結婚をして初めて子育てがある／未婚者として情報を求む／少子化により学校が廃校になり、通学が不便になる／子供がいないので？／子育てから遠ざかって長年たつので現在がどうなっているのかわかりません／出産期の支援が不十分、病院が遠い／教育環境の確保／4 コメント：産後、育休期間中一人の子供しか保育園に預けられないというシステム。働く親を重視してもらえない、町の宝である子供の保育を大切に考えてもらえない！！／結婚。未婚者を減らす策がいる。子育ても大切だが、その前に結婚。／実施している施策について、具体的に何をしている／マンネリ化している。放課後児童クラブ職員の研修

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が84.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が3.0%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男女とも約8割となっていますが、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では4.2%、女性では1.9%と差が見られます。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）はいずれの年代でも8割以上となっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区それぞれで8割以上となっています。

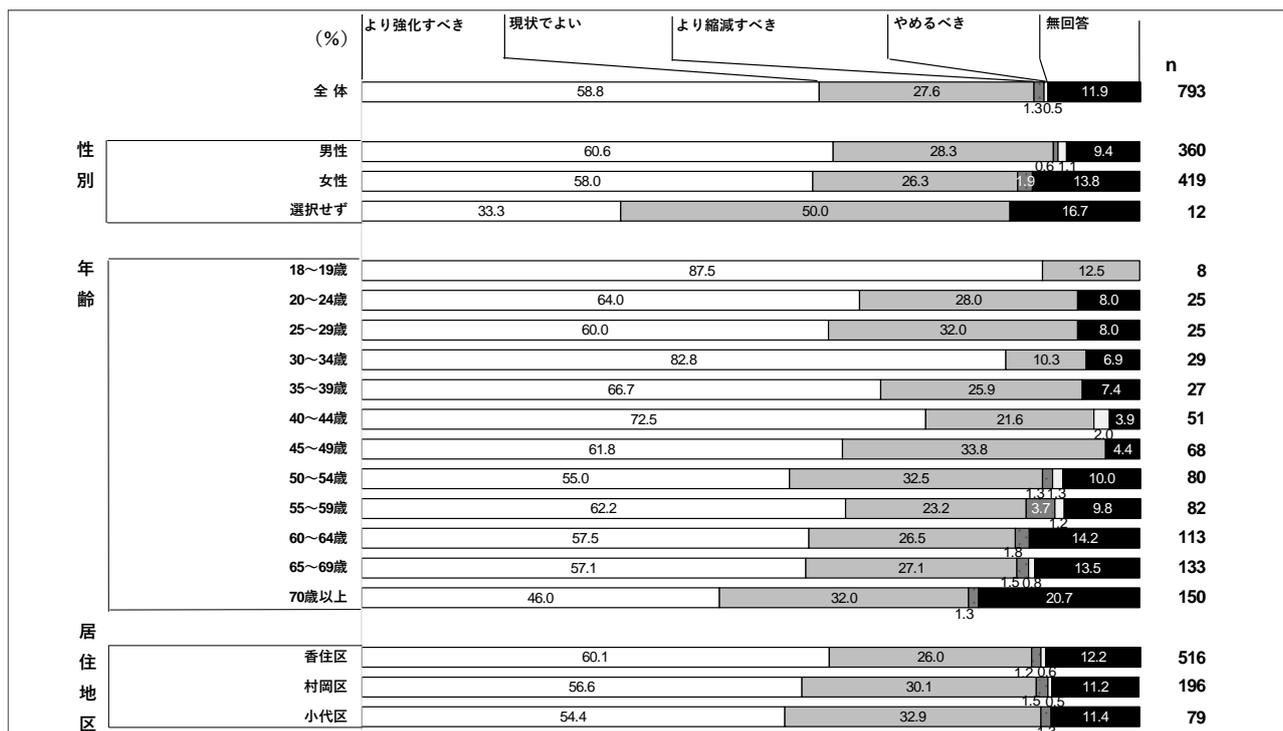
図 13-3 「地域で子育てを担うまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 58.8%、「現状でよい」が 27.6%となっています。
- 「地域で子育てを担うまちの推進」の注力度について、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」と答えた方の割合は、「18～19 歳」、「30～34 歳」で 80.0%を超えており、年齢が上がるにつれてその割合が低くなる傾向が見られます。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」がすべての地区で 5 割以上となっています。

図 13-4 「地域で子育てを担うまちの推進」の注力度



問 14 「学校と地域がつながるまちの推進」について

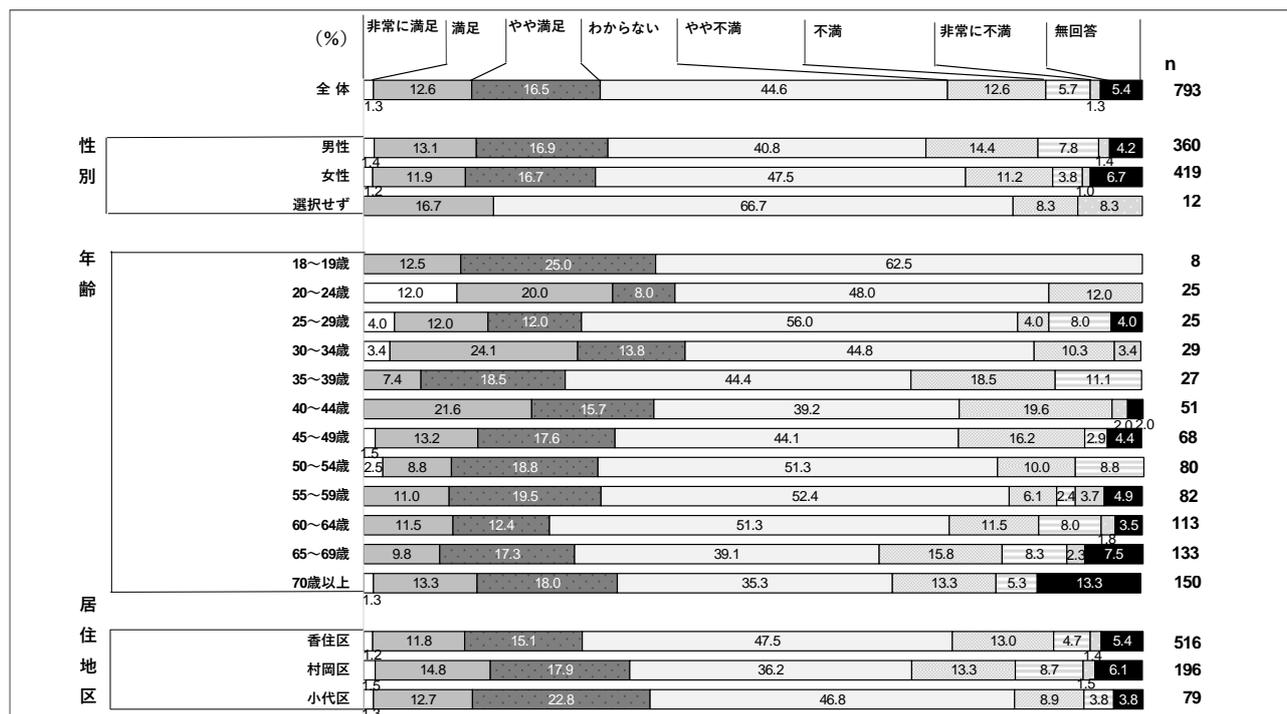
施策内容

学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ連携・協力し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える取組を進めています。また、ふるさとに関する学びを通じた地域の絆の強化につながる取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 30.4%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 19.6%を 10.8 ポイント上回っており、「わからない」が 44.6%となっています。
- 「学校と地域がつながるまちの推進」の満足度について、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 41.3%で最も高く、「18～19 歳」が 37.5%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 29.6%で最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「小代区」が 36.8%で最も高く、「村岡区」が 34.2%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「村岡区」が 23.5%で最も高くなっています。

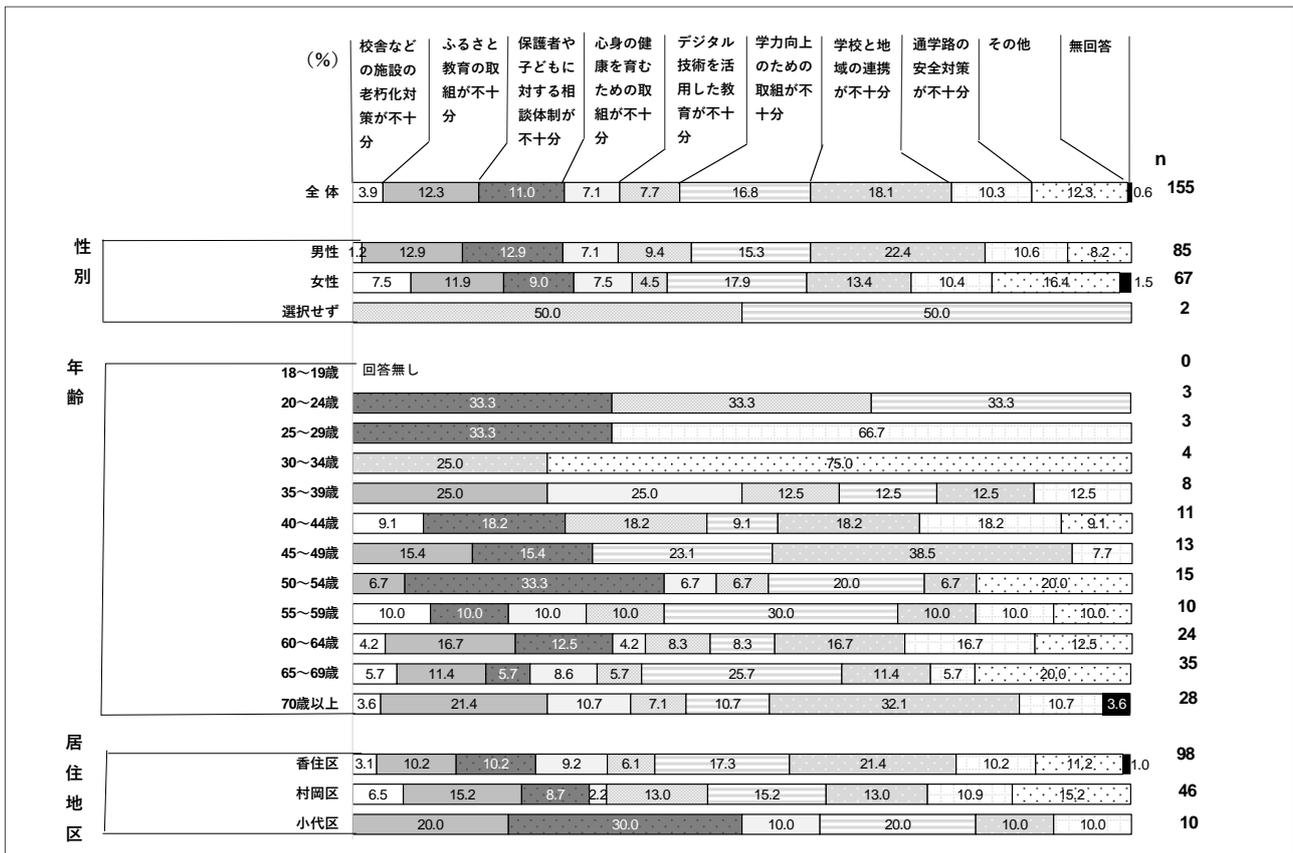
図 14-1 「学校と地域がつながるまちの推進」の満足度



不満理由

- 「学校と地域がつながるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「学校と地域の連携が不十分」が 18.1%で最も高く、次いで「学力向上のための取組が不十分」の 16.8%となっています。
- 男女別で見ると、男性では、「学校と地域の連携が不十分」が 22.4%と最も高く、次いで「学力向上のための取組が不十分」が 15.3%、「ふるさと教育の取組が不十分」、「保護者や子どもに対する相談体制が不十分」がそれぞれ 12.9%となっています。女性では、「学力向上のための取組が不十分」が 17.9%と最も高く、次いで「学校と地域の連携が不十分」が 13.4%、「ふるさと教育の取組が不十分」が 11.9%となっています。
- 年齢別にみると、「45～49 歳」で「学校と地域の連携が不十分」が 38.5%、「70 歳以上」で 32.1%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区では「学校と地域の連携が不十分」が 21.4%と最も高くなっており、村岡区では「ふるさと教育の取組が不十分」、「学力向上のための取組が不十分」がそれぞれ 15.2%と最も高く、小代区では「保護者や子どもに対する相談体制が不十分」が 30.0%と最も高くなっています。

図 14-2 「学校と地域がつながるまちの推進」の不満理由



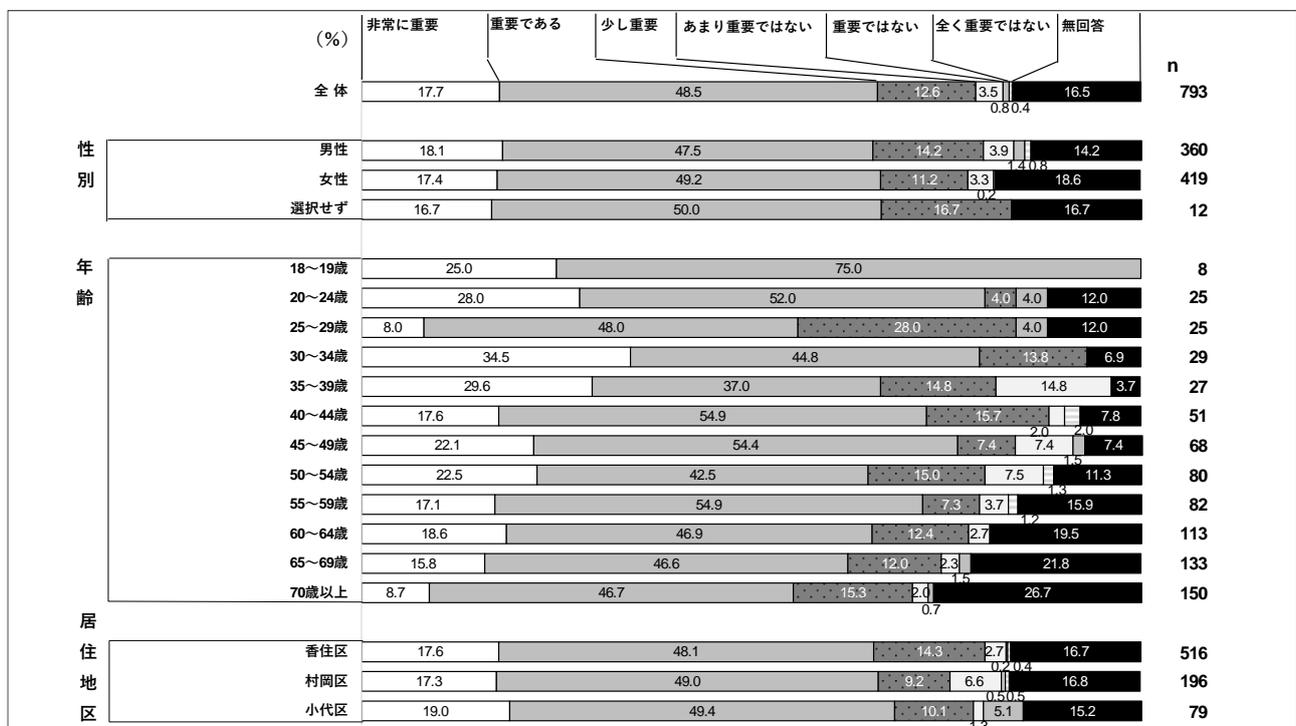
【その他】

早急な統合が必要／学校の統廃合により学校と地域のつながりを実感できない。／通学方法／まず子供が生まれて初めていろいろなことが考えられるが人口が減少していたら未来はない／子供が少ないと保護者の負担が大きい（PTA など役員）／各高等学校の学力向上と魅力の向上が必要と思う／学校の統合でできにくくなっていないか。地域にまかせることはできないか。／スポーツ教室、部活動等で児童生徒が使用する体育 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が78.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が4.7%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では79.8%、女性では77.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では6.1%、女性では3.5%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）はいずれの年代でも7割以上となっていますが、年齢が上がるにつれてその割合は低くなる傾向が見られます。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区それぞれ7割以上となっています。

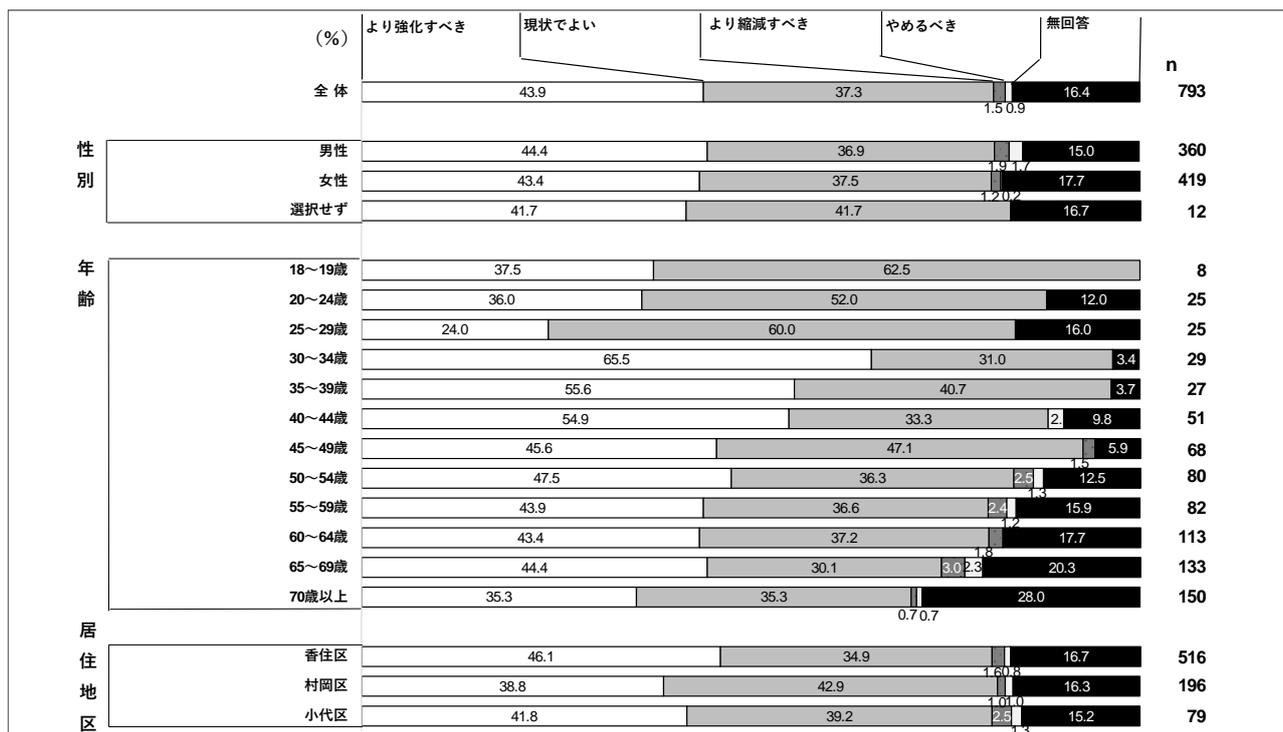
図 14-3 「学校と地域がつながるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 43.9%、「現状でよい」が 37.3%となっています。
- 男女別にみると、男性では「より縮減すべき」が 1.9%、「やめるべき」が 1.7%となっており、女性では「より縮減すべき」が 1.2%、「やめるべき」が 0.2%となっています。
- 年代別にみると、「より強化すべき」と答えた方の割合は、「30～34 歳」で 65.5%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 55.6%、「40～44 歳」で 54.9%となっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 46.1%と最も高く、次いで小代区で 41.8%、村岡区で 38.8%となっています。

図 14-4 「学校と地域がつながるまちの推進」の注力度



問 15 「生涯を通じ学び合うまちの推進」について

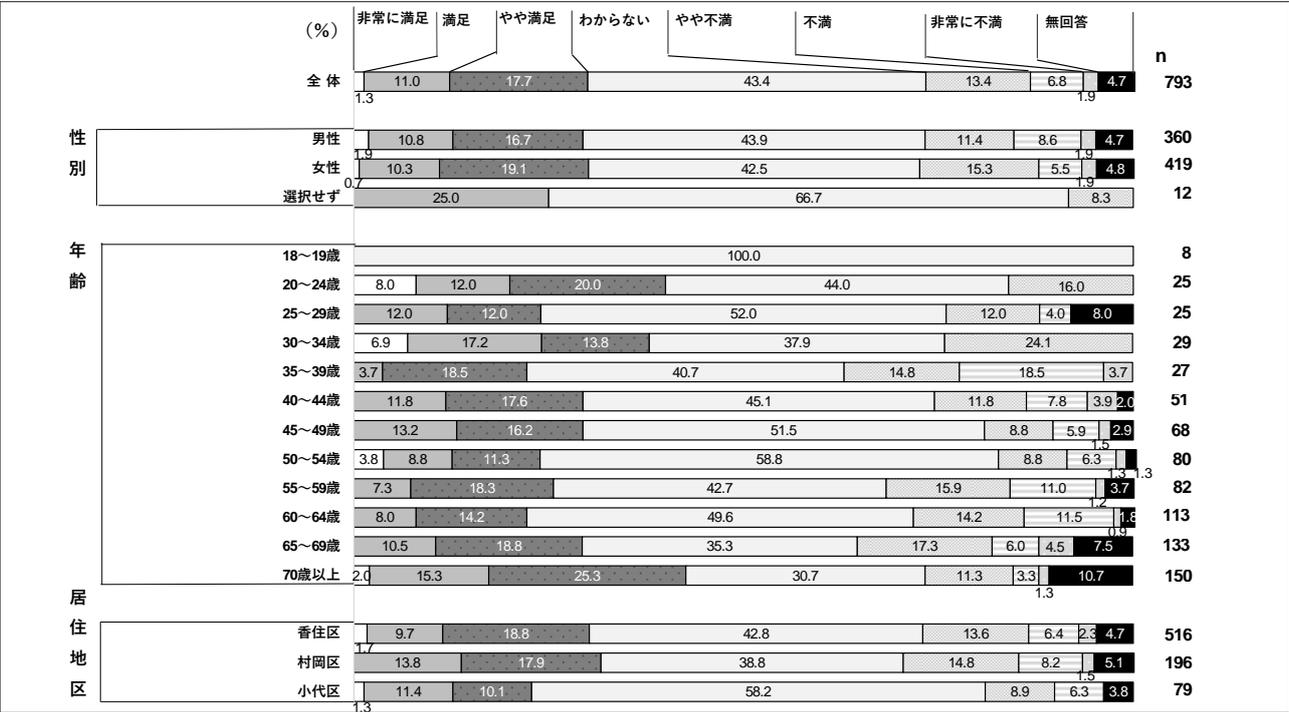
施策内容

生涯学習の充実やスポーツ振興のため、ニーズに応じた講座や各種教室、スポーツ教室や大会など、世代別に多様な取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 30.0%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 22.1%を 7.9 ポイント上回っており、「わからない」が 43.4%となっています。
- 「生涯を通じ学び合うまちの推進」の満足度について、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「70 歳以上」が 42.6%で最も高く、「20～24 歳」が 40.0%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 37.0%で最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は村岡区が 31.7%で最も高く、香住区が 30.2%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が 24.5%で最も高くなっています。

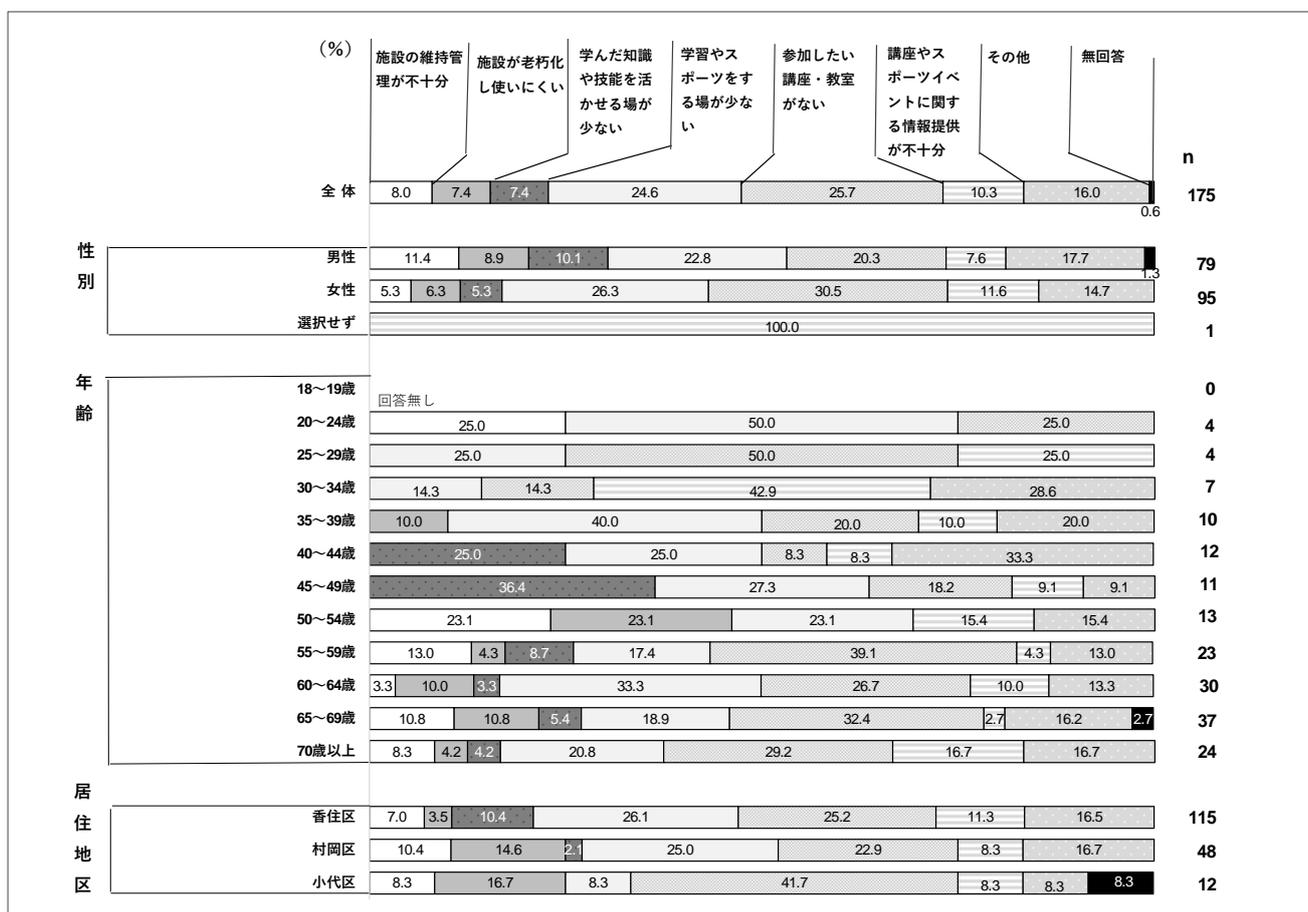
図 15-1 「生涯を通じ学び合うまちの推進」の満足度



不満理由

- 「生涯を通じ学び合うまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「参加したい講座・教室がない」が 25.7%で最も高く、次いで「学習やスポーツをする場が少ない」の 24.6%となっています。
- 男女別で見ると、男性では、「学習やスポーツをする場が少ない」が 22.8%と最も高く、次いで「参加したい講座・教室がない」が 20.3%となっています。女性では、「参加したい講座・教室がない」が 30.5%と最も高く、次いで「学習やスポーツをする場が少ない」が 26.3%となっています。
- 年齢別にみると、「20～24 歳」で「学習やスポーツをする場が少ない」が 5 割、「25～29 歳」で「参加したい講座・教室がない」が 5 割と他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区では「学習やスポーツをする場が少ない」がそれぞれ 26.1%、25.0%と最も高くなっており、小代区では「参加したい講座・教室がない」が 41.7%と最も高くなっています。

図 15-2 「生涯を通じ学び合うまちの推進」の不満理由



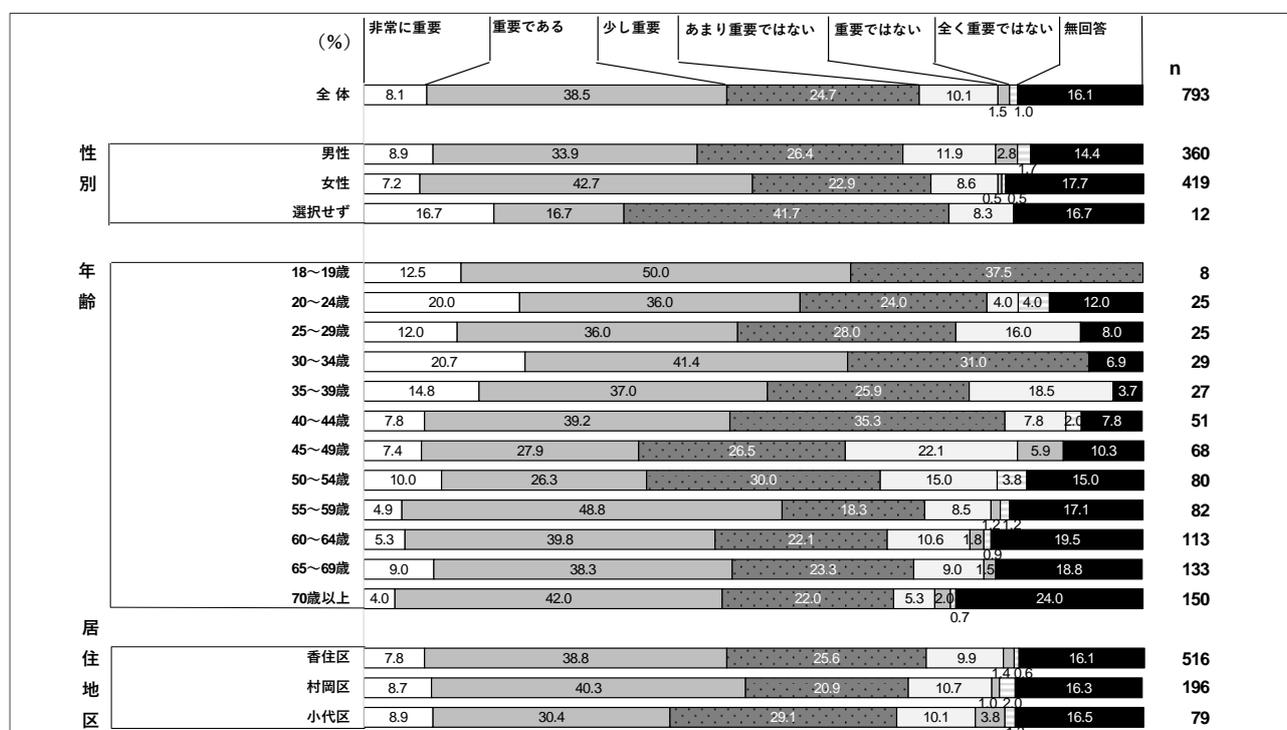
【その他】

告知が型通りで興味がわかない／地区公民館の活動が停滞している。／参加しやすい場を増すべき／施設が遠い／空調について、公共施設の空調が弱く、かかっていないように感じています。暑すぎたり寒すぎたりする中、本を読んで過ごしたり、勉強して過ごせる公共施設がない。頻繁に利用させてもらっているし、施設の方の対応はとても良い。取り組みも素晴らしいが、環境に力を入れてほしい。公共の施設で生涯学習に取り組めるようにしてやってほしい。／地域に講師となる人がいるのに掘り起こせていない／まず人口を確保すること／土日参加できる行事を／どのような学習、スポーツがあるのかわからない／参加に伴う送迎の点／障害者スポーツの場がない／BG 教室に行きたいが親が働いているため送迎が出来ないのであきらめている／個人の問題にすぎない事に公金を利用する必要がありますか？／6 コメント：スポーツするのに入館料が必要って地元の庶民にマナーを取るん。桜を目でることすら出来ず使い勝手が悪いね。／高齢者が増えている、高齢者が元気でいられる場が必要である／もっとコンパクトでいい／有名スポーツ選手を輩出したい。このためには指導者の呼び込み、研修などが必要と考える。／学校（部活）外で行われるスポーツ教室等について／過大な選択肢に対応不能／若者向けの講座が少なすぎる／興味のある講座が、教室がない 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が71.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が12.6%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では69.2%、女性では72.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では16.4%、女性では9.6%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」が100.0%で最も高く、「30～34歳」が93.1%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「45～49歳」が28.0%で最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で15.2%と最も高く、次いで村岡区で13.7%、香住区で11.9%となっています。

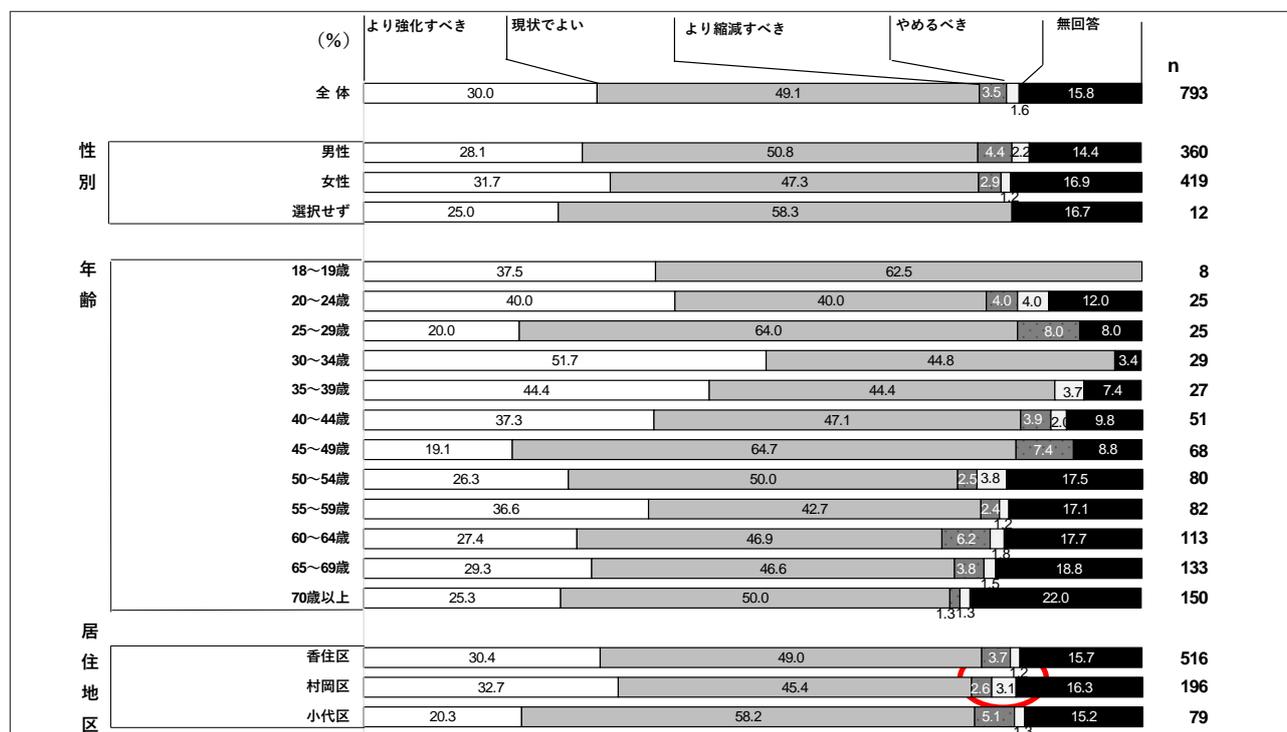
図 15-3 「生涯を通じ学び合うまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 30.0%、「現状でよい」が 49.1%となっています。
- 男女別にみると、「生涯を通じ学び合うまちの推進」の注力度について、男性では「より縮減すべき」が 4.4%、「やめるべき」が 2.2%となっており、女性では「より縮減すべき」が 2.9%、「やめるべき」が 1.2%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」は、「30～34 歳」で 51.7%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 44.4%となっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 32.7%と最も高く、次いで香住区で 30.4%、小代区で 20.3%となっています。また、村岡区では「やめるべき」が 3.1%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 15-4 「生涯を通じ学び合うまちの推進」の注力度



問 16 「文化を育み創るまちの推進」について

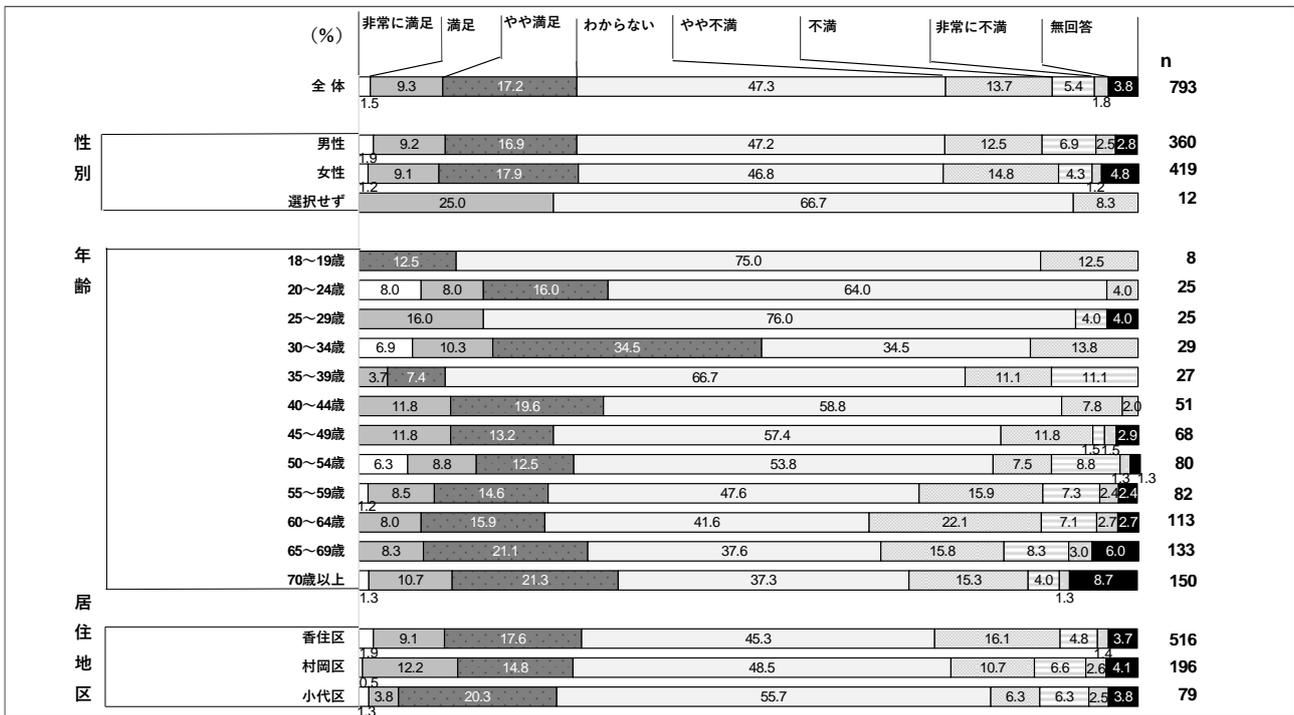
施策内容

文化芸術を振興するため、質の高い芸術に触れる機会を作るとともに、文化芸術を楽しむ機運の醸成に取り組んでいます。また、文化財の周知を図る取組や、伝統文化を後世に引き継ぐための取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が28.0%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の20.9%を7.1ポイント上回っており、「わからない」が47.3%となっています。
- 「文化を育み創るまちの推進」の満足度について、男女による大きな違いは見られません。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が51.7%で最も高く、「70歳以上」が33.3%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「60～64歳」が31.9%で最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は香住区が28.6%で最も高く、村岡区が27.5%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が22.3%で最も高くなっています。

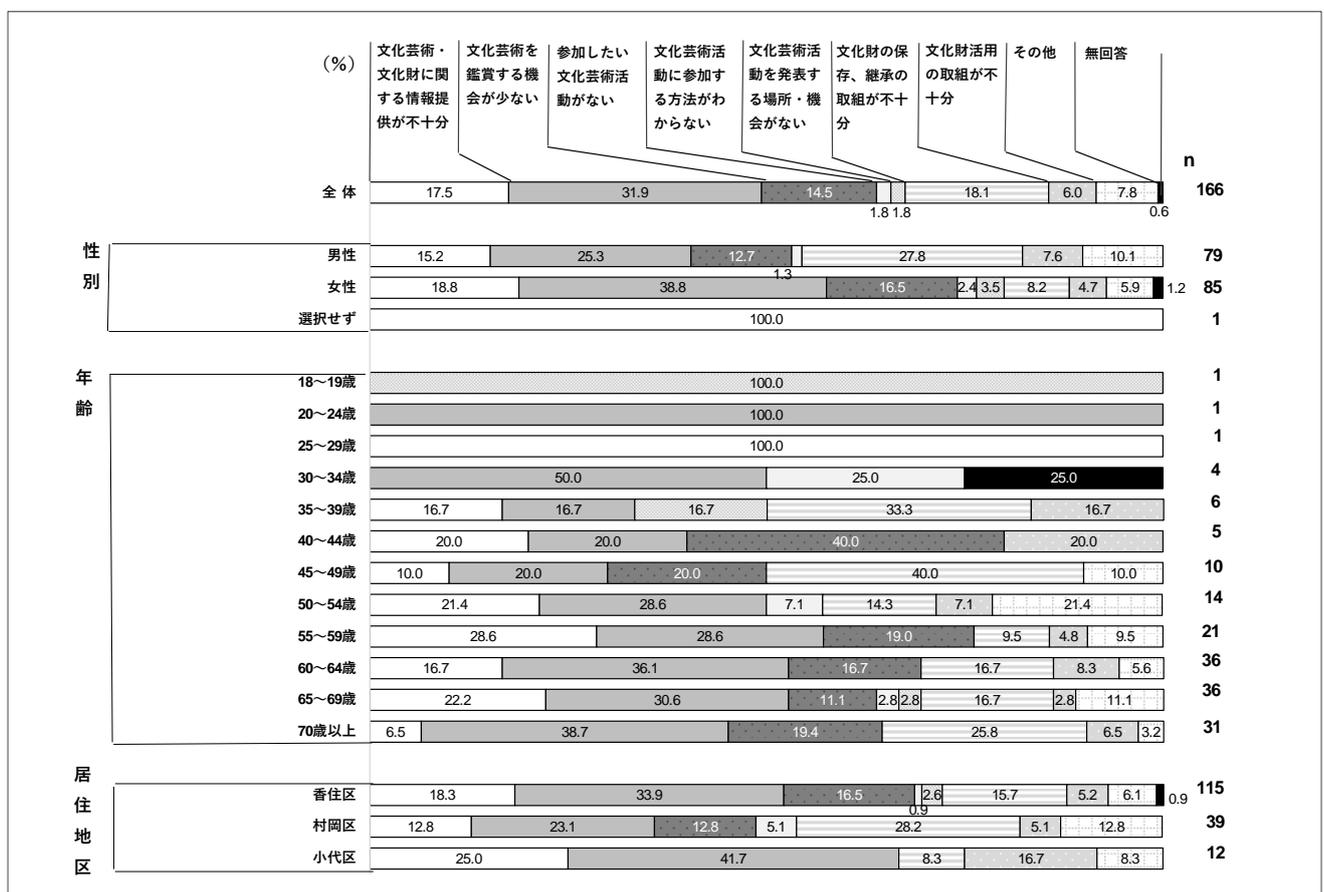
図 16- 1 「文化を育み創るまちの推進」の満足度



不満理由

- 「文化を育み創るまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が31.9%で最も高く、次いで「文化財の保存、継承の取組が不十分」の18.1%となっています。
- 男女別で見ると、男性では、「文化財の保存、継承の取組が不十分」が27.8%と最も高く、次いで「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が25.3%となっています。女性では、「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が38.8%と最も高く、次いで「文化芸術・文化財に関する情報提供が不十分」が18.8%となっています。
- 年齢別にみると、「40～44歳」で「参加したい文化芸術活動がない」、「45～49歳」で「文化財の保存、継承の取組が不十分」がそれぞれ40.0%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、小代区では「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」がそれぞれ33.9%、41.7%と最も高くなっており、村岡区では「文化財の保存、継承の取組が不十分」が28.2%と最も高くなっています。

図 16-2 「文化を育み創るまちの推進」の不満理由



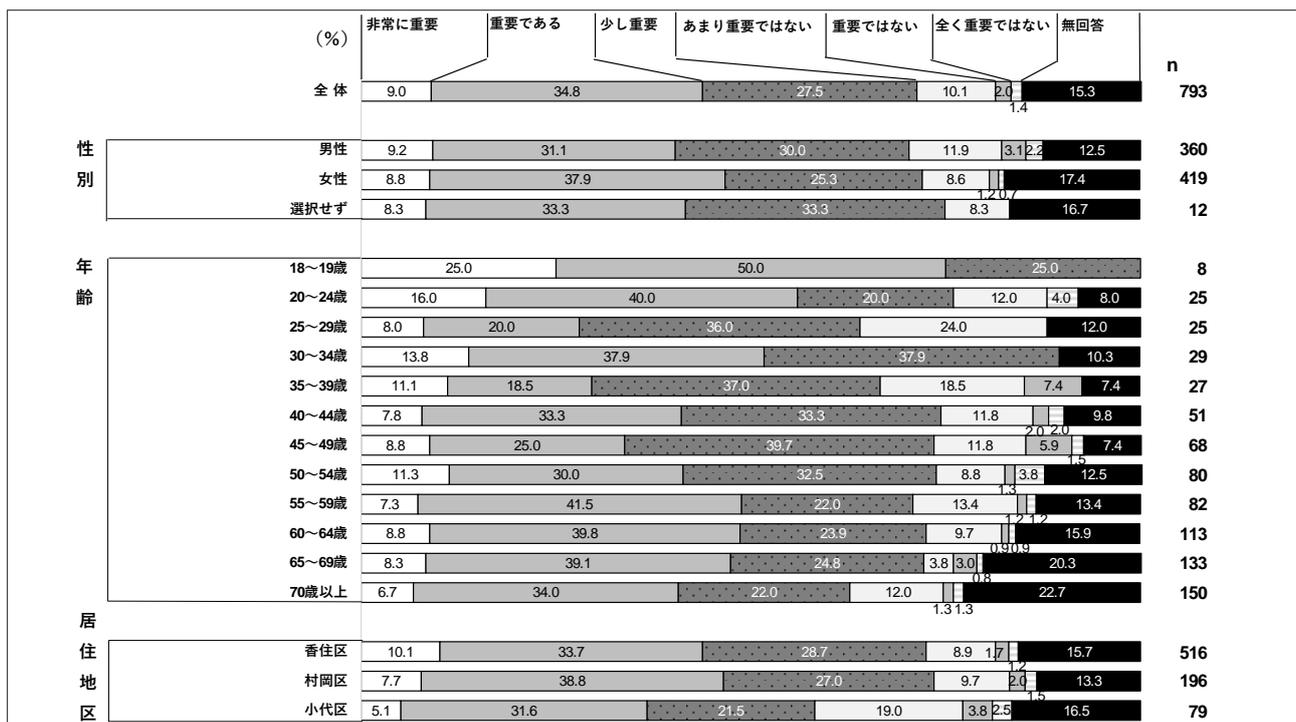
【その他】

図書館が必要／一般参加型の行事が無い／強制すべきことではない。そこに「予算は必要でしょうか？／せっかくの事業に参加する人が少ない。／役所の専門の課を充実する／香住区が中心になっている／子供たちに本物の芸術などを体感させるべき／香住区にかたよっている／個人の問題にすぎない事に公金を利用する必要がありますか？／興味がない／講演 etc にしても中央（香住）ばかりの開催なので不満！！村岡、小代と交互のとり組みにしてほしい。／この施策について、具体的に何をしているのか、何 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が 71.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が 13.5%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では 70.3%、女性では 72.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では 17.2%、女性では 10.5%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19 歳」で 100.0%と最も高く、次いで、「30～34 歳」で 89.6%、「20～24 歳」で 76.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「35～39 歳」で 25.9%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は村岡区で 73.5%と最も高く、次いで、香住区で 72.5%、小代区で 58.2%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で 25.3%と最も高く、次いで村岡区で 13.2%、香住区で 11.8%となっています。

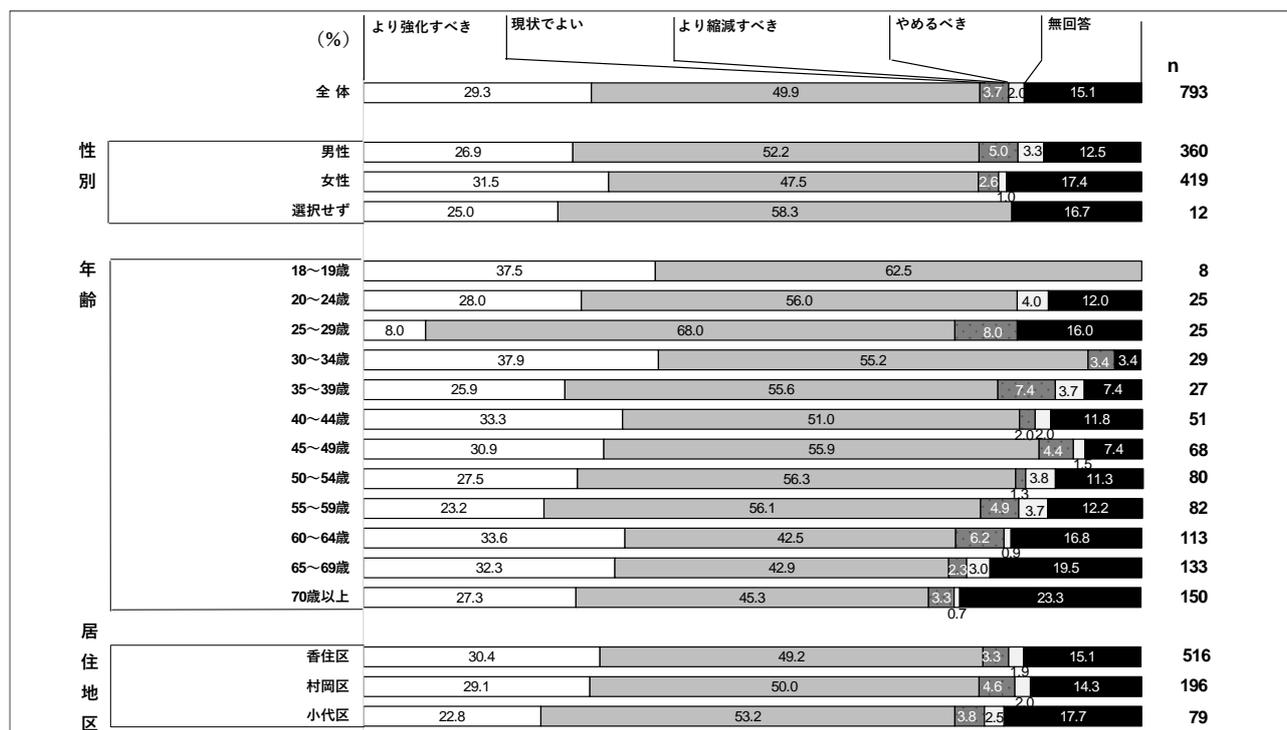
図 16-3 「文化を育み創るまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 29.3%、「現状でよい」が 49.9%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 26.9%、女性で 31.5%となっており、「現状でよい」は男性で 52.2%、女性で 47.5%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「30～34 歳」で 37.9%と最も高く、次いで「18～19 歳」で 37.5%となっています。また、「25～29 歳」では「より縮減すべき」が 8.0%と、他の年齢に比べて低くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 30.4%と最も高く、次いで村岡区で 29.1%、小代区で 22.8%となっています。

図 16-4 「文化を育み創るまちの推進」の注力度



基本方針Ⅱ 若者がいきいきと働くまち

問 17 「地域を担う産業人を育むまちの推進」について

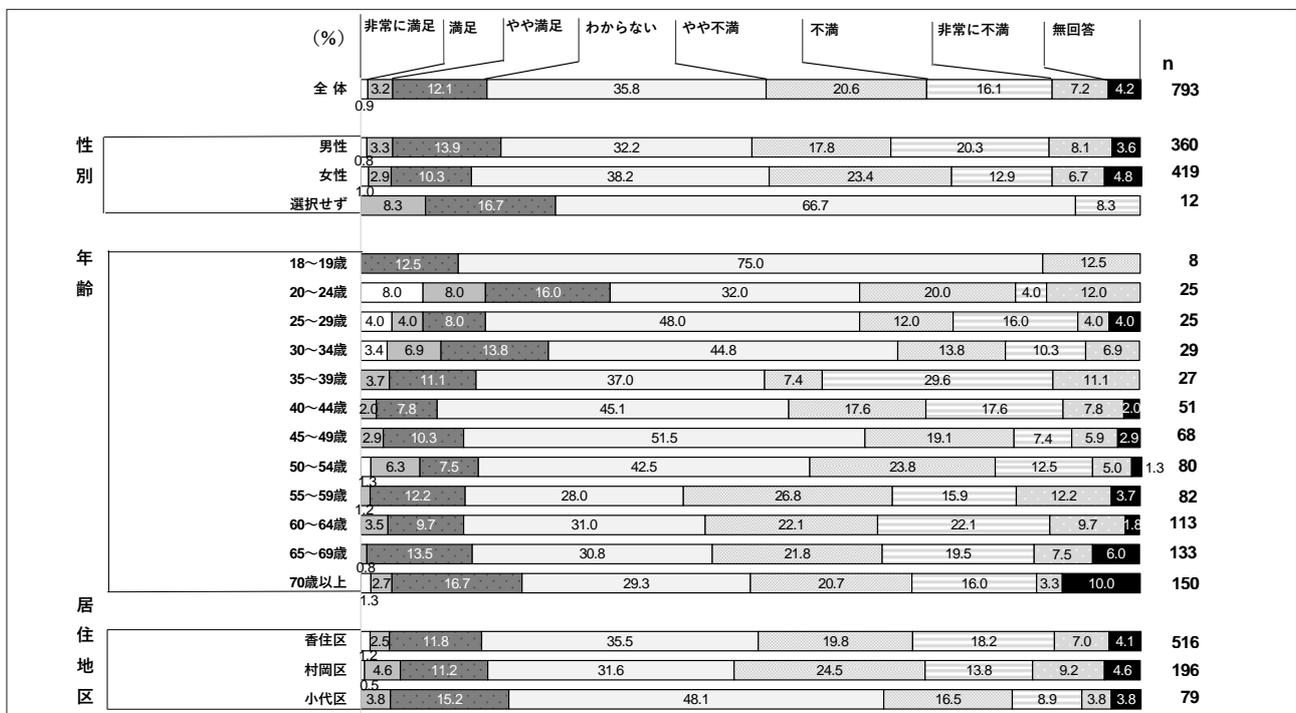
施策内容

産業の担い手としてのスキルを身に付ける取組に加え、そのまま町内で就業したいと思えるシステムづくりや、持続的な商品づくりのための取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が16.2%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の43.9%を27.7ポイント下回っており、「わからない」が35.8%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が18.0%、女性が14.2%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が46.2%、女性が43.0%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「20～24歳」が32.0%で最も高く、「30～34歳」が24.1%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「55～59歳」が54.9%と半数を超え、最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が19.0%で最も高く、村岡区が16.3%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が47.5%で最も高くなっています。

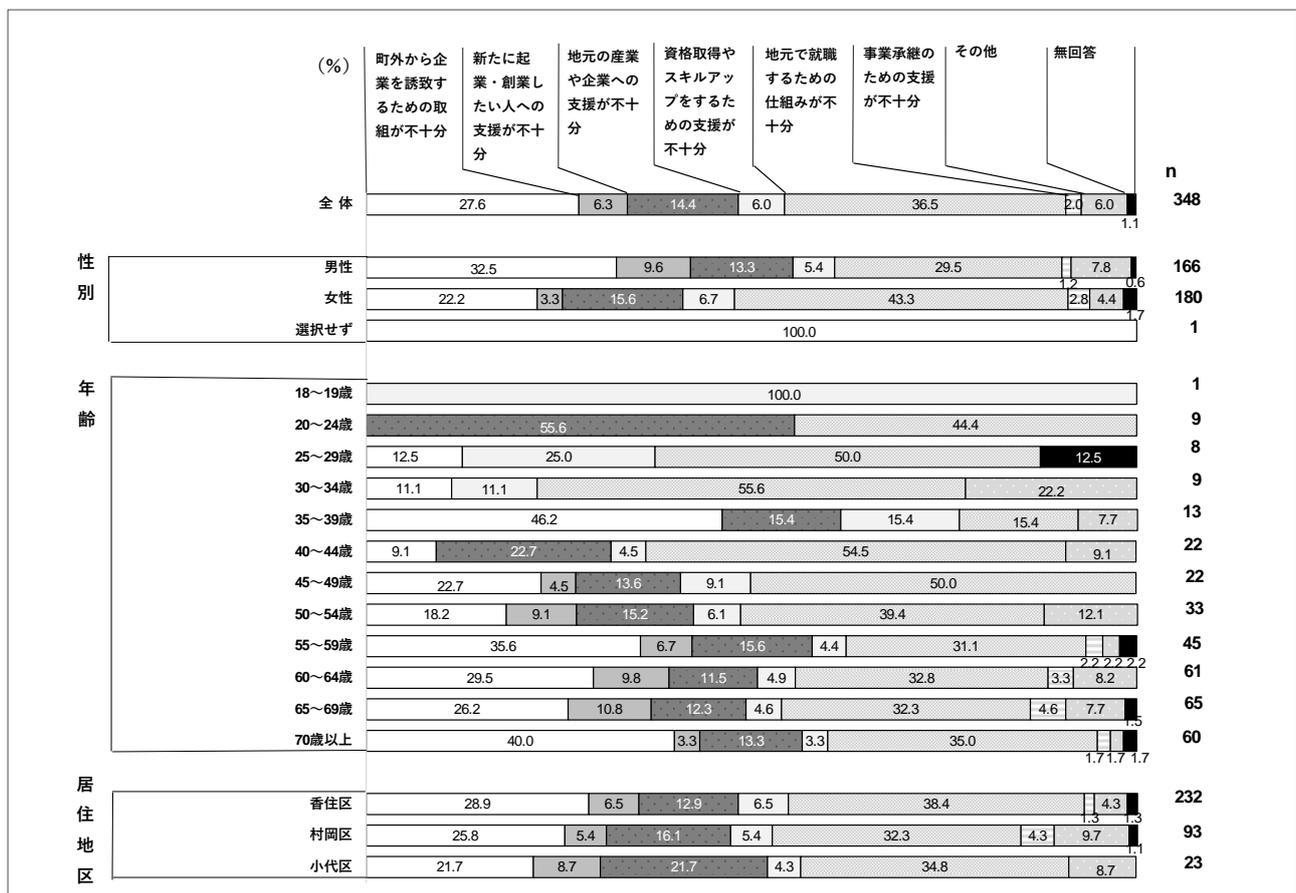
図 17-1 「地域を担う産業人を育むまちの推進」の満足度



不満理由

- 「地域を担う産業人を育むまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「地元で就職するための仕組みが不十分」が 36.5%で最も高く、次いで「町外から企業を誘致するための取組が不十分」の 27.6%となっています。
- 男女別で見ると、男性では、「町外から企業を誘致するための取組が不十分」が 32.5%と最も高く、次いで「地元で就職するための仕組みが不十分」が 29.5%となっています。女性では、「地元で就職するための仕組みが不十分」が 43.3%と最も高く、次いで「町外から企業を誘致するための取組」が 22.2%となっています。
- 年齢別にみると「20～24 歳」で「地元の産業や企業への支援が不十分」、「30～34 歳」で「地元で就職するための仕組みが不十分」がそれぞれ 55.6%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区で「地元で就職するための仕組みが不十分」がそれぞれ 3 割を超えて最も高くなっています。また、村岡区では「事業承継のための支援が不十分」が 4.3%と、他の区と比べて高くなっています。

図 17-2 「地域を担う産業人を育むまちの推進」の不満理由



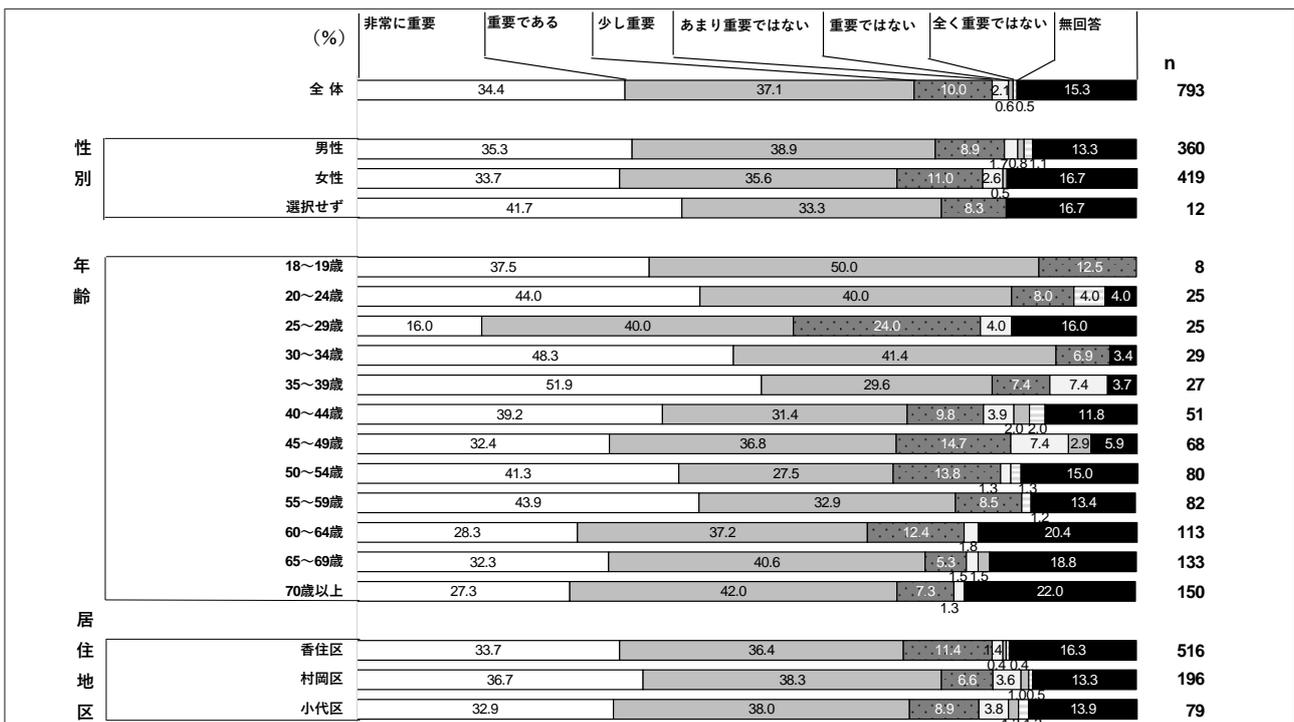
【その他】

ブラックのもとになっているだけ／危機感がない／人口減少対策が不足／高卒で地元就職が増えるよう、就職直後からの専門的な学びができるようにする支援があればと思います。香美町から出て進学するとなると、良い事のように言われすぎではないかと思っています。／まず子供が増える事と地場産業が全然ないことが不満／全然知らなかった／日本の錆びれた町、豊かな国に学ぶ／町営住宅の改善／それぞれの地域の強みを知っていないのではないか？それをつかんで次に進む。方向がわかっていないのでは？／この施策について具合的に何をしているのか、何を／オンラインでの仕事の環境が出来ていない 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が81.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が3.2%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では83.1%、女性では80.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では3.6%、女性では3.1%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で96.6%、「20～24歳」で92.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「45～49歳」で10.3%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約8割となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で6.4%と最も高く、次いで村岡区で5.1%、香住区で2.2%となっています。

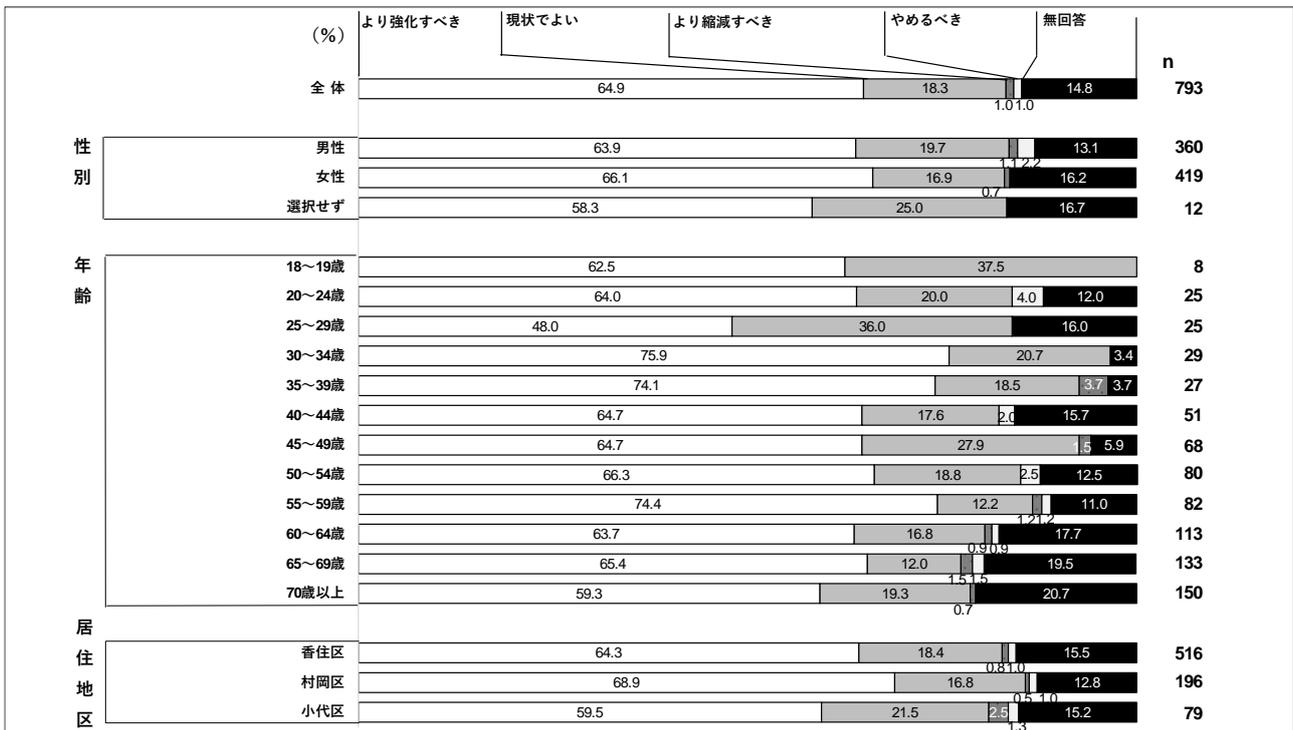
図 17-3 「地域を担う産業人を育むまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 64.9%、「現状でよい」が 18.3%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 63.9%、女性で 66.1%となっており、「現状でよい」は男性で 19.7%、女性で 16.9%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「30～34 歳」で 75.9%と最も高く、次いで「55～59 歳」で 74.4%となっています。また、「18～19 歳」では「現状でよい」が 37.5%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 68.9%と最も高く、次いで香住区で 64.3%、小代区で 59.5%となっています。

図 17-4 「地域を担う産業人を育むまちの推進」の注力度



問 18 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」について

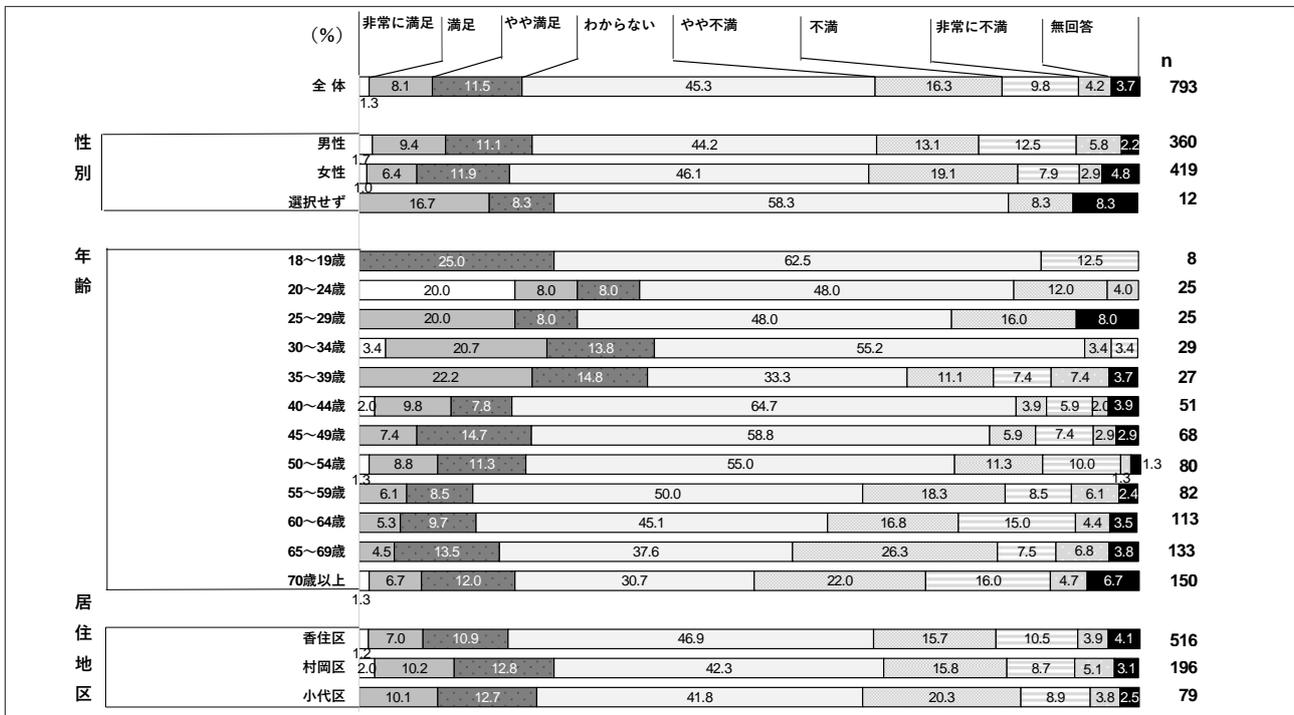
施策内容

豊かな自然を生かし、農林業を振興することで、次代を生かせるまちをつくっています。そのため、生産性向上のための整備や特産品等の振興、森林を守りつつ活用する取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 20.9%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 30.3%を 9.4 ポイント下回っており、「わからない」が 45.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 22.2%、女性が 19.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 31.4%、女性が 29.9%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 37.9%で最も高く、「35～39 歳」が 37.0%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「70 歳以上」が 42.7%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は村岡区が 25.0%で最も高く、小代区が 22.8%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は小代区が 33.0%で最も高くなっています。

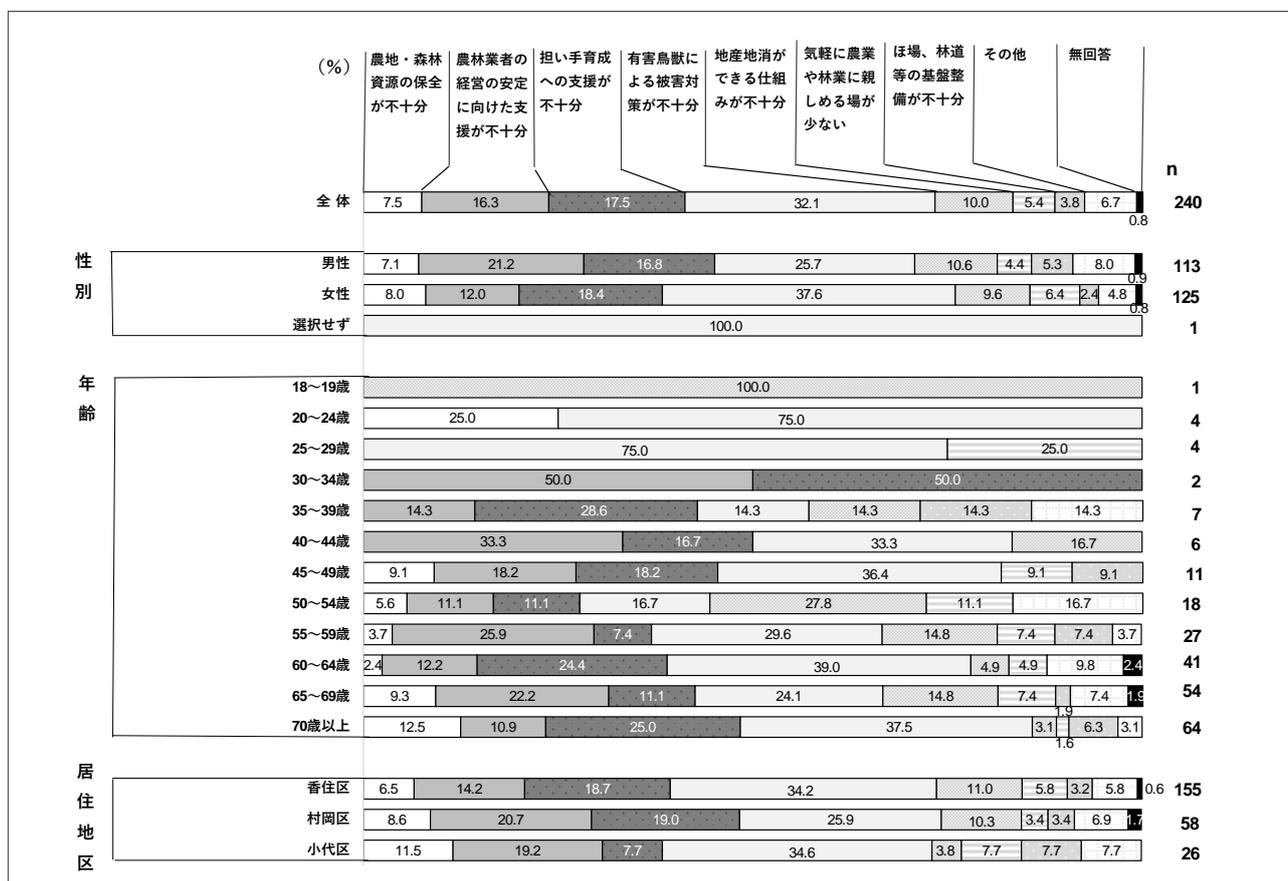
図 18- 1 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」の満足度



不満理由

- 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「有害鳥獣による被害対策が不十分」が32.1%で最も高く、次いで「担い手育成への支援が不十分」の17.5%となっています。
- 男女別でみると、男性では、「有害鳥獣による被害対策が不十分」が25.7%と最も高く、次いで「農林業者の経営の安定に向けた支援が不十分」が21.2%となっています。女性では、「有害鳥獣による被害対策が不十分」が37.6%と最も高く、次いで「担い手育成への支援が不十分」が18.4%となっています。
- 年齢別にみると、「20～24歳」では「農地・森林資源の保全が不十分」が25.0%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても「鳥獣による被害対策が不十分」が3割前後と最も高くなっています。また、小代区では「ほ場、林道等の基盤整備が不十分」が7.7%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 18-2 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」の不満理由



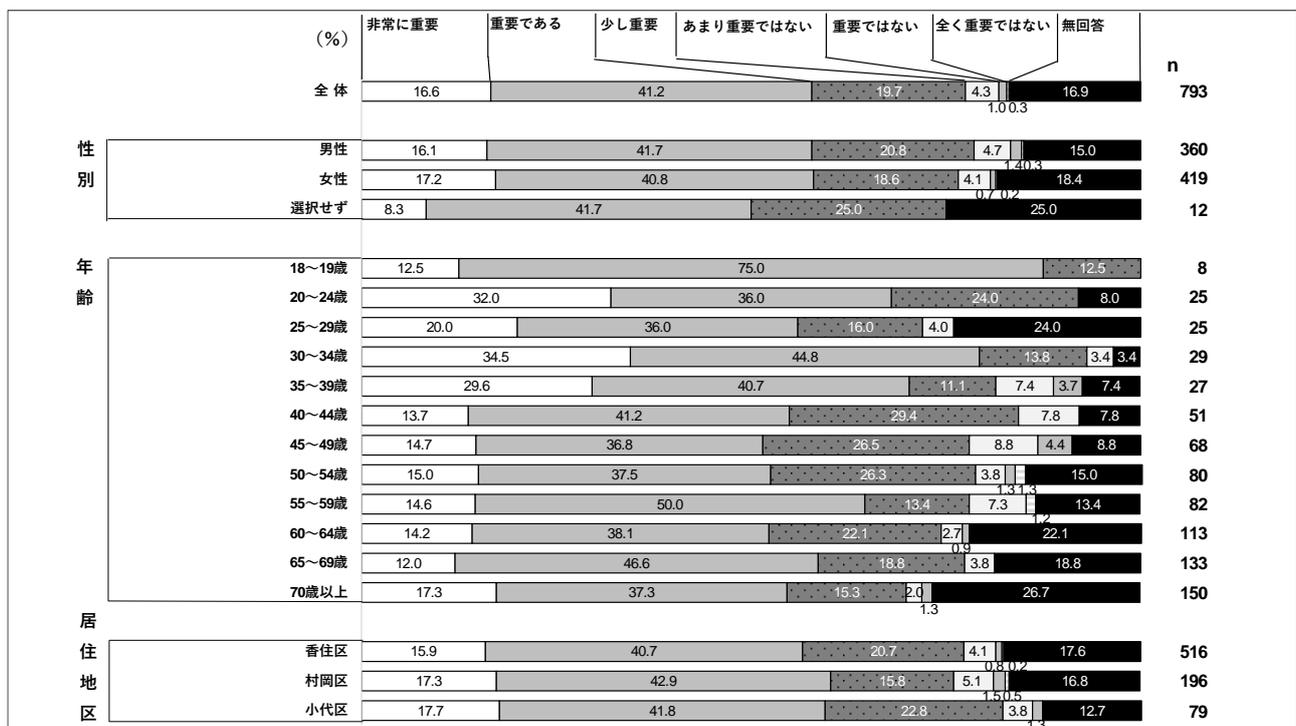
【その他】

害獣がふえすぎて農業への機運がそがれる／遊休農地の有効利用／分野ごとにやる気のある人材がどれだけいるか／ジイバアだけの町で誰がするのか／役場の農林課又は環境課の方々、机に向かっておらず、偵察しつつ動きなさい。／日本全体の問題、町だけでは無理かも。／この施策について、具体的に何をしているのか、何

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が77.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が5.6%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では78.6%、女性では76.6%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では6.4%、女性では5.0%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で93.1%、「20～24歳」で92.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「45～49歳」で13.2%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約8割となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区で7.1%と最も高く、次いで香住区、小代区でそれぞれ5.1%となっています。

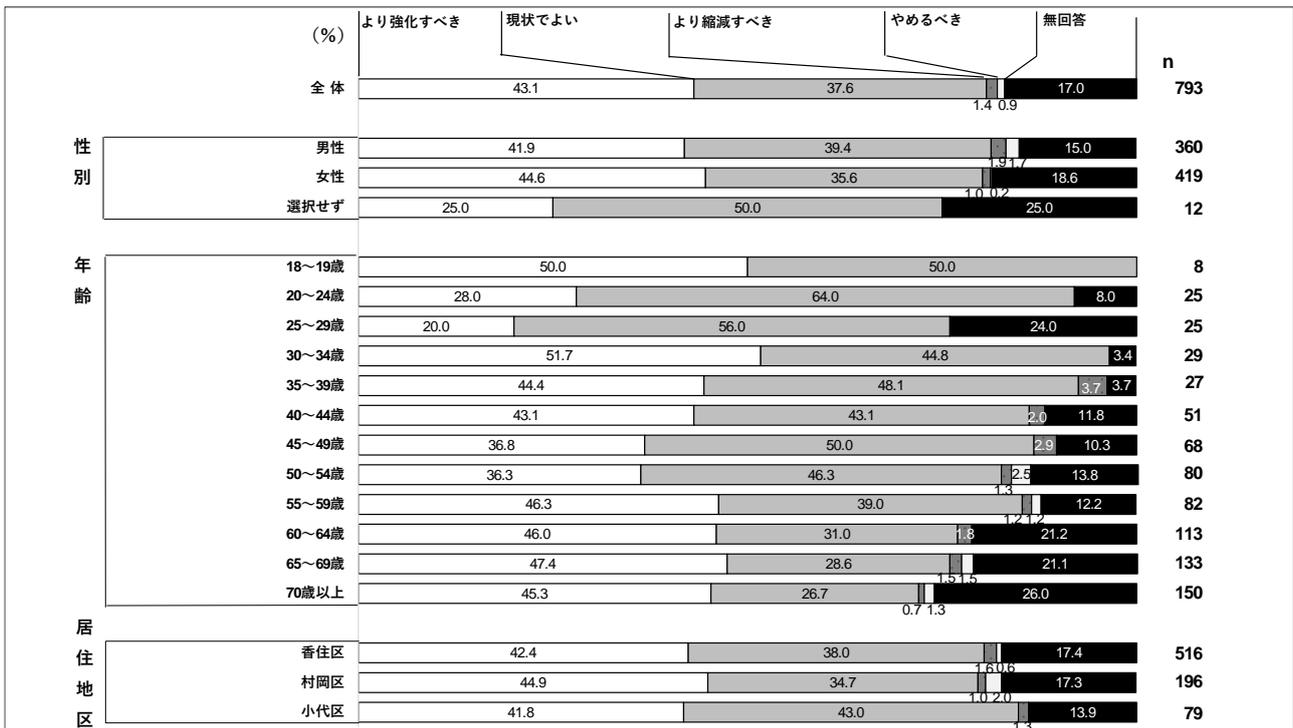
図 18-3 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 43.1%、「現状でよい」が 37.6%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 41.9%、女性で 44.6%となっており、「現状でよい」は男性で 39.4%、女性で 35.6%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「30～34 歳」で 51.7%と最も高く、次いで「18～19 歳」で 50.0%となっています。また、「20～24 歳」では「現状でよい」が 64.0%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 44.9%と最も高く、次いで香住区で 42.4%、小代区で 41.8%となっています。

図 18-4 「次代を生かす農林業を振興するまちの推進」の注力度



問 19 「水産業を振興するまちの推進」について

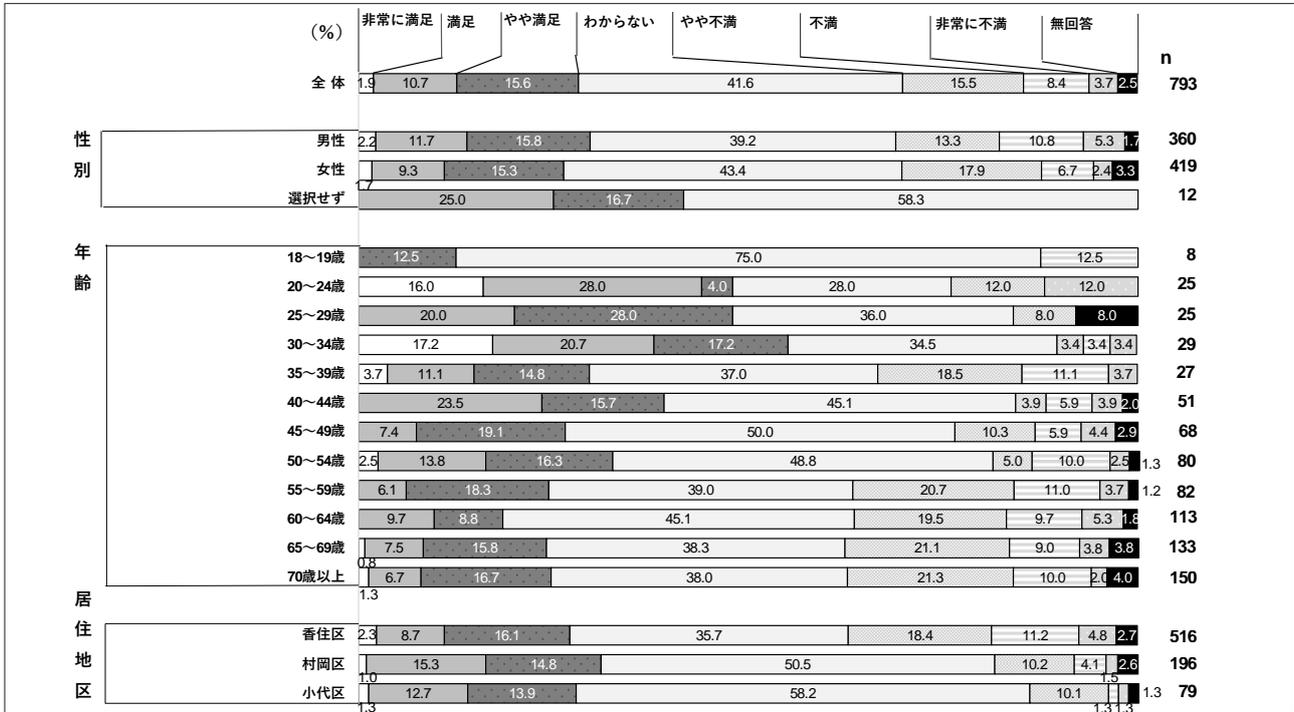
施策内容

住民にとって魅力的で誇りとなる「香美町水産業」を創出し、活気あふれるまちをつくっています。また、ブランドの確立に加え、魚食普及を進めることで、育成から消費までのサイクルを構築しています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 28.2%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 27.6%を 0.6 ポイント上回っており、「わからない」が 41.6%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 29.7%、女性が 26.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 29.4%、女性が 27.0%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 55.1%で最も高く、「20～24 歳」、「25～29 歳」がそれぞれ 48.0%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「55～59 歳」が 35.4%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は村岡区が 31.1%で最も高く、小代区が 27.9%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が 34.4%で、他の区に比べて高くなっています。

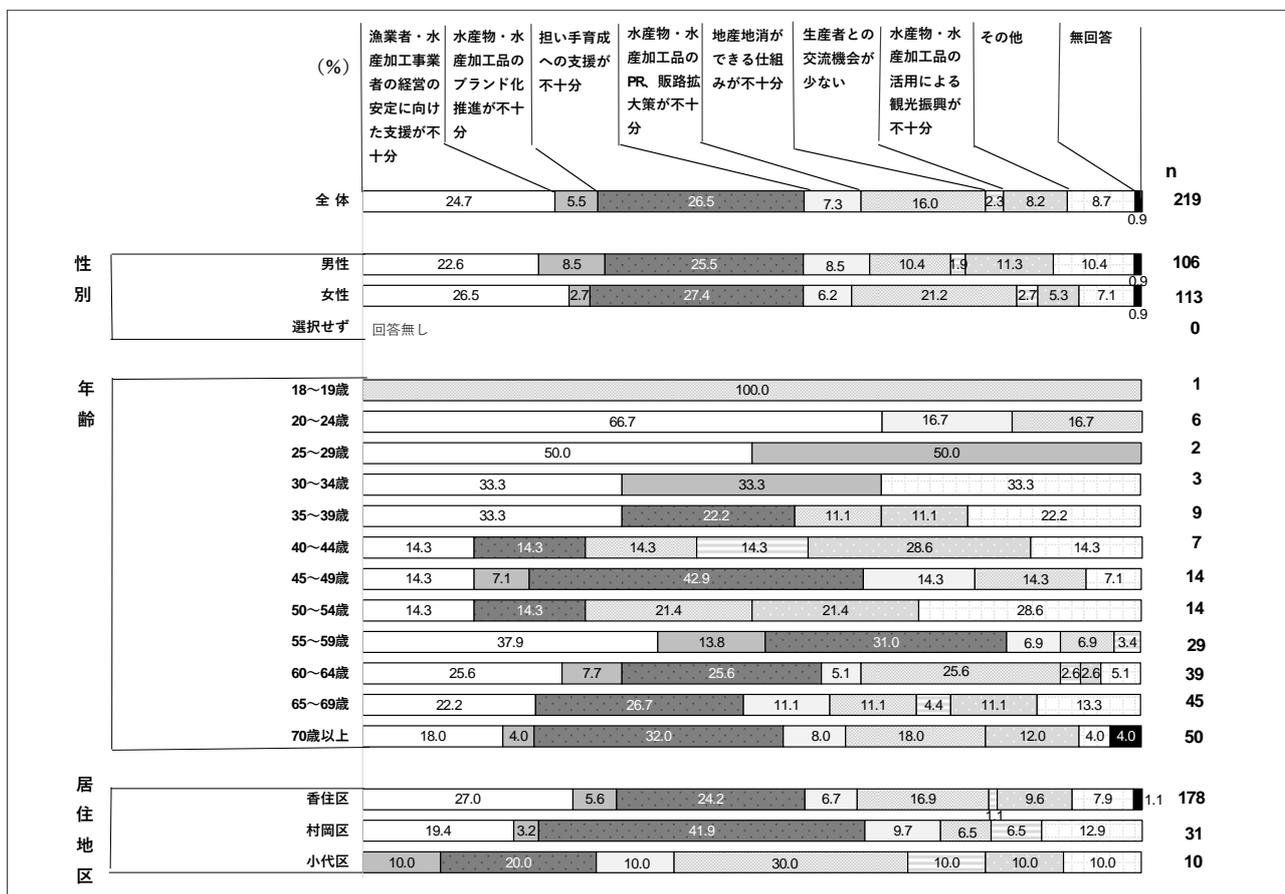
図 19- 1 「水産業を振興するまちの推進」の満足度



不満理由

- 「水産業を振興するまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「担い手育成への支援が不十分」が26.5%で最も高く、次いで「漁業者・水産加工事業者の経営の安定に向けた支援が不十分」の24.7%となっています。
- 男女別で見ると、「担い手育成への支援が不十分」が男性で25.5%、女性で27.4%と最も高く、次いで、「漁業者・水産加工事業者の経営の安定に向けた支援が不十分」が男性で22.6%、女性で26.5%となっています。また、女性では「地産地消ができる仕組みが不十分」が21.2%と、男性に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、「45～49歳」では「担い手育成への支援が不十分」が42.9%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区では「漁業者・水産加工事業者の経営の安定に向けた支援が不十分」が27.0%と最も高くなっており、村岡区では「担い手育成への支援が不十分」が41.9%と最も高く、小代区では「地産地消ができる仕組みが不十分」が30.0%と最も高くなっています。

図 19-2 「水産業を振興するまちの推進」の不満理由



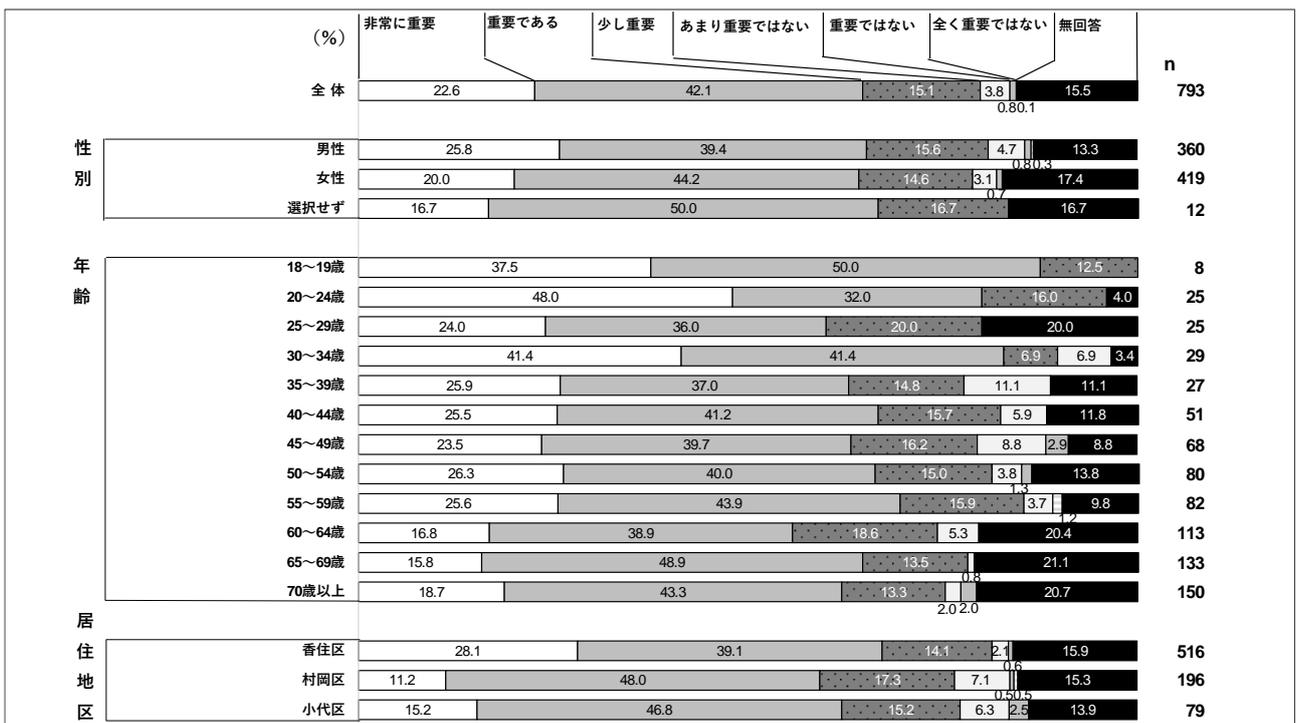
【その他】

地物産は高く購入する事があまりないです。観光優先の考えだとそうなるでしょうね。／大型設備投資の補助、未来を担う企業への投資／水産物の流通が不十分／香美町は観光の町で松葉ガニでやっているのに現場の漁船が毎年やめてるのに早く手を打たないと漁業従事者がいなくなる／町民の様々なデータを生かせるのか／新鮮な魚を手入れにくい／地元の方々が安く新鮮な魚等が買い求める場所と企画を作って下さい。〔FOOD GARDEN〕の企画去れる様に、口コミで拡散します。が、有線とかでご案内を伝えたりとか。目の届く場所に看板を置く等をされると人が集まると存じます。／普及は結果であるべき 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が79.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が4.7%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では80.8%、女性では78.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では5.8%、女性では3.8%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「20～24歳」で96.0%、「30～34歳」で89.7%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「45～49歳」で11.7%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約8割となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で8.8%と最も高く、次いで村岡区で8.1%、香住区で2.7%となっています。

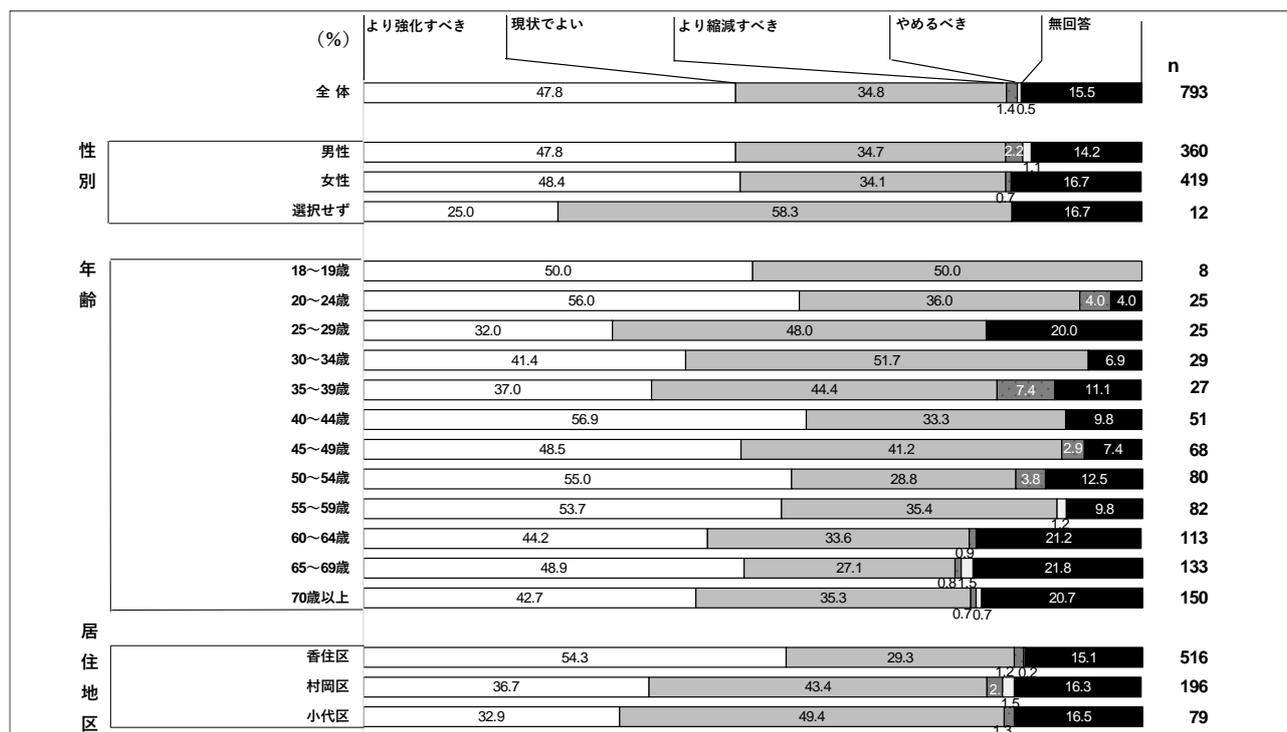
図 19-3 「水産業を振興するまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 47.8%、「現状でよい」が 34.8%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 47.8%、女性で 48.4%となっており、「現状でよい」は男性で 34.7%、女性で 34.1%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「40～44 歳」で 56.9%と最も高く、次いで「20～24 歳」で 56.0%となっています。また、「35～39 歳」では「より縮減すべき」が 7.4%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 54.3%と半数を超えて最も高く、次いで村岡区で 36.7%、小代区で 32.9%となっています。

図 19-4 「水産業を振興するまちの推進」の注力度



問 20 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」について

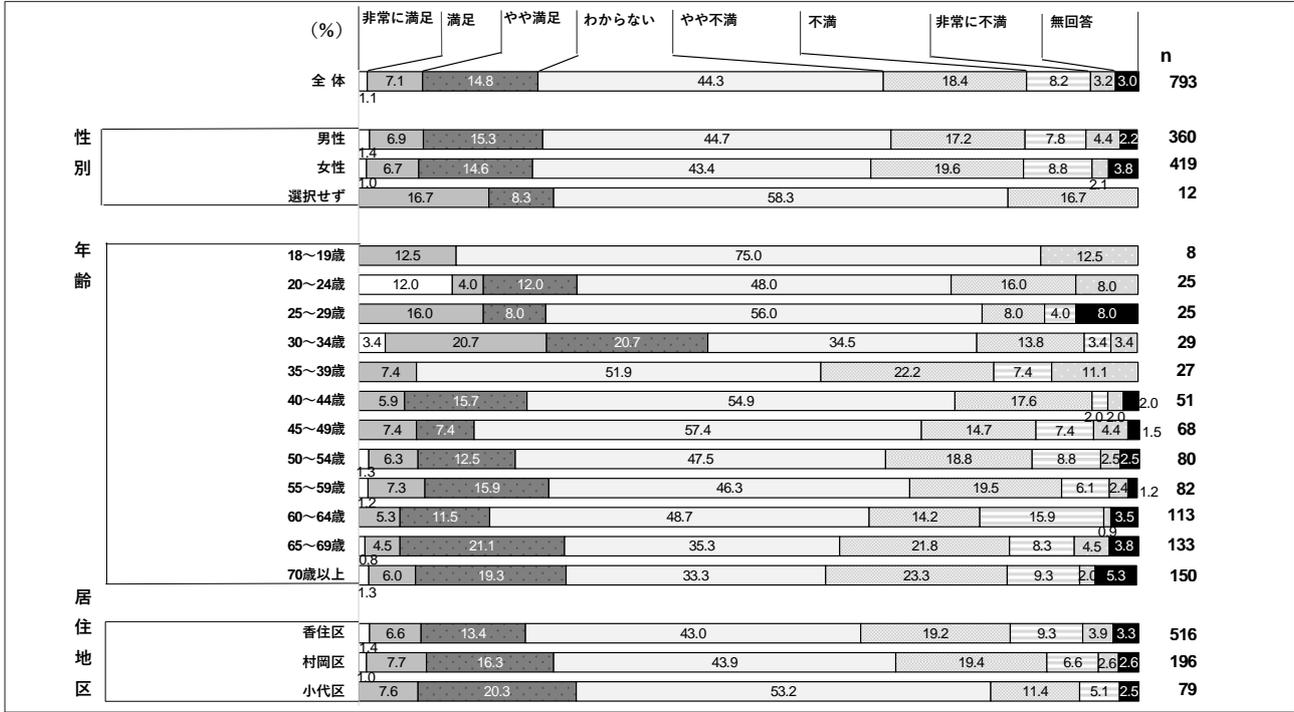
施策内容

地域資源を活用したものづくりに関するセミナーの開催や、観光業、商工業の振興等、本町がさらににぎわう取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 23.0%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 29.8%を 6.8 ポイント下回っており、「わからない」が 44.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 23.6%、女性が 22.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 29.4%、女性が 30.5%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 44.8%で最も高く、次いで、「20～24 歳」が 28.0%、「70 歳以上」が 26.6%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 40.7%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が 27.9%で最も高く、村岡区が 25.0%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が 32.4%で最も高くなっています。

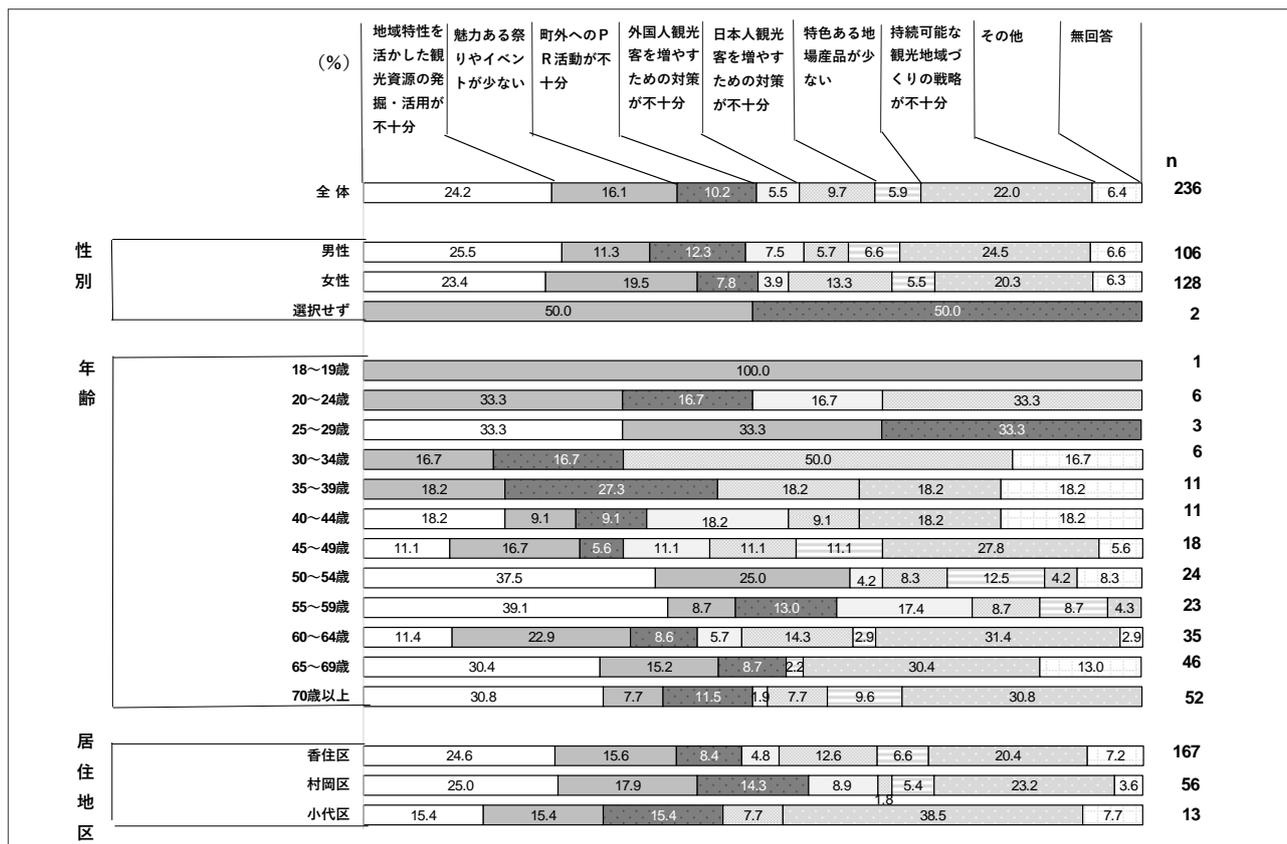
図 20- 1 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」の満足度



不満理由

- 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分」が24.2%で最も高く、次いで「持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分」の22.0%となっています。
- 男女別で見ると、「地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分」が男性で25.5%、女性で23.4%と最も高く、次いで、「持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分」が男性で24.5%、女性で20.3%となっています。
- 年齢別にみると、「日本人観光客を増やすための対策が不十分」が「30～34歳」で50.0%と最も高く、「地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分」が「55～59歳」で39.1%と最も高く、次いで、「50～54歳」で37.5%、「25～29歳」で33.3%となっています。また、「60～64歳」、「65～69歳」、「70歳以上」では、「持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分」が3割を超えています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区では「地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分」がそれぞれ24.6%、25.0%で最も高くなっており、小代区では「持続可能な観光地域づくりの戦略が不十分」が38.5%と最も高くなっていきます。

図 20-2 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」の不満理由



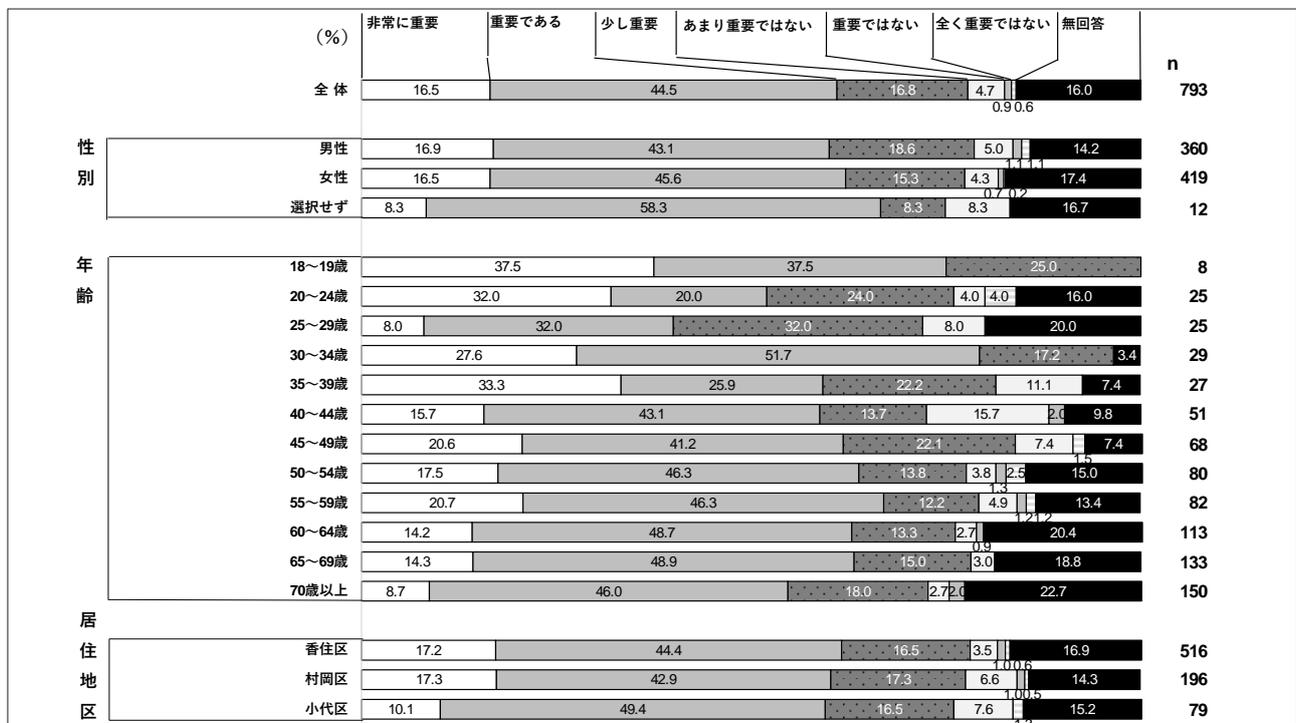
【その他】

やる気が見えない、未来が見えない／1～7 全てが不十分／観光する場所がない／道路状況や商店など混みすぎて不便になる／香住区にかたよりにすぎ／ものづくりより人づくりを！／香美町のものづくりと聞いて、あまりイメージできない／町内在住者の考えや発見をもっと聞きだしたらどうか？議員さんは知っておられないと思う。他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が 77.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が 6.2%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では 78.6%、女性では 77.4%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では 7.2%、女性では 5.2%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19 歳」で 100.0%と最も高く、次いで、「30～34 歳」で 96.5%、「45～49 歳」で 83.9%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「40～44 歳」で 17.7%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約 8 割となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で 8.9%と最も高く、次いで村岡区で 8.1%、香住区で 5.1%となっています。

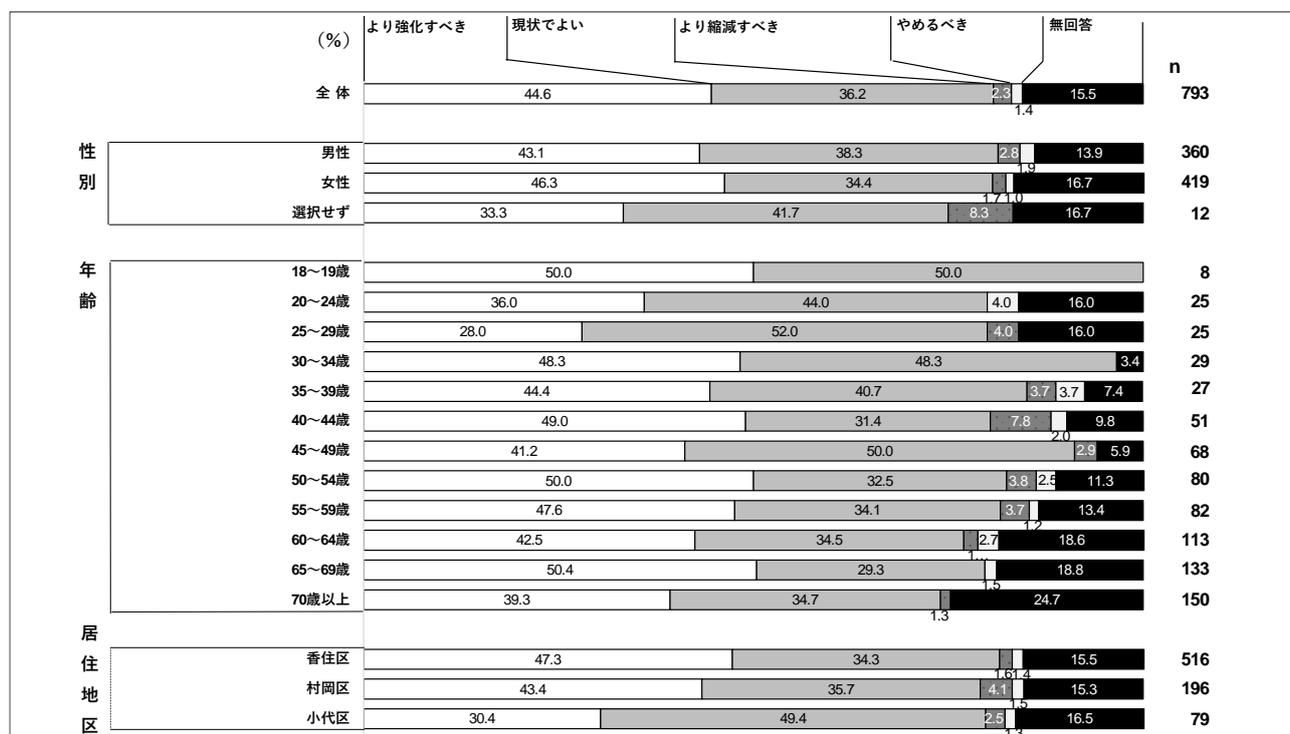
図 20-3 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 44.6%、「現状でよい」が 36.2%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 43.1%、女性で 46.3%となっており、「現状でよい」は男性で 38.3%、女性で 34.4%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「65～69 歳」で 50.4%と最も高く、次いで「18～19 歳」、「50～54 歳」でそれぞれ 50.0%となっています。また、「40～44 歳」では「より縮減すべき」が 7.8%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 47.3%と最も高く、次いで村岡区で 43.4%、小代区で 30.4%となっています。また、「より縮減すべき」が村岡区で 4.1%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 20-4 「地域資源を活かし人と経済の循環を生みだすまちの推進」の注力度



基本方針Ⅲ みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち

問 21 「健やかに暮らせるまちの推進」について

施策内容

定期的な健康づくりの推進や医療体制の整備、感染症予防のための新しい生活様式の普及定着に向けた取組、食育の振興等によって、健康寿命が長く、いきいきと暮らせるまちをつくっています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 39.6%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 32.1%を 7.5 ポイント上回っており、「わからない」が 25.1%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 40.0%、女性が 39.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 31.4%、女性が 33.2%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34 歳」が 65.5%で最も高く、次いで、「18～19 歳」が 62.5%、「20～24 歳」が 56.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「55～59 歳」が 41.4%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が 53.2%で最も高く、村岡区が 40.8%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が 34.1%で最も高くなっています。

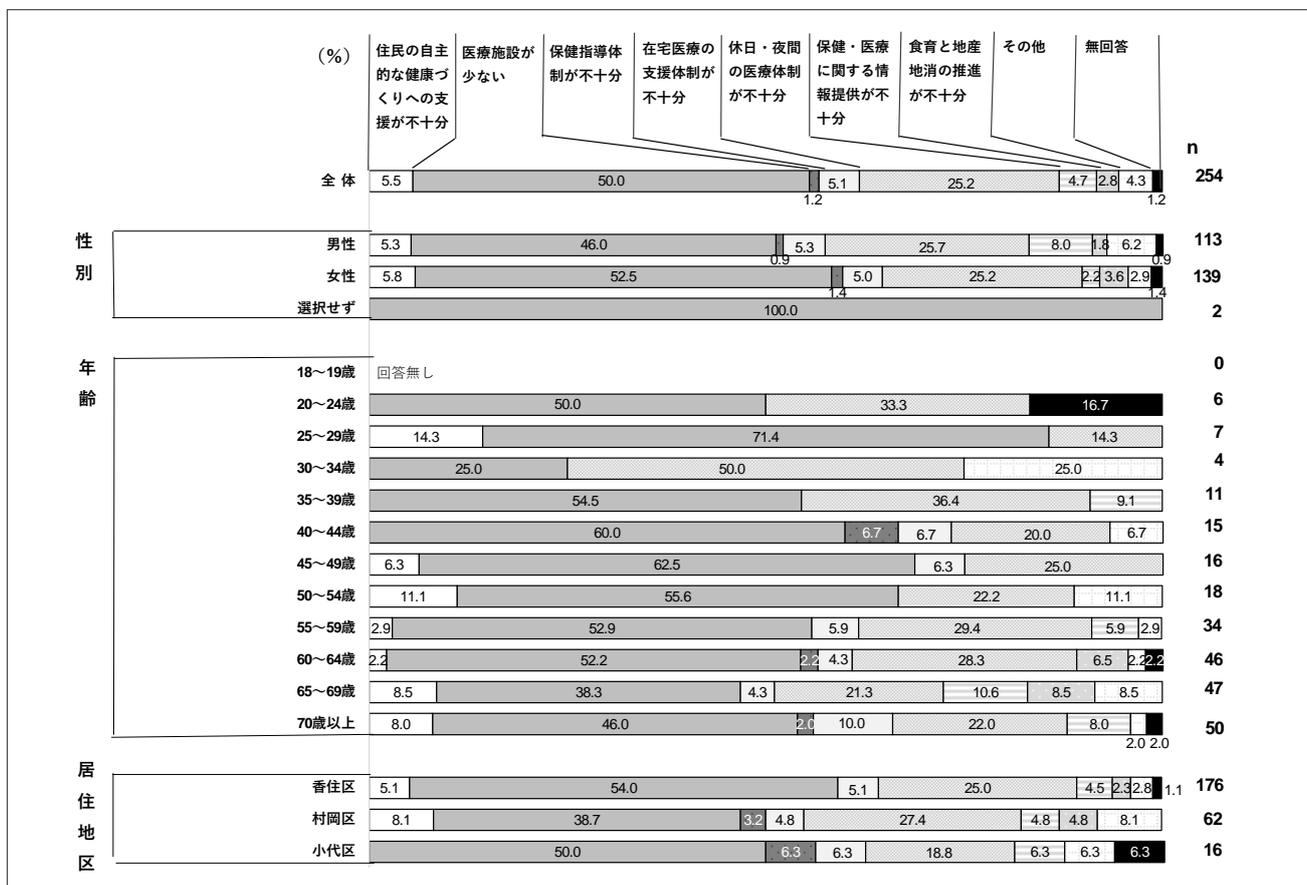
図 21-1 「健やかに暮らせるまちの推進」の満足度

		満足度 (%)							n		
		非常に満足	満足	やや満足	わからない	やや不満	不満	非常に不満		無回答	
全体		2.5	15.3	21.8	25.1	15.8	11.6	4.7	3.3	793	
性別	男性	2.5	14.4	23.1	25.8	13.9	11.9	5.6	2.8	360	
	女性	2.6	15.5	21.2	23.6	17.9	11.5	3.8	3.8	419	
	選択せず		16.7	8.3		58.3		8.3	8.3	12	
年齢	18～19歳		37.5		25.0		37.5			8	
	20～24歳	12.0		20.0	24.0		20.0	16.0	8.0	25	
	25～29歳	8.0	12.0		44.0		8.0	20.0	8.0	25	
	30～34歳	6.9		37.9	20.7		17.2	13.8	3.4	29	
	35～39歳		29.6	3.7	22.2		18.5	11.1	3.7	27	
	40～44歳	9.8		19.6		39.2		11.8	9.8	7.8	51
	45～49歳	2.9	16.2	17.6		38.2		16.2	4.4	2.9	1.5 68
	50～54歳	6.3	12.5	22.5		32.5		8.8	8.8	5.0	3.8 80
	55～59歳	7.3		24.4	25.6		20.7	12.2	8.5		1.2 82
	60～64歳	10.6		17.7	26.5		14.2	21.2	5.3	3.5	113
居住地区	香住区	2.3	13.0	21.5	25.0	16.1	12.8	5.2	4.1	516	
	村岡区	2.6	17.3	20.9	25.5	16.3	11.2	4.1	2.0	196	
	小代区	3.8	22.8	26.6	25.3	12.7	5.1	2.5	1.3	79	

不満理由

- 「健やかに暮らせるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「医療施設が少ない」が50.0%で最も高く、次いで「休日・夜間の医療体制が不十分」の25.2%となっています。
- 男女別で見ると、「医療施設が少ない」が男性で46.0%、女性で52.5%と最も高く、次いで、「休日・夜間の医療体制が不十分」が男性で25.7%、女性で25.2%となっています。
- 年齢別にみると、「医療施設が少ない」が「25～29歳」で71.4%と最も高く、次いで、「45～49歳」で62.5%、「50～54歳」で55.6%となっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区で「医療施設が少ない」がそれぞれ54.0%、38.7%、50.0%と最も高く、次いで「休日・夜間の医療体制が不十分」が25.0%、27.4%、18.8%となっています。

図 21-2 「健やかに暮らせるまちの推進」の不満理由



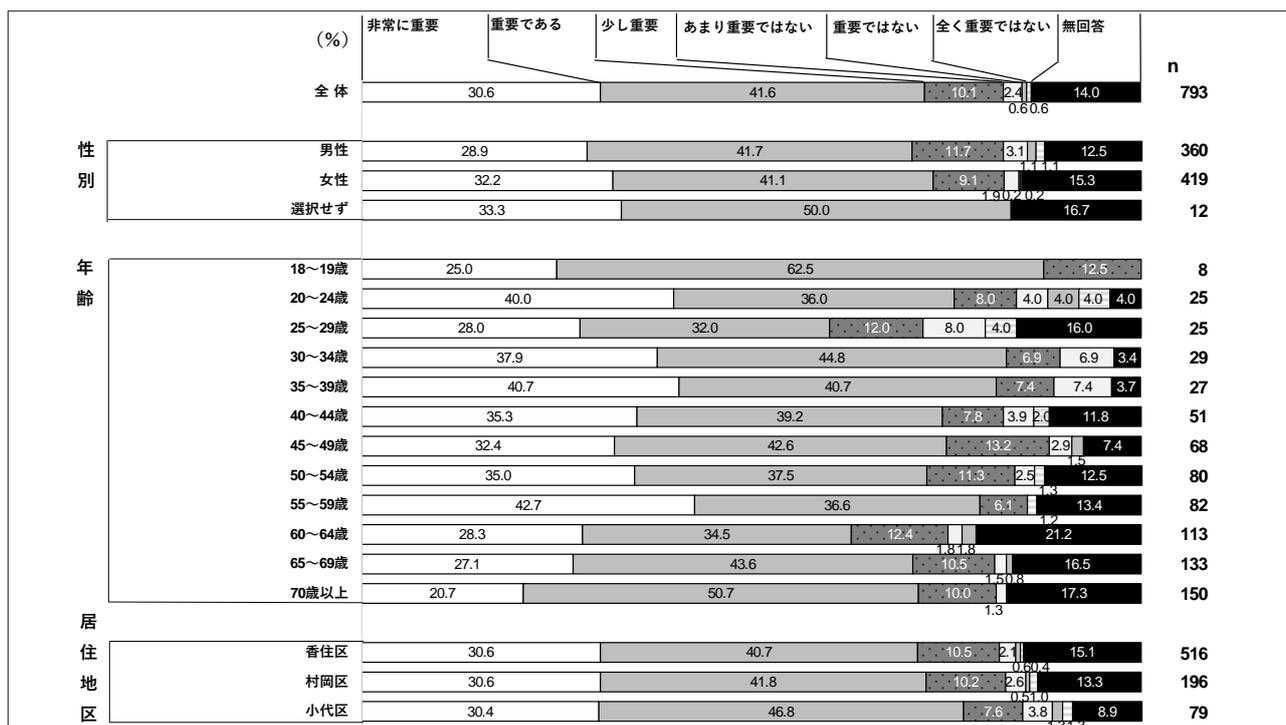
【その他】

医療費を減らすため予防に力を入れるべき／時給自足で健康は保てるのか／7 コメント：町内のスーパーが限られており新鮮な野菜等買うことが不可能なので、「山手線辺り」のスーパーを業務用スーパーを設置して貰いたい。8 コメント：夜間、地元病院が不可能であれば豊岡救急病院へ行き、4千円近く支払うので、システムを替えて貰いたい。／4 コメント：今後、村岡 HPDr 退職されると、在宅医療体制が確保されなくなる／4 コメント：これがどの程度できているか、希望者がどれくらいおられるのか、分かりませんが…／たよれる医師がいない／この施策について何をしているのか、何を予定／専門的な医療機関がない／行きたい病院の科がない、高齢者だけで待ち時間

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が 82.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が 3.6%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では 82.3%、女性では 82.4%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では 5.3%、女性では 2.3%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19 歳」で 100.0%と最も高く、次いで、「30～34 歳」で 89.6%、「35～39 歳」で 88.8%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「20～24 歳」、「25～29 歳」でそれぞれ 12.0%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても 8 割を超えています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で 6.4%と最も高く、次いで村岡区で 4.1%、香住区で 3.1%となっています。

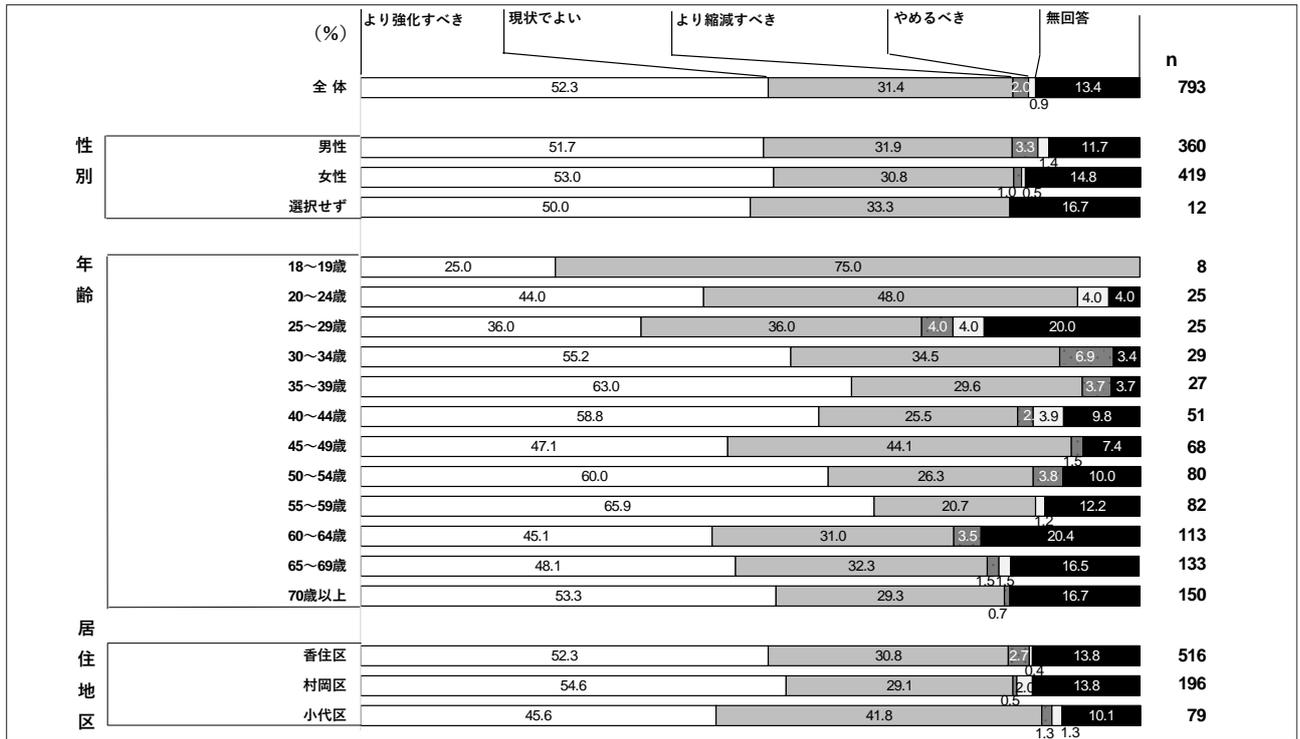
図 21-3 「健やかに暮らせるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 52.3%、「現状でよい」が 31.4%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 51.7%、女性で 53.0%となっており、「現状でよい」は男性で 31.9%、女性で 30.8%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「55～59 歳」で 65.9%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 63.0%となっています。また、「30～34 歳」では「より縮減すべき」が 6.9%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 54.6%と最も高く、次いで香住区で 52.3%、小代区で 45.6%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で 2.7%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 21-4 「健やかに暮らせるまちの推進」の注力度



問 22 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」について

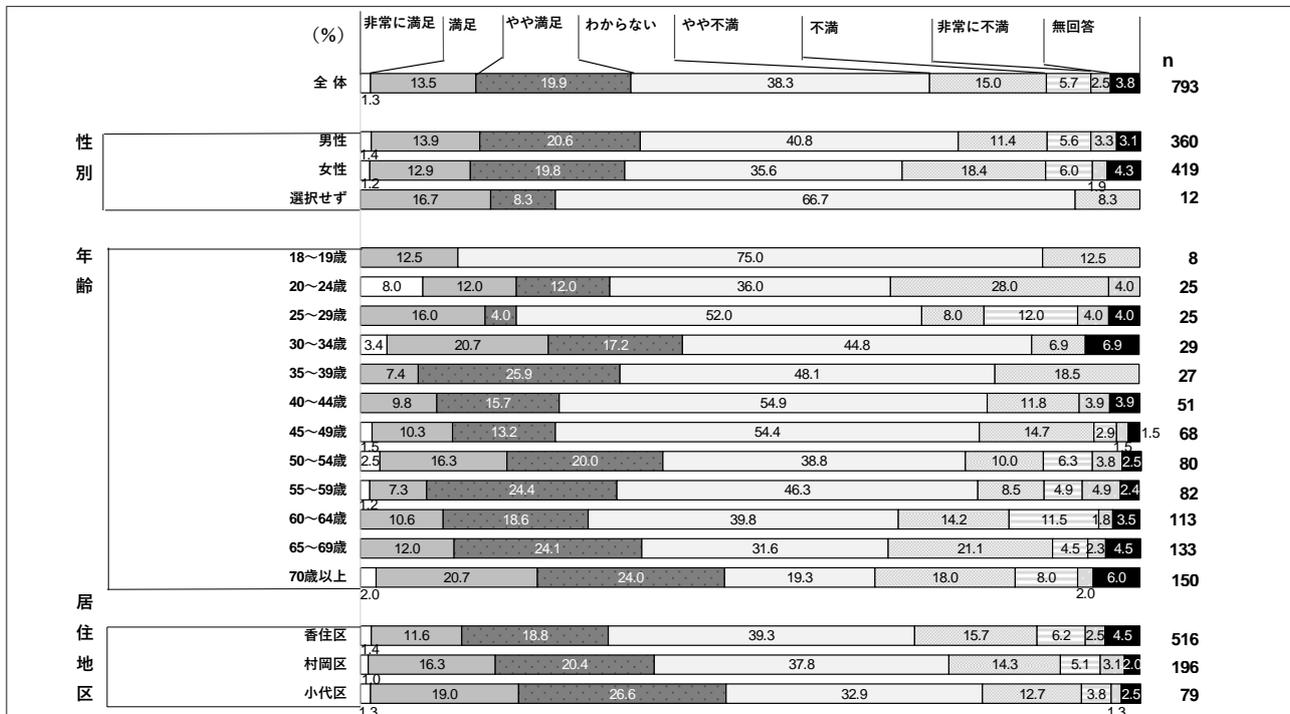
施策内容

地域福祉推進のため、社会福祉協議会や関係機関等とのパートナーシップ関係の構築や、住民自らが他の住民が抱える地域生活課題に関する相談に応じることができるような体制の整備に取り組みつつ、高齢者・障害者福祉充実にに向けた生活支援施策の充実や、人材確保に努めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 34.7%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 23.2%を 11.5 ポイント上回っており、「わからない」が 38.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 35.9%、女性が 33.9%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 20.3%、女性が 26.3%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「70 歳以上」が 46.7%で最も高く、次いで、「30～34 歳」が 41.3%、「50～54 歳」が 38.8%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「20～24 歳」が 32.0%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が 46.9%で最も高く、村岡区が 37.7%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が 24.4%で最も高くなっています。

図 22- 1 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」の満足度



不満理由

- 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「高齢者や障害者が自立した生活を送るための支援が不十分」が37.0%で最も高く、次いで「高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提供が不十分」の17.9%となっています。
- 男女別で見ると、「高齢者や障害者が自立した生活を送るための支援が不十分」が男性で39.7%、女性で35.5%と最も高く、次いで、「高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提供が不十分」が男性で13.7%、女性で20.0%となっています。また、男性では「高齢者・障害者福祉や介護に関する相談体制が不十分」が同じく13.7%となっています。
- 年齢別にみると、「社会参加を促すための取組が不十分」が「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で50.0%、「20～24歳」で25.0%となっています。また、「35～39歳」では、「地域での支え合い・助け合いが不十分」が20.0%と、他の年齢と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区で「高齢者や障害者が自立した生活を送るための支援が不十分」がそれぞれ34.1%、45.5%、35.7%と最も高くなっています。また、小代区では「高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提供が不十分」が42.9%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 22-2 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」の不満理由

		(%)	高齢者・障害者福祉や介護に関する情報提供が不十分	高齢者・障害者福祉や介護に関する相談体制が不十分	高齢者や障害者が自立した生活を送るための支援が不十分	社会参加を促すための取組が不十分	地域での支え合い・助け合いが不十分	ボランティア活動者に対する支援が不十分	その他	無回答	n	
	全体		17.9	14.7	37.0	6.5	10.3	6.0	6.0	1.6	184	
性別	男性		13.7	13.7	39.7	6.8	12.3	2.7	8.2	2.7	73	
	女性		20.0	15.5	35.5	6.4	9.1	8.2	4.5	0.9	110	
	選択せず		100.0									1
年齢	18～19歳		100.0									1
	20～24歳		12.5		50.0		25.0		12.5		8	
	25～29歳		16.7		50.0		16.7		16.7		6	
	30～34歳		50.0				50.0					2
	35～39歳		40.0			40.0			20.0			5
	40～44歳		12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5			8	
	45～49歳		30.8		7.7	38.5		7.7	7.7	7.7	13	
	50～54歳		18.8	6.3	37.5	6.3	6.3	25.0			16	
	55～59歳		20.0	13.3	60.0				6.7		15	
	60～64歳		16.1	22.6	25.8	6.5	12.9	6.5	6.5	3.2	31	
65～69歳		21.6	18.9	29.7	2.7	10.8	10.8	5.4		37		
70歳以上		16.7	11.9	40.5	7.1	16.7	2.4	2.4	2.4	42		
居住地区	香住区		19.8	15.1	34.1	7.1	10.3	5.6	5.6	2.4	126	
	村岡区		4.5	15.9	45.5	4.5	13.6	6.8	9.1		44	
	小代区		42.9		7.1	35.7		7.1	7.1		14	

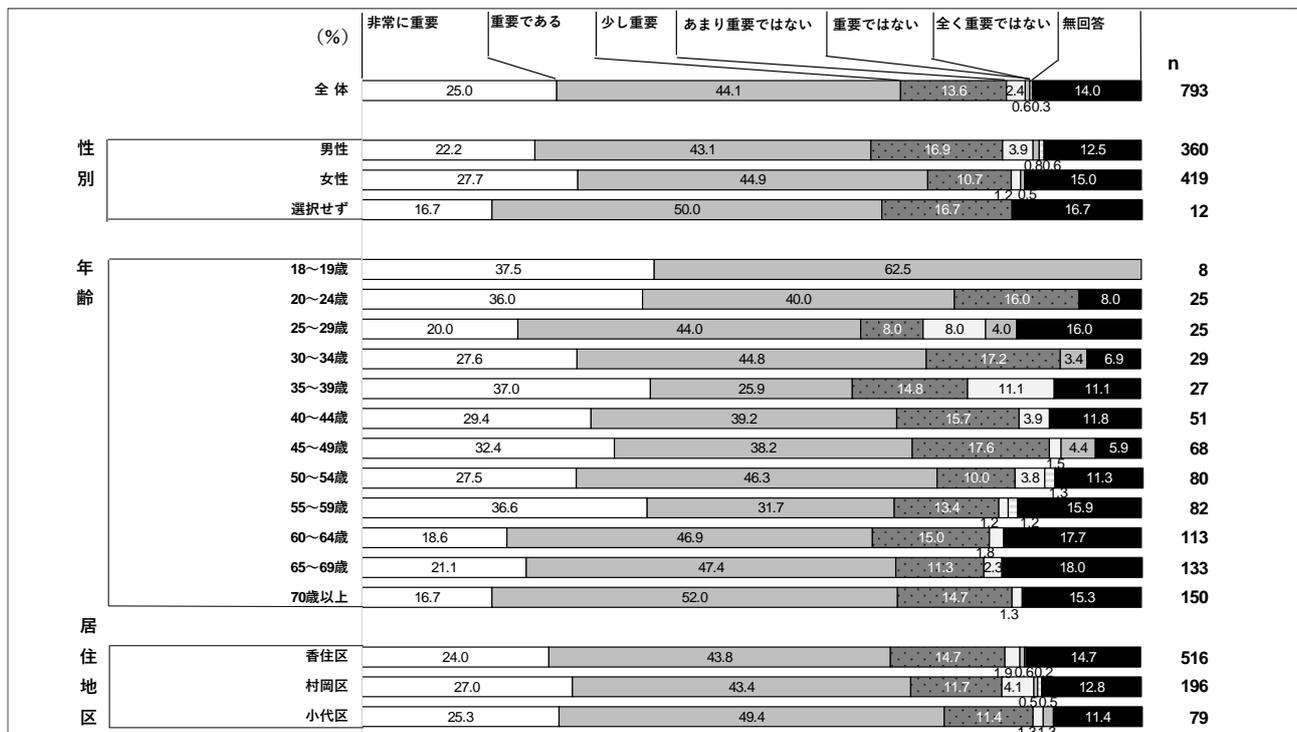
【その他】

老人ホーム等の高齢者施設が少ない／不公平をなくし皆が安心して暮らせる町を！！／認知が認められる方や家族の援助が乏しい方、一見して支援が必要と分からない方が今後急速に増えるのではないのでしょうか。ボランティアを全町民に膨らませていくくらいの計画はあった方がよいかなと思います。／介護職員の不足／老人にお金をつかうな～年をとるのはふつう／6 コメント：ボランティア活動者に対する「支給」すべきだ／良質な人材の確保が来ていますか？／福祉の人材不足、確保が不十分／この施策について具体的に何をしているのか、何を

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が82.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が3.3%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では82.2%、女性では83.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では5.3%、女性では1.7%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「20～24歳」で92.0%、「30～34歳」で89.6%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「25～29歳」で12.0%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても8割を超えています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区で5.1%と最も高く、次いで香住区で2.7%、小代区で2.6%となっています。

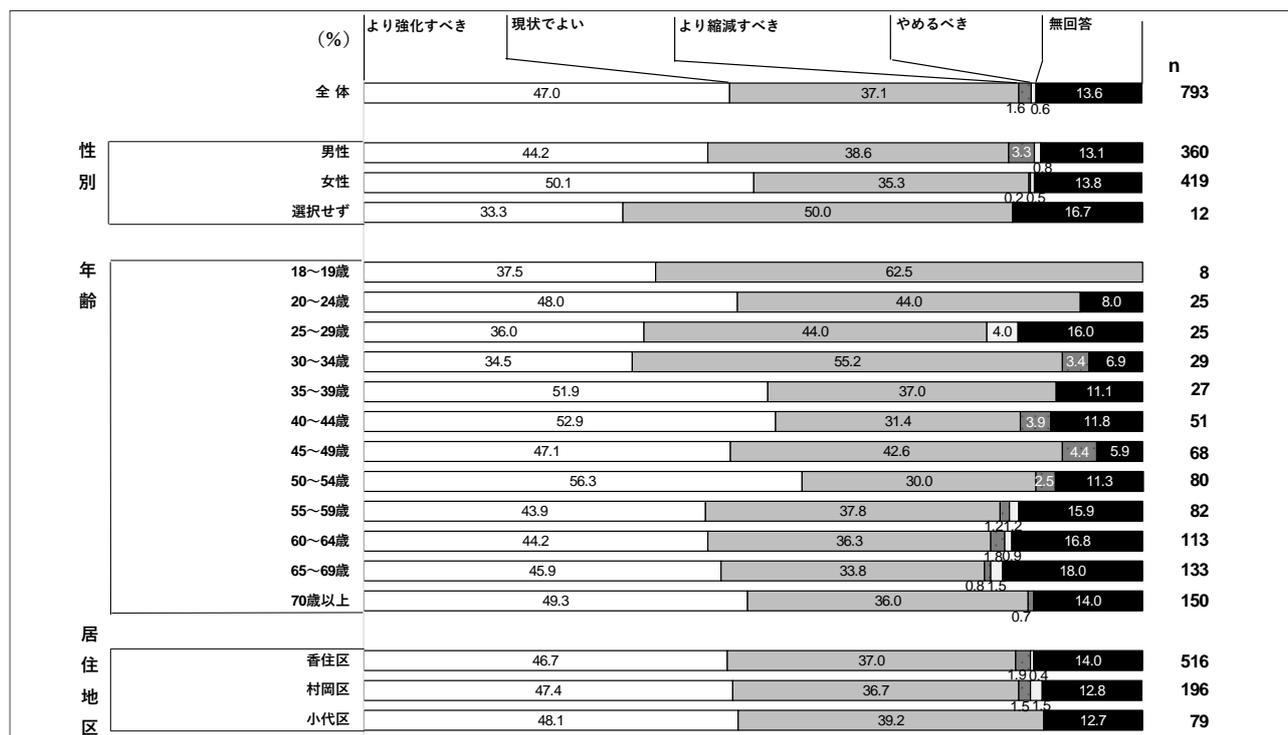
図 22-3 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 47.0%、「現状でよい」が 37.1%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 44.2%、女性で 50.1%となっており、「現状でよい」は男性で 38.6%、女性で 35.3%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「50～54 歳」で 56.3%と最も高く、次いで「40～44 歳」で 52.9%となっています。また、「25～29 歳」では「やめるべき」が 4.0%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が小代区で 48.1%と最も高く、次いで村岡区で 47.4%、小代区で 46.7%となっています。また、「やめるべき」が村岡区で 1.5%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 22-4 「みんなで支えあい幸せに暮らせるまちの推進」の注力度



問 23 「安全安心に暮らせるまちの推進」について

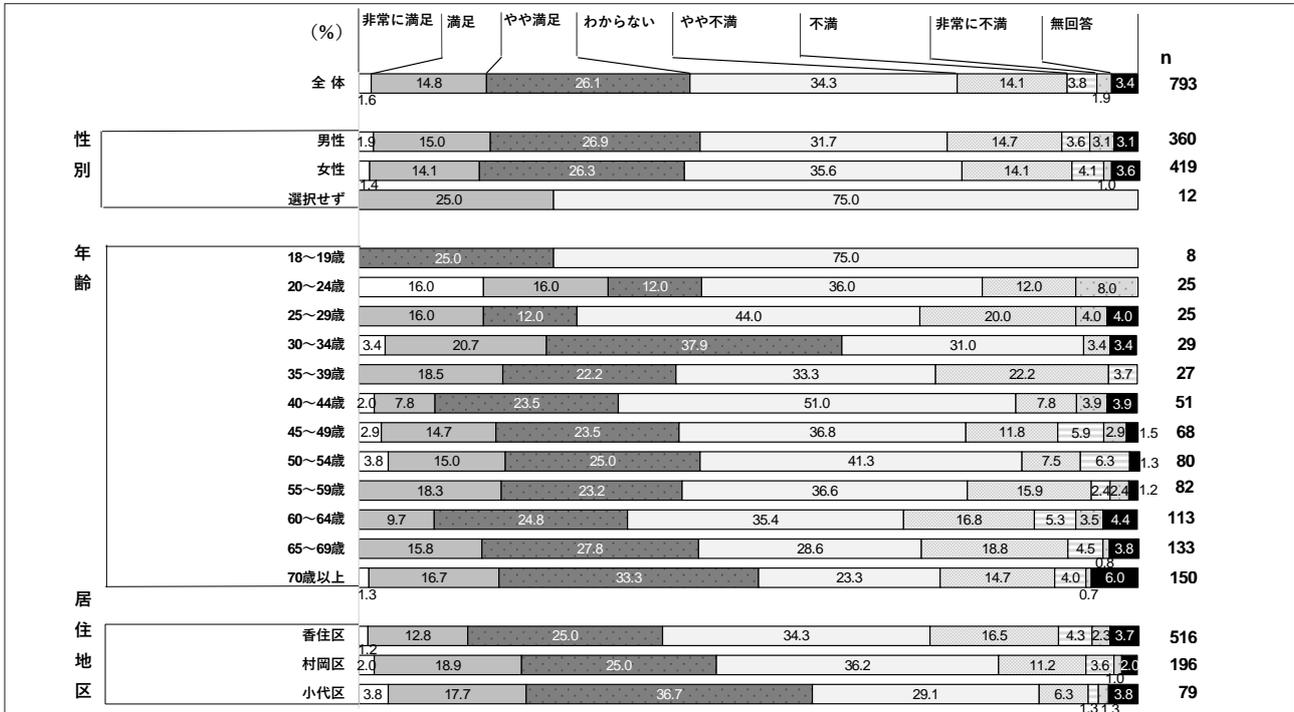
施策内容

事件・事故のない生活を守るために、関係機関や各団体等と連携しながら、防犯対策や交通安全対策等の取組を進めています。相談体制の強化や広報・啓発運動の促進を図ることで、安心して生活できるまちをつくっています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が42.5%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の19.8%を22.7ポイント上回っており、「わからない」が34.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が43.8%、女性が41.8%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が21.4%、女性が19.2%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が62.0%で最も高く、次いで、「70歳以上」が51.3%、「20～24歳」が44.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39歳」が25.9%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が58.2%で最も高く、村岡区が45.9%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が23.1%で最も高くなっています。

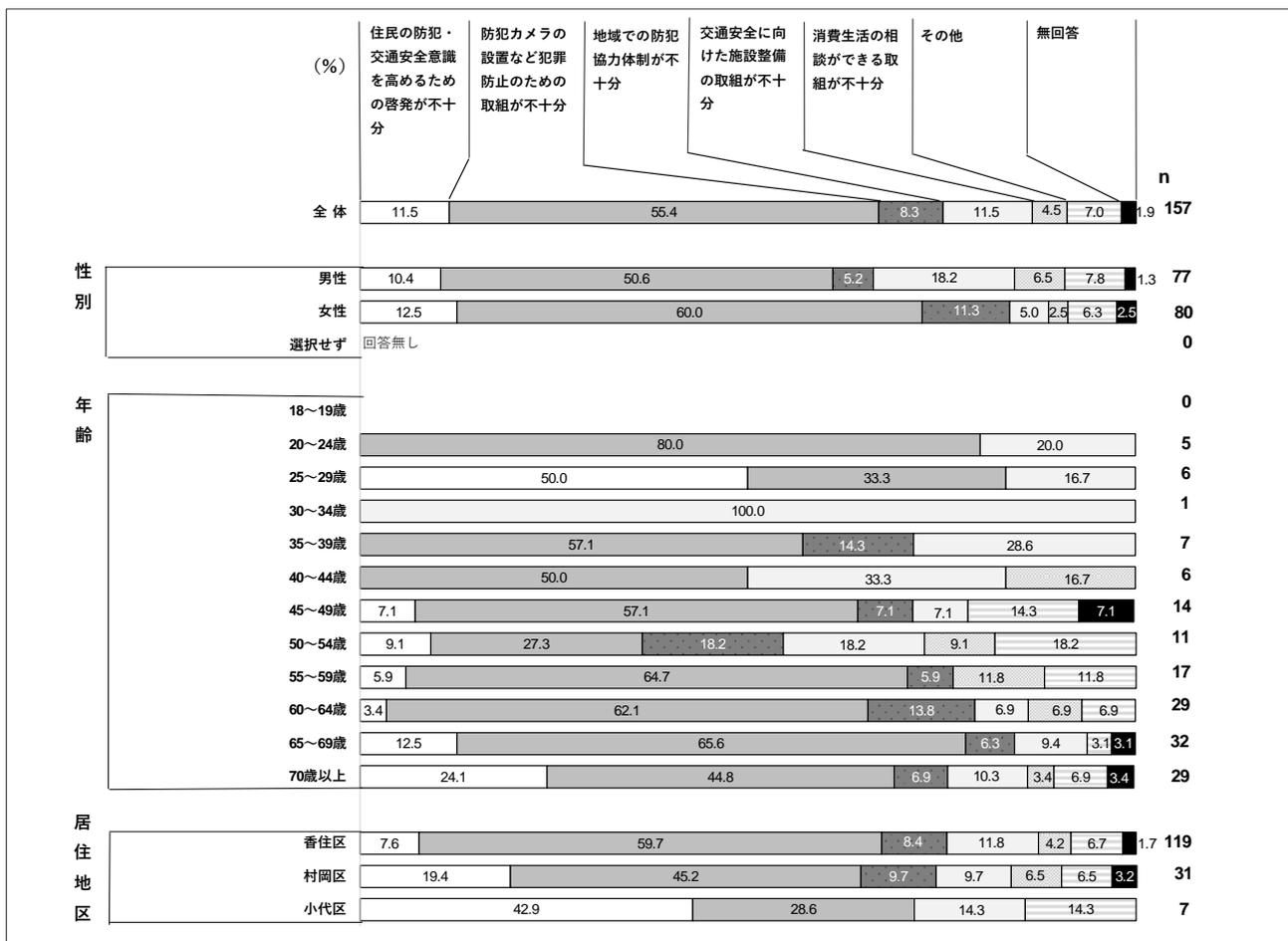
図 23-1 「安全安心に暮らせるまちの推進」の満足度



不満理由

- 「安全安心に暮らせるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が55.4%で最も高く、次いで「住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓発が不十分」、「交通安全に向けた施設整備の取組が不十分」がそれぞれ11.5%となっています。
- 男女別で見ると、「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が男性で50.6%、女性で60.0%と最も高く、男性では「交通安全に向けた施設整備の取組が不十分」が18.2%、女性では「住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓発が不十分」が12.5%でこれに次いでいます。
- 年齢別にみると、「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が「20～24歳」で80.0%と最も高く、次いで、「65～69歳」で65.6%、「55～59歳」で64.7%となっています。また、「40～44歳」では、「消費生活の相談ができる取組が不十分」が16.7%と、他の年齢と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区では「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」がそれぞれ59.7%、45.2%、小代区では「住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓発が不十分」が42.9%と最も高くなっています。また、小代区では「交通安全に向けた施設整備の取組が不十分」が14.3%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 23-2 「安全安心に暮らせるまちの推進」の不満理由



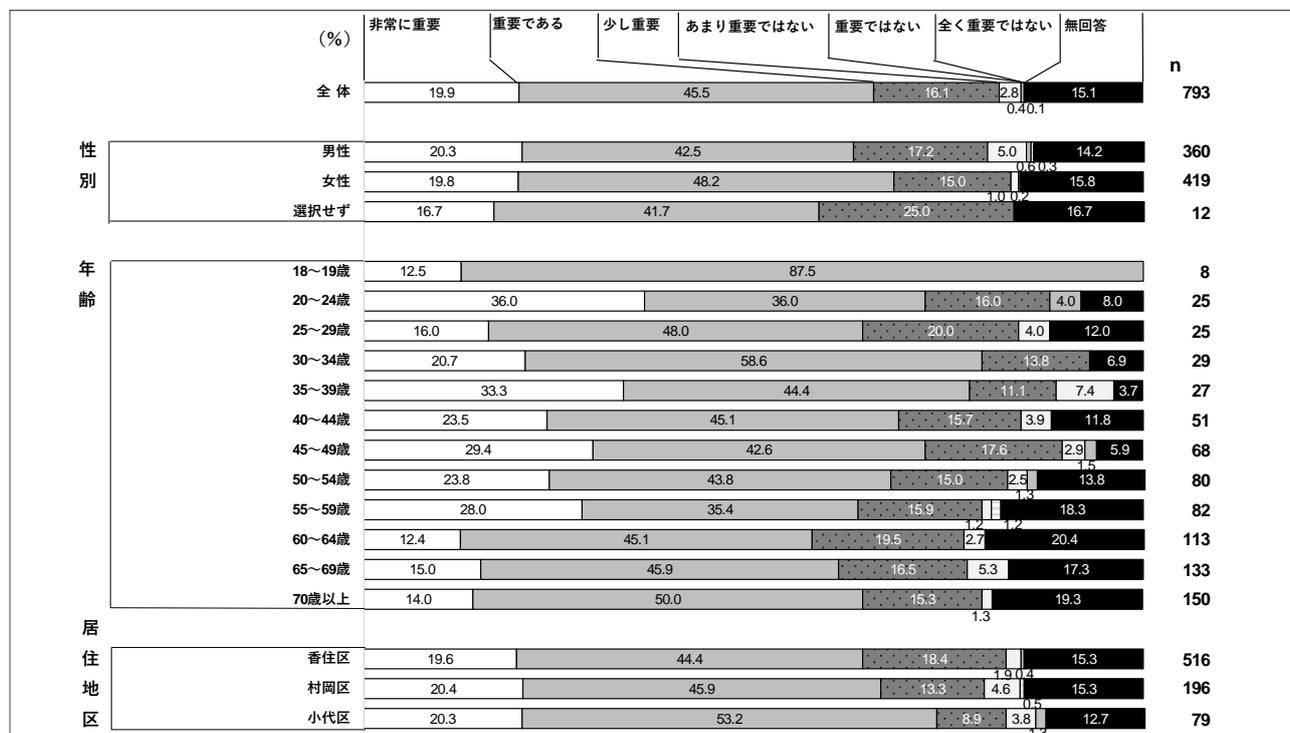
【その他】

警察の不十分／道路にかぶる樹木の伐採を関係各所と協議して走行しやすい道路にしてほしい（香住線→村岡線）／4コメント：外灯が少なく夜道が真っ暗／自転車の右側通行多い。道に車を駐車している。／2コメント：申請すれば、防犯カメラの補助金（3万円辺り）支給される。各家庭に設置すべきだ。6コメント：香美町をも、治安が悪く成っている。内村建設の（従業員の常識を指導するよう伝達願います。慰安旅行にて各自へと帰省中に道路にて立ち尿をするのは違反ですぞ！！中村建設の近隣へのご挨拶無しにて工場を進めて、雑音にて騒がしく礼儀が足りん。／暗い道が多く、街灯の設置をお願いしても自己負担で設置してくださいとのこと。防犯のためにも出来るだけ町の方での設置をお願いしたい。／欄外コメント：警察の防犯研修あり→各区でも／文化会館近くの信号が新しくなっ
てから、書店から細道に入る方向が歩行者の立場からは見えにくくなりました。なので昔の信号の位置（角度）の方がよかったです。／通学路の見直し 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が81.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が3.3%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では80.0%、女性では83.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では5.9%、女性では1.2%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で93.1%、「45～49歳」で89.6%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「35～39歳」で7.4%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約8割となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区、小代区でそれぞれ5.1%、香住区で2.3%となっています。

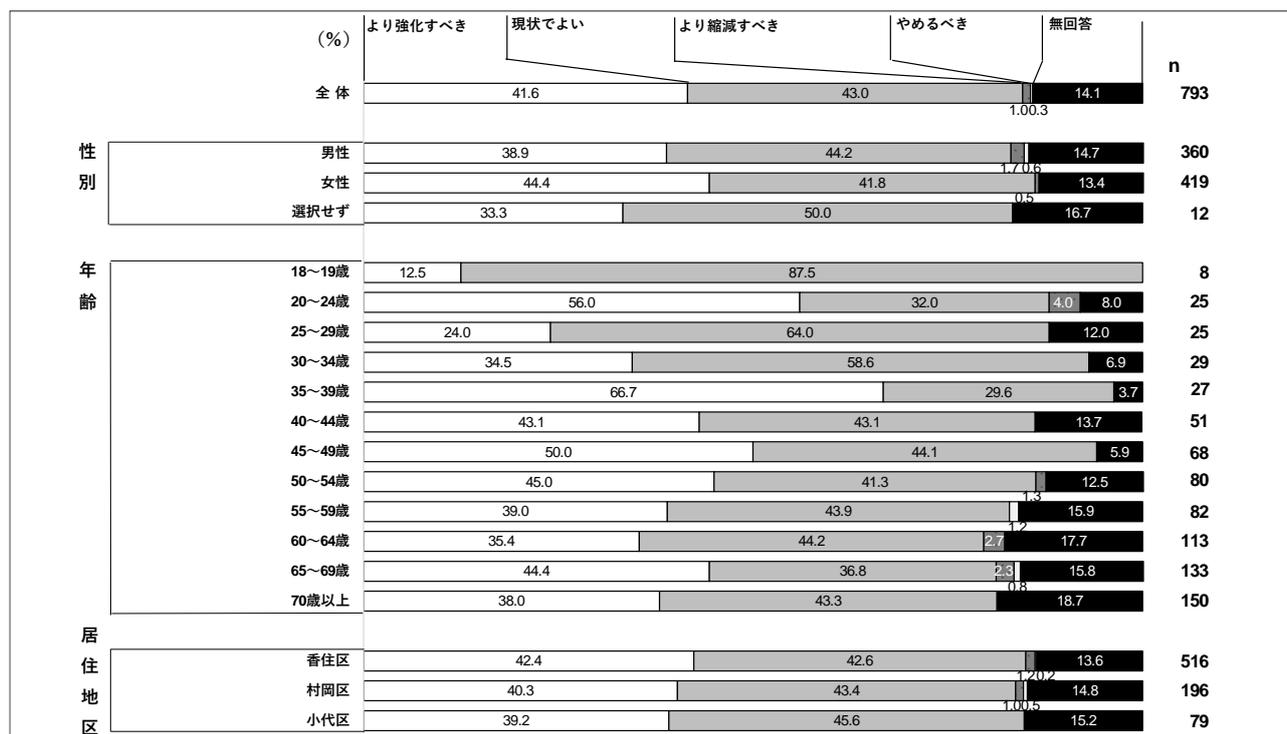
図 23-3 「安全安心に暮らせるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が41.6%、「現状でよい」が43.0%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で38.9%、女性で44.4%となっており、「現状でよい」は男性で44.2%、女性で41.8%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「35～39歳」で66.7%と最も高く、次いで「20～24歳」で56.0%となっています。また、「20～24歳」では「より縮減すべき」が4.0%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で42.4%と最も高く、次いで村岡区で40.3%、小代区で39.2%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で1.2%、村岡区で1.0%となっています。

図 23-4 「安全安心に暮らせるまちの推進」の注力度



基本方針Ⅳ みんなで創る魅力あるまち

問 24 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」について

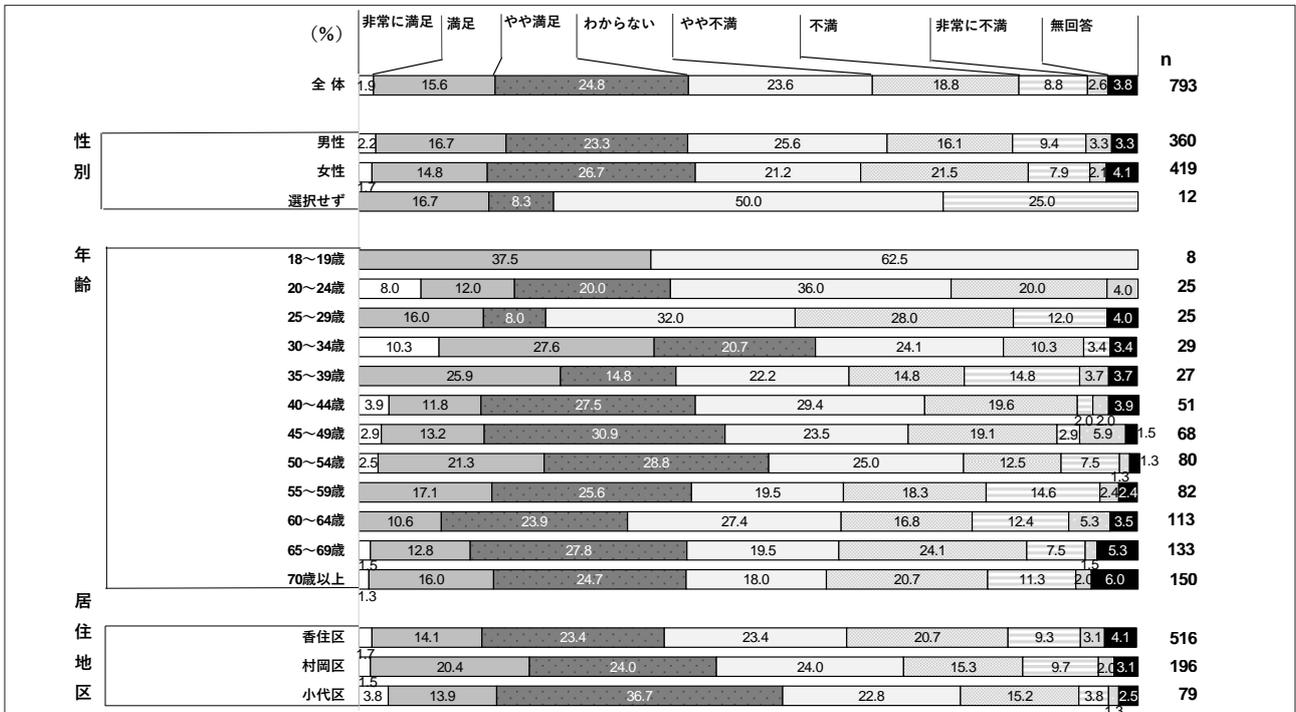
施策内容

行政による消防防災の強化に加え、地域防災の推進やハザードマップ等による危険箇所の周知等を、県や関係機関等と連携しながら、継続して進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が42.3%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の30.2%を12.1ポイント上回っており、「わからない」が23.6%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が42.2%、女性が43.2%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が28.8%、女性が31.5%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が58.6%で最も高く、次いで、「50～54歳」が52.6%、「45～49歳」が47.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「25～29歳」が40.0%と最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が54.4%で最も高く、村岡区が45.9%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が33.1%で最も高くなっています。

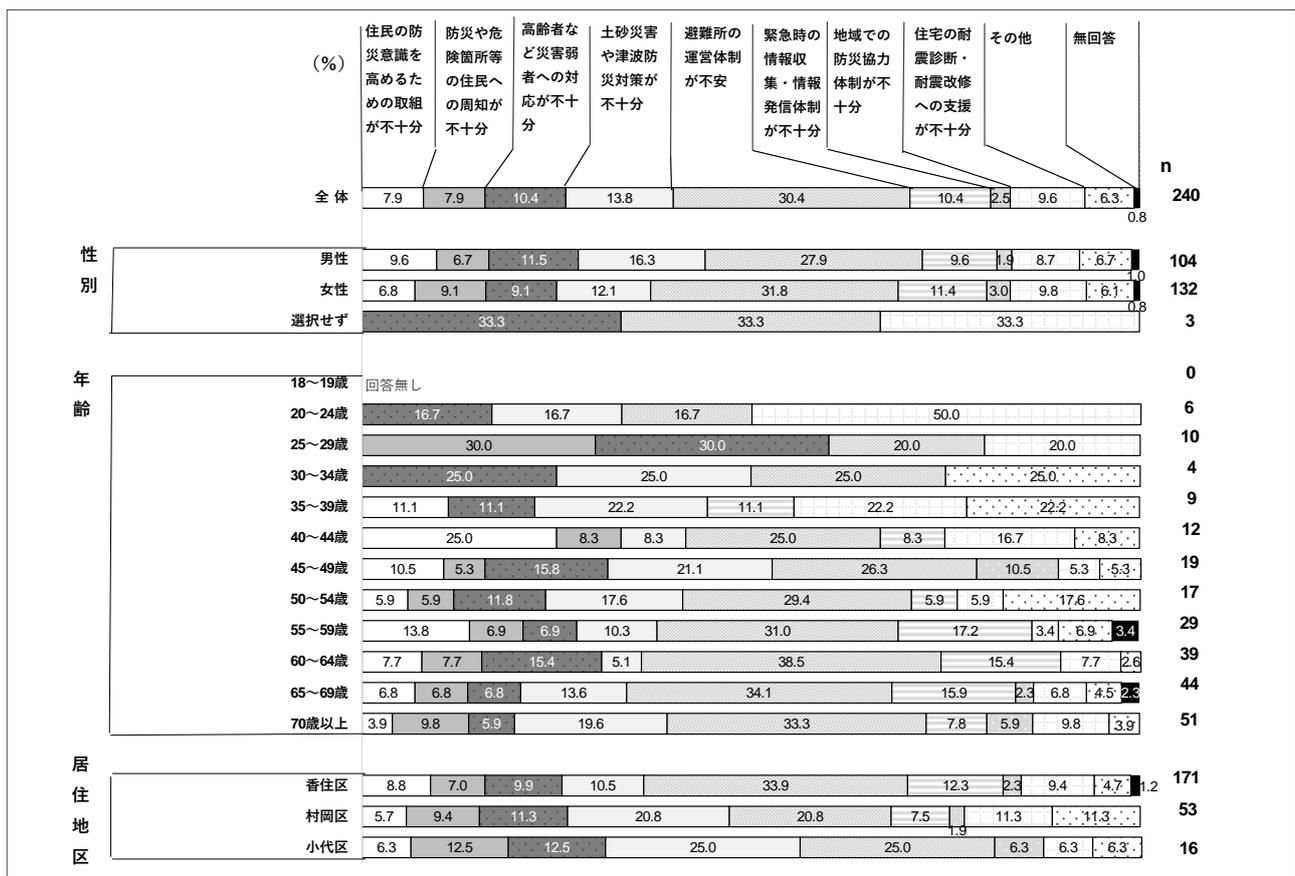
図 24- 1 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」の満足度



不満理由

- 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「避難所の運営体制が不安」が 30.4%で最も高く、次いで「土砂災害や津波防災対策が不十分」が 13.8%、「高齢者など災害弱者への対応が不十分」、「緊急時の情報収集・情報発信体制が不十分」がそれぞれ 10.4%となっています。
- 男女別で見ると、「避難所の運営体制が不安」が男性で 27.9%、女性で 31.8%と最も高く、次いで「土砂災害や津波防災対策が不十分」が男性で 16.3%、女性で 12.1%となっています。
- 年齢別にみると、「避難所の運営体制が不安」が「60～64 歳」で 38.5%と最も高く、次いで、「65～69 歳」で 34.1%、「70 歳以上」で 33.3%となっています。また、「45～49 歳」では、「地域での防災協力体制が不十分」が 10.5%と、他の年齢と比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても「避難所の運営体制が不安」がそれぞれ 33.9%、20.8%、25.0%と最も高く、村岡区、小代区では「土砂災害や津波防災対策が不十分」がそれぞれ 20.8%、25.0%でこれに次いでいます。また、村岡区では「住宅の耐震診断・耐震改修への支援が不十分」が 11.3%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 24-2 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」の不満理由



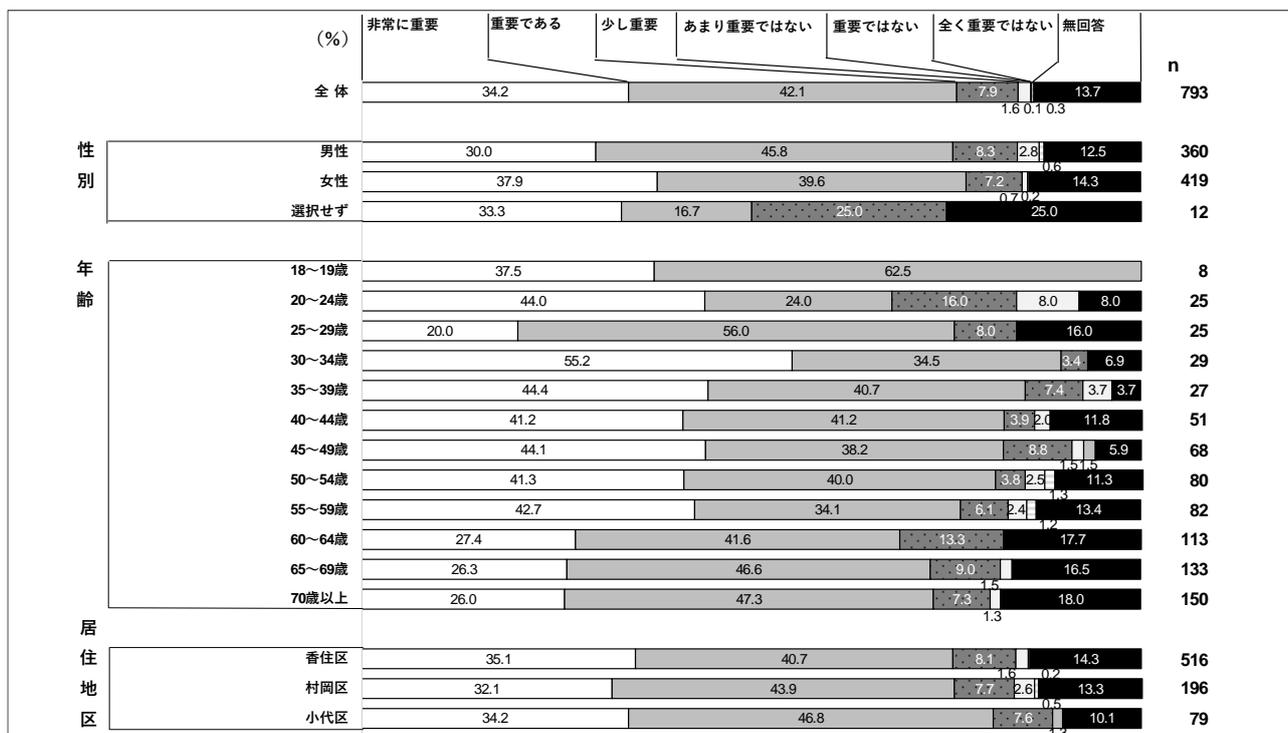
【その他】

以前は消火器の詰め替えをしてきていました。(一日市) / 避難可能な場所がどこかわからないため / 災害が予想されるような天候時の外出を控える事を強く発信してください。高齢者はもちろん全ての方の認識が低いと災害事故は増えます。 / 各集落に発電機 (2.5kw 以上) が必要 / 香住の津波の危険を深夜に村岡に放送するのは不要 / 放送が聞き取れない / ペットの避難所 / 河川堆積物の除去 / 訓練しても、先に発生した 1/1 の際に誰に連絡すればいいか、また各自でひなんしており、行方が分からない人が多数。 / 5 コメント : 本庁舎 (役場) が小高いでしょう。避難所に出来ないのか 9 コメント : 避難場所が平坦地で役に立ちませんよ ! 災害で体験去れていないから平和呆けてるんよ ! 「海辺の庶民は長井地区の公民館等とかに避難の許可を設定するとか「佐津ミノウ高原」とか、高台へと避難所をつくって下さい。 / 自然災害は現在の状況では判断に苦しむ (妥当かどうか) / 避難場所が文化会館になっていますが、津波がきても低い場所なので意味がありません。高くして少し海から離れている場所にトイレなど完備した施設を作ってほしい。 / R6 元日に津波警報が出た時に指定避難先が聞いてなかった。カギで開ける担当者 (区長 ?) が不在だった ? / 指定されている避難所が現実的ではない / この施策について具体的に何をしているのか、何を

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が84.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が2.0%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では84.1%、女性では84.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では3.4%、女性では0.9%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100%と最も高く、次いで、「30～34歳」で93.1%、「35～39歳」で92.5%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「20～24歳」で8.0%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても8割を超えています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区で3.1%と最も高くなっています。

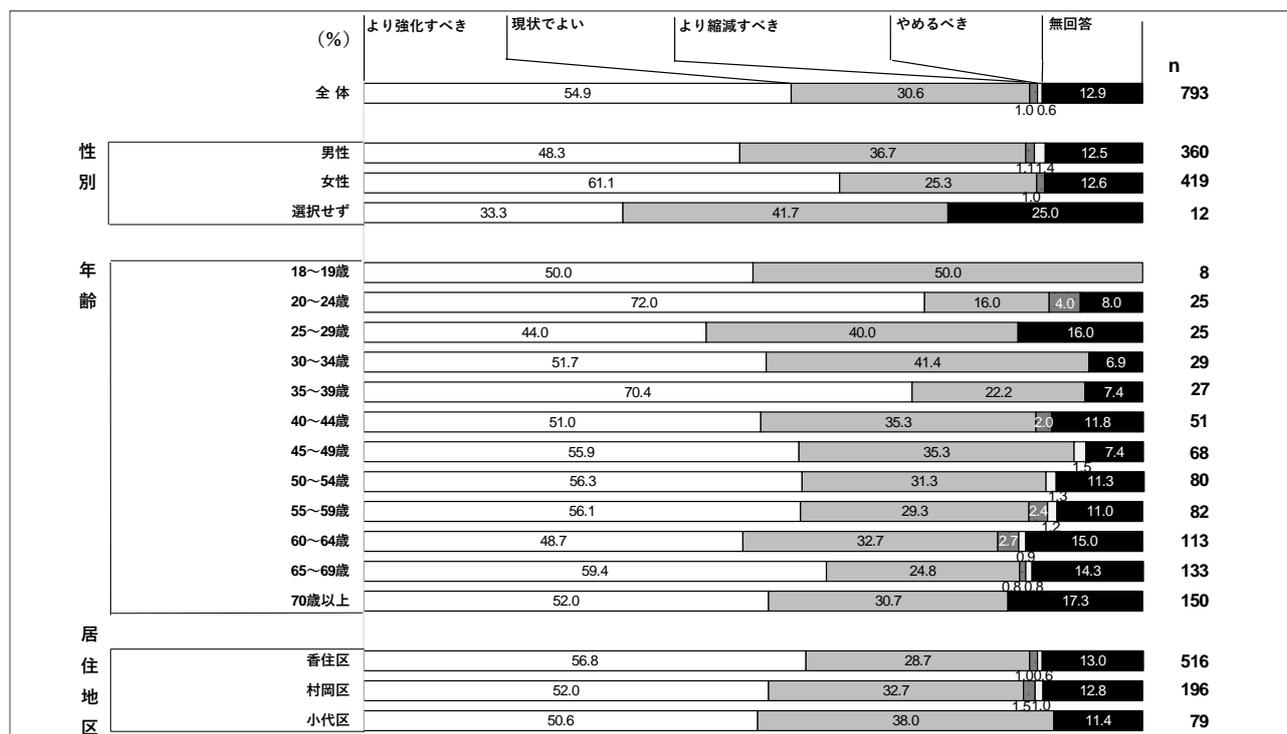
図 24-3 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 54.9%、「現状でよい」が 30.6%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 48.3%、女性で 61.1%となっており、「現状でよい」は男性で 36.7%、女性で 25.3%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「20～24 歳」で 72.0%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 70.4%となっています。また、「20～24 歳」では「より縮減すべき」が 4.0%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 56.8%と最も高く、次いで村岡区で 52.0%、小代区で 50.6%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で 1.0%、村岡区で 1.5%となっています。

図 24-4 「みんなでつくる災害に強いまちの推進」の注力度



問 25 「交通網が充実したまちの推進」について

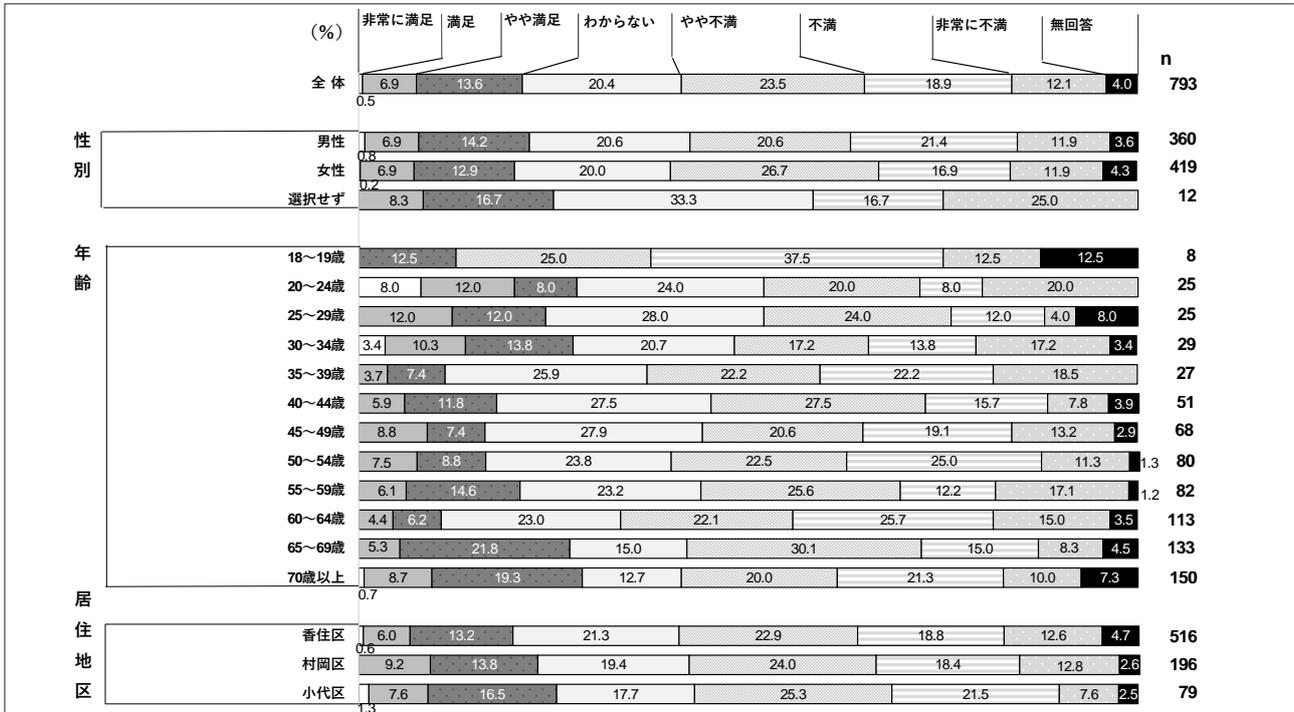
施策内容

よりよい道路網整備に向け、国や県と連携しながら道路施設の整備、修繕等を進めています。さらに、公共交通に
 関しては、J Rの利用促進に努めるとともに町民バスや事業者運行の幹線バス等の整備、改善に努めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が21.0%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の54.5%を33.5ポイント下回っており、「わからない」が20.4%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が21.9%、女性が20.0%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が53.9%、女性が55.5%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「70歳以上」が28.7%で最も高く、次いで、「20～24歳」が28.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「18～19歳」が75.0%と最も高く、次いで「35～39歳」で62.9%、「60～64歳」で62.8%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は香住区、村岡区、小代区いずれにおいても約2割となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が55.2%と最も高く、次いで、小代区で54.4%、香住区で54.3%となっています。

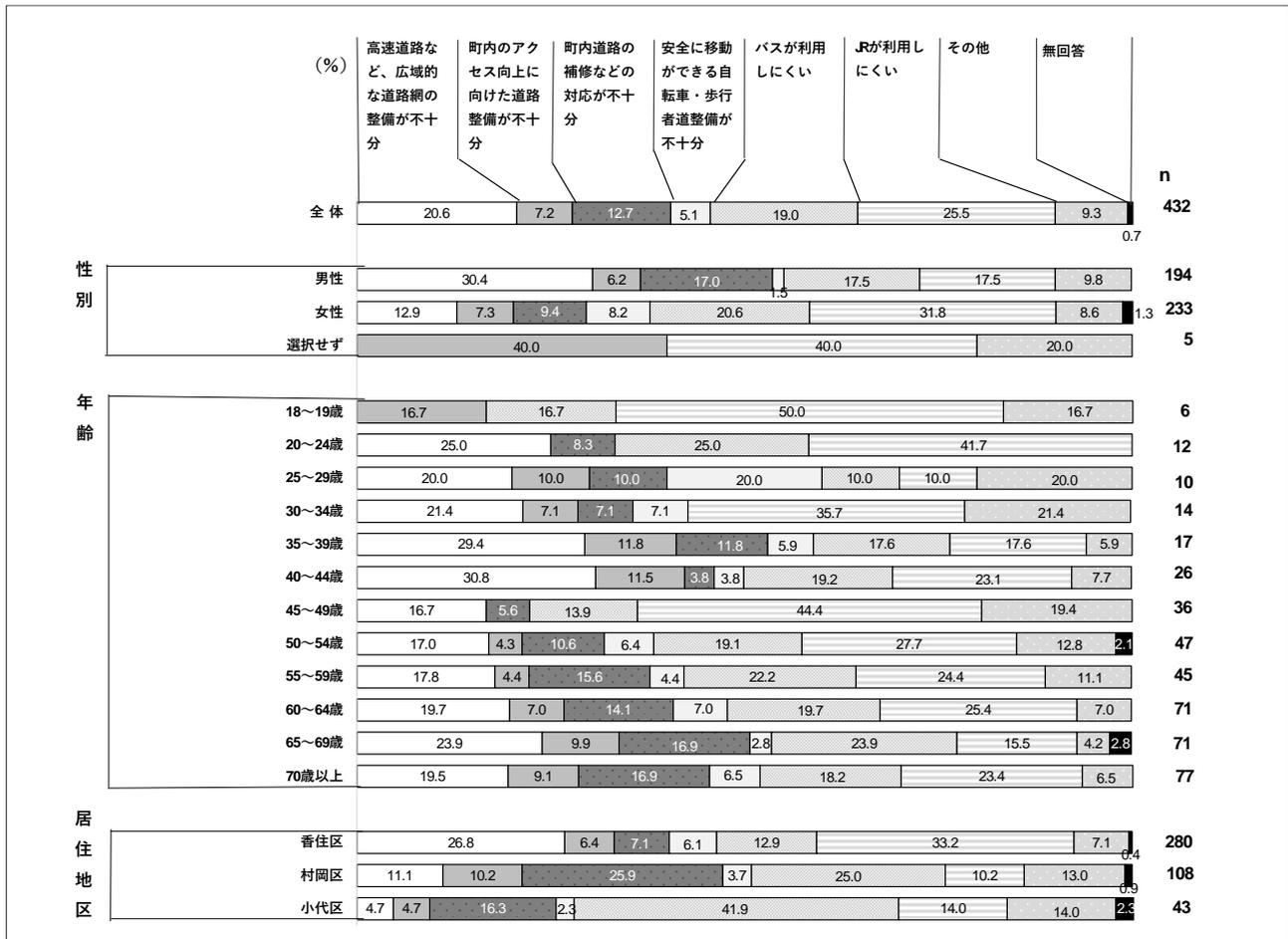
図 25- 1 「交通網が充実したまちの推進」の満足度



不満理由

- 「交通網が充実したまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「JR が利用しにくい」が 25.5%で最も高く、次いで「高速道路など、広域的な道路網の整備が不十分」が 20.6%、「バスが利用しにくい」が 19.0%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「高速道路など、広域的な道路網の整備が不十分」が 30.4%と最も高く、次いで、「バスが利用しにくい」、「JR が利用しにくい」がそれぞれ 17.5%となっています。女性では「JR が利用しにくい」が 31.8%と最も高く、次いで、「バスが利用しにくい」が 20.6%となっています。
- 年齢別にみると、「町内道路の補修などの対応が不十分」が「65～69 歳」、「70 歳以上」でそれぞれ 16.9%と最も高く、次いで、「55～59 歳」で 15.6%、「60～64 歳」で 14.1%となっています。また、「25～29 歳」では「安全に移動ができる自転車・歩行者道整備が不十分」が 20.0%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区では「JR が利用しにくい」が 33.2%と最も高く、「高速道路など、広域的な道路網の整備が不十分」が 26.8%でこれに次いでいます。村岡区では「町内道路の補修などの対応が不十分」が 25.9%と最も高く、「バスが利用しにくい」が 25.0%でこれに次いでいます。小代区では「バスが利用しにくい」が 41.9%と最も高く、「町内道路の補修などの対応が不十分」が 16.3%でこれに次いでいます。

図 25-2 「交通網が充実したまちの推進」の不満理由



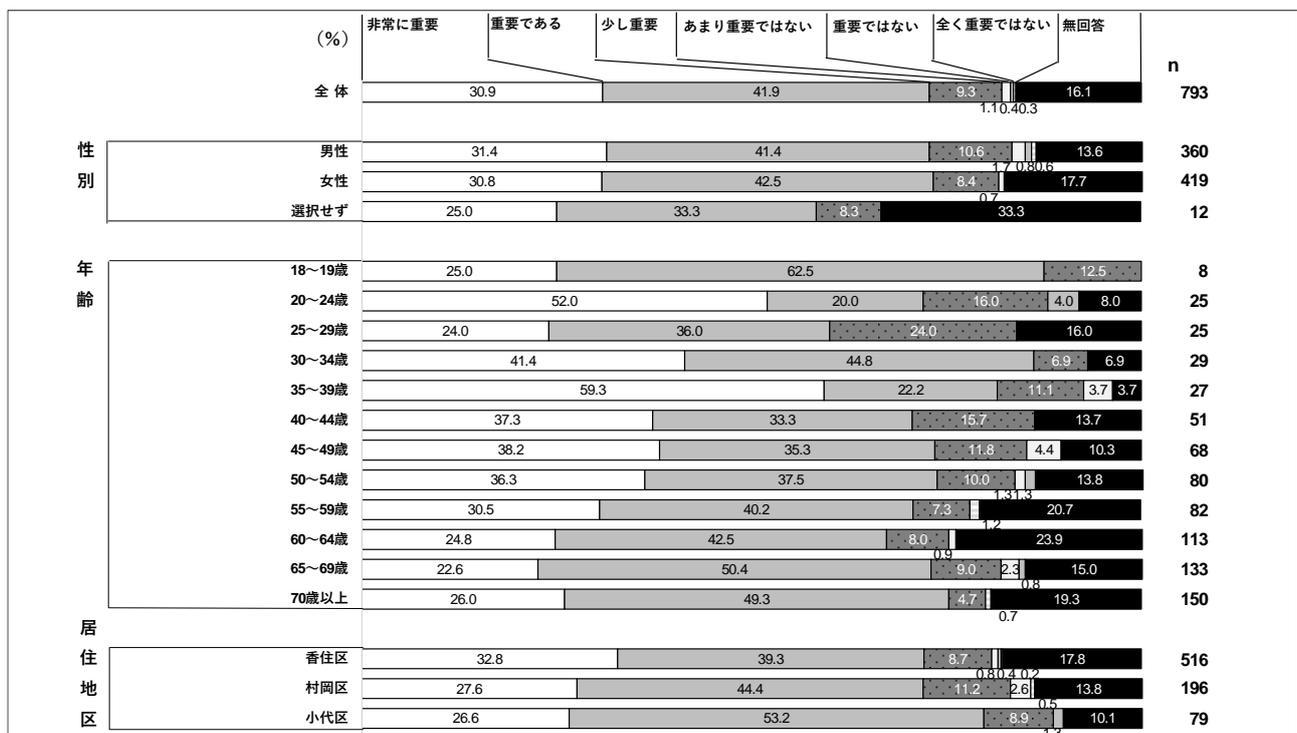
【その他】

6 コメント：切符の買い方がわかりません、駅員がいません。／2 コメント：大雪の時、毎年毎年村岡から香住の道路は除雪が十分に行われていず早朝（6時頃）の出勤の際には、1時間以上かかる事も多くあります。特に川会、中野あたりはひどい雪の状況です。通勤しない人には早朝の大雪の中、自車がまるでブルドーザーの様になりながら倍の時間をかけて働きに行く人の苦労はわからないと思います。／年中道路の両脇に、草やつたが、または電柱にまわりつき（特に気になっている）、危険かと。※年に数回は除草しているようですが、草のいきおいがすごすぎる。／石寺～長板の間の大型車の通行を可にする／公共交通機関の運行が少ない／不便になっていくにはそれなりの理由があるのでしょうが、公共交通のない地域にだけはしないで下さい。免許返納しても移動手段の確保は必要です。／JRもバスも利用しにくい／タクシーがない／町民バスなどの情報が不十分／道路にかぶる樹木の伐採を関係各所と協議して走りやすい道路にしてほしい（香住線→村岡線）／設備が出来、便利になったのみ／高齢者の為の交通整備が整わないと、免許返納者も増えず、事故が増えると思う／ライドシェアをしろ～のんなるカーはやめろ バス停まで歩けない（のってる人がない） バス購入や人件費などをあわせてもライドシェアにはらうお金の方がやすいと思う／5 コメント：料金が高い／3 コメント：机に向かってなくて、車を走らせた道のがたがたが悟れるでしょう。何度伝えても改善無し。6 コメント：電車の本数を減らすなよ。7 コメント：高齢者のお一人暮らしで普通タクシー代は高いのよ。高齢者、障害者等々の専門タクシーを病院からご自宅まで安割で運送出来る様に配慮して下さい。観ていて居たたまれないわよ。／高齢者、障害者、車のれない人の移動手段の確保／近隣市町との連携（町民バス等）／町民バスもガラガラ。医療機関の送迎バスを利用している人が多い。／外国で自転車ごと（折りたたまずに）そのまま乗れる車両があるみたいです。そういう車両を JR も作ってくれたら、JR を利用する人も増えるのではないのでしょうか。／香住区以外に JR 路線が存在しない／JR の始発普通電車は復活して欲しい。もう一度 JR と 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が82.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が1.8%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では83.4%、女性では81.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では3.1%、女性では0.7%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で93.1%、「35～39歳」で92.6%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「45～49歳」で4.4%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても8割を超えています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区で3.1%と最も高くなっています。

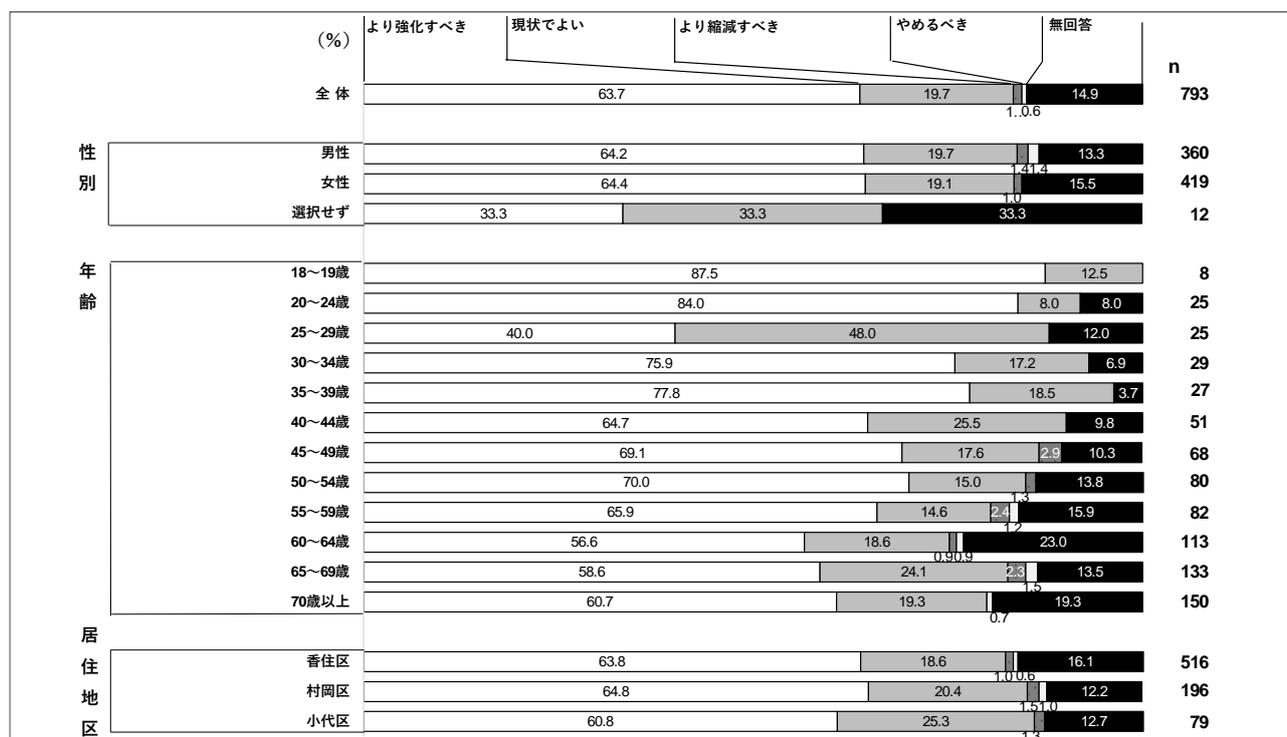
図 25-3 「交通網が充実したまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 63.7%、「現状でよい」が 19.7%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 64.2%、女性で 64.4%となっており、「現状でよい」は男性で 19.7%、女性で 19.1%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「18～19 歳」で 87.5%と最も高く、次いで「20～24 歳」で 84.0%となっています。また、「45～49 歳」では「より縮減すべき」が 2.9%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 64.8%と最も高く、次いで香住区で 63.8%、小代区で 60.8%となっています。また、「より縮減すべき」が村岡区で 1.5%と最も高く、次いで小代区で 1.3%、香住区で 1.0%となっています。

図 25-4 「交通網が充実したまちの推進」の注力度



問 26 「快適で心地よい住環境のまちの推進」について

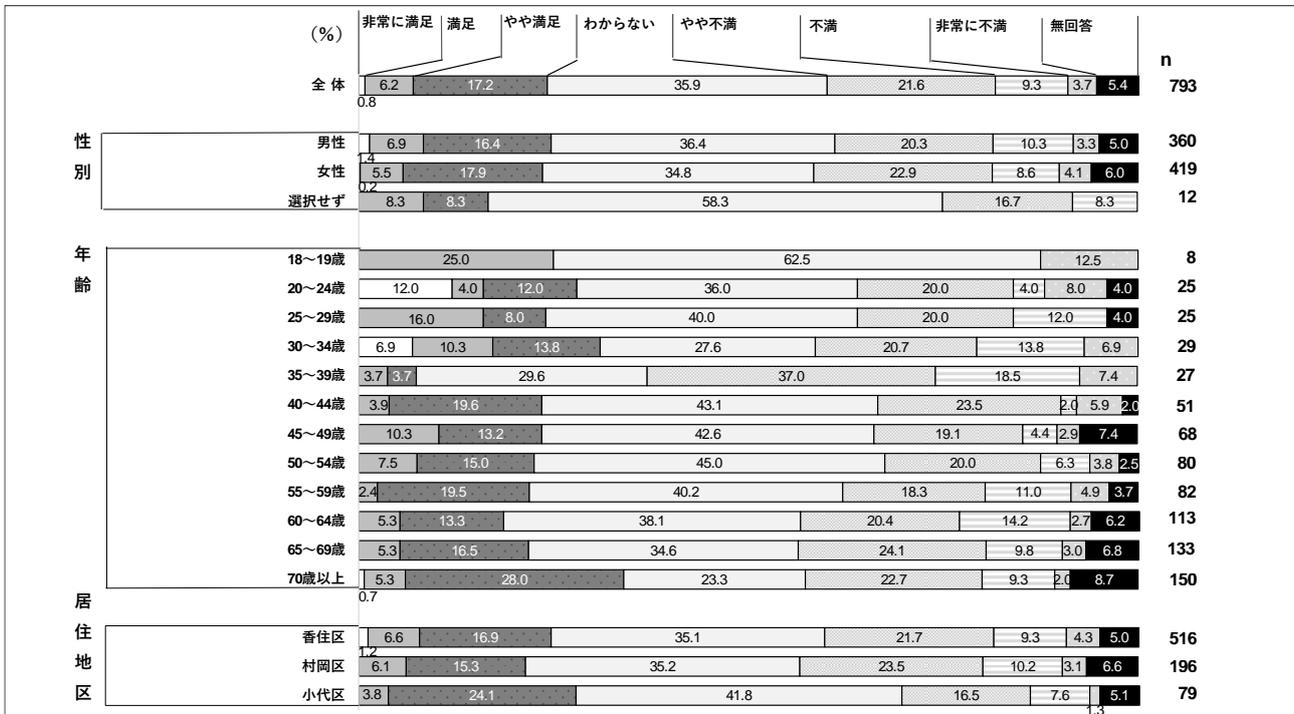
施策内容

誰もが快適に生活を送ることができるよう、公共空間の整備や管理不全空家対策、公園の施設改修等によって住みよいまちをつくっています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 24.2%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 34.6%を 10.4 ポイント下回っており、「わからない」が 35.9%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 24.7%、女性が 23.6%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 33.9%、女性が 35.6%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「70 歳以上」が 34.0%で最も高く、次いで、「30～34 歳」が 31.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 62.9%と最も高く、次いで「30～34 歳」で 41.4%、「60～64 歳」で 37.3%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区が 27.9%で最も高く、香住区が 24.7%、村岡区が 21.4%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が 36.8%と最も高く、次いで、香住区で 35.3%、小代区で 25.4%となっています。

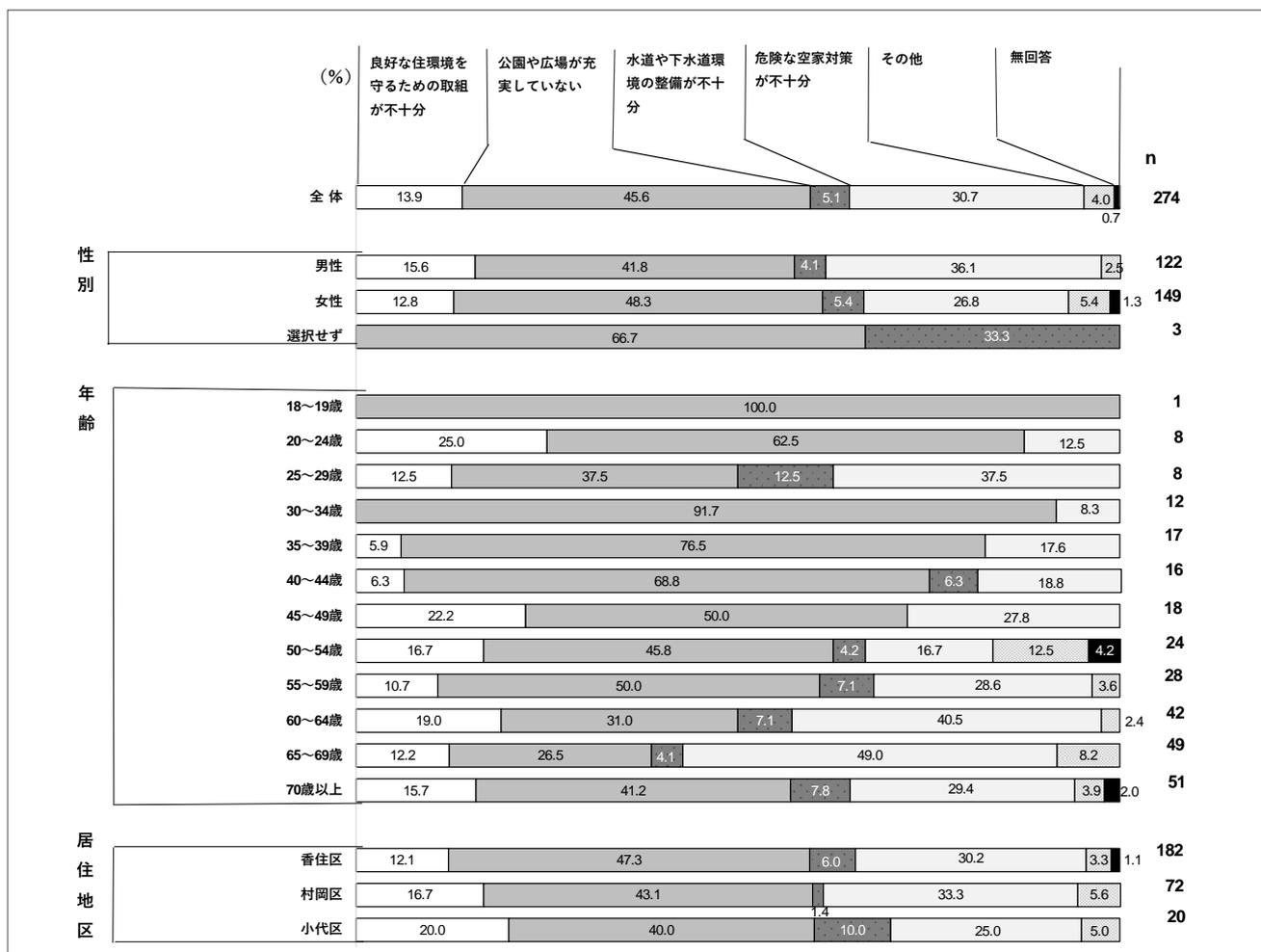
図 26- 1 「快適で心地よい住環境のまちの推進」の満足度



不満理由

- 「快適で心地よい住環境のまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「公園や広場が充実していない」が45.6%で最も高く、次いで「危険な空き家対策が不十分」が30.7%、「良好な住環境を守るための取組が不十分」が13.9%となっています。
- 男女別で見ると、「公園や広場が充実していない」が男性で41.8%、女性で48.3%と最も高く、次いで、「危険な空き家対策が不十分」が男性で36.1%、女性で26.8%となっています。
- 年齢別にみると、「良好な住環境を守るための取組が不十分」が「20～24歳」で25.0%と最も高く、次いで、「45～49歳」で22.2%、「60～64歳」で19.0%となっています。また、「25～29歳」では「水道や下水道環境の整備が不十分」が12.5%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても「公園や広場が充実していない」が4割以上で最も高く、「危険な空き家対策が不十分」がそれぞれ約3割でこれに次いでいます。また、小代区では「水道や下水道環境の整備が不十分」が10.0%と、他の区と比べてやや高くなっています。

図 26-2 「快適で心地よい住環境のまちの推進」の不満理由



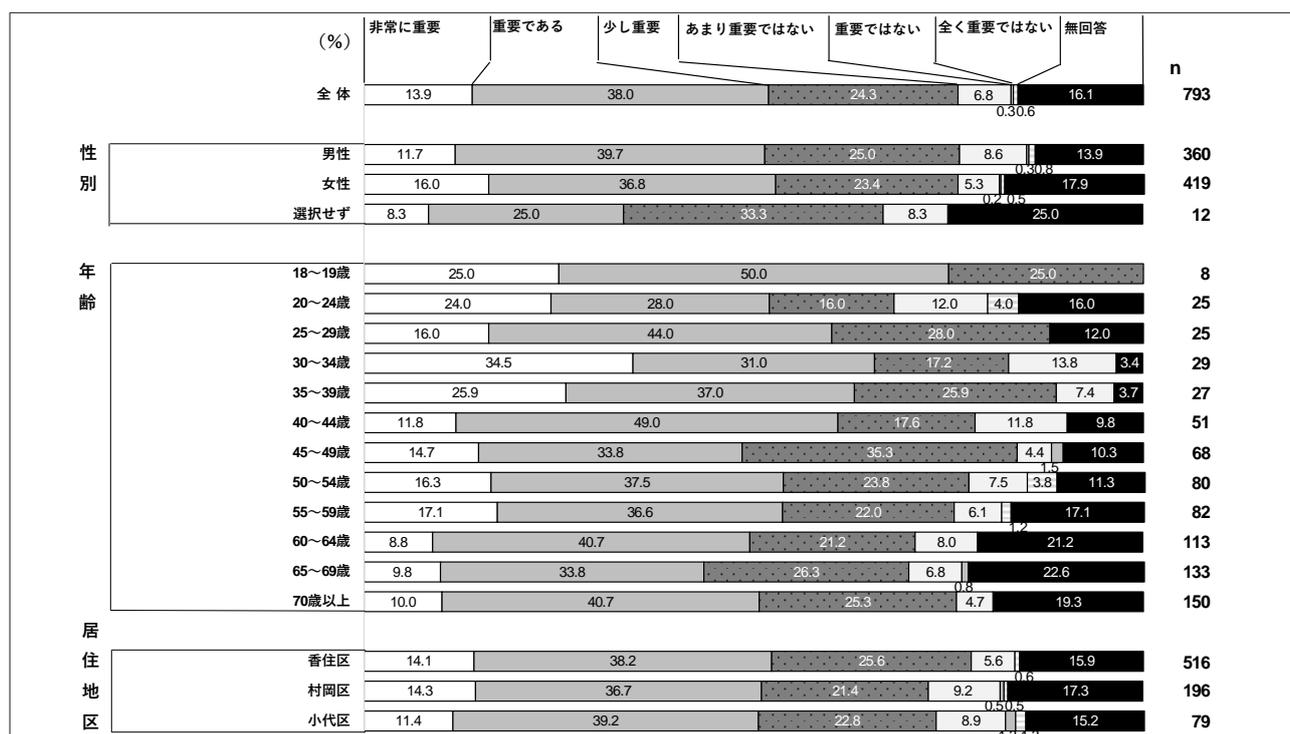
【その他】

すぐ動ける交通手段がない／1,120 百万は何にどう使われましたか？／3 コメント：水道水が飲めないくらいおいしくないです。／3 コメント：何十年も前に下水道の整備の話があり、実際下水道を作ったが、現在においても未だにトイレの汲み取りを行っている家庭が多数あり、小代、村岡、香住の世帯数をみても香住の上下水道をしている人の%はかなり低い。個人的には一軒一軒役場の職員でも自宅をまわり上下水道をひいてくれる様に力を入れて欲しい。臭気、大雨のときなど不安で仕方ない。／しおかぜ公園トイレの洋式化、海水浴場の活用／住みよい町…程遠い／獣害対策／光回線をつなげてもらえなかった／定期呼びかけ、点検する人は？／料金が高過ぎる／空いた校舎の活用法はどう考えておられますか。地域で使わせてもらうことは、希望すればできるのですか。二中は中がゴミ箱みたいでしたが…／道路脇や歩道が草だらけ。樹木も伸びほうだい。 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が 76.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が 7.7%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では 76.4%、女性では 76.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では 9.7%、女性では 6.0%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19 歳」で 100.0%と最も高く、次いで、「35～39 歳」で 88.8%、「25～29 歳」で 88.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「20～24 歳」で 16.0%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても 7 割を超えています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で 11.5%と最も高く、次いで村岡区で 10.2%、香住区で 6.2%となっています。

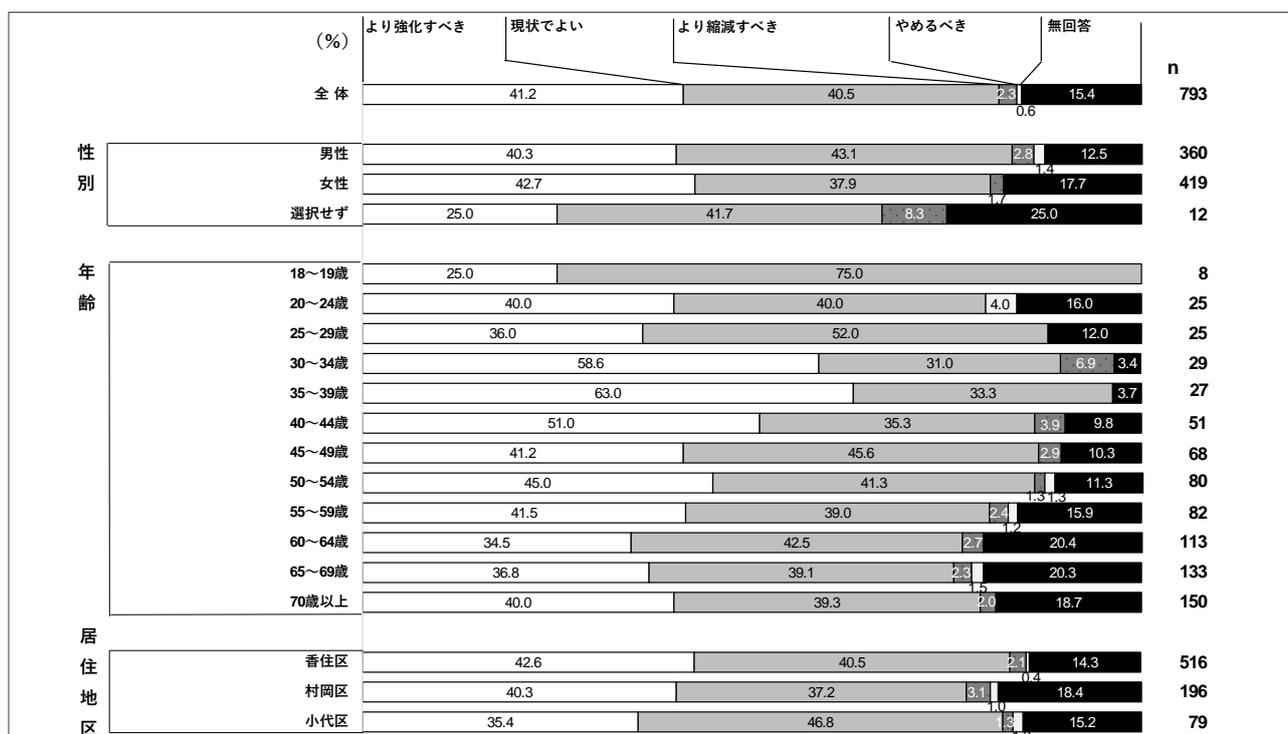
図 26-3 「快適で心地よい住環境のまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が41.2%、「現状でよい」が40.5%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で40.3%、女性で42.7%となっており、「現状でよい」は男性で43.1%、女性で37.9%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「35～39歳」で63.0%と最も高く、次いで「30～34歳」で58.6%となっています。また、「30～34歳」では「より縮減すべき」が6.9%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で42.6%と最も高く、次いで村岡区で40.3%、小代区で35.4%となっています。また、「より縮減すべき」が村岡区で3.1%と最も高く、次いで香住区で2.1%、小代区で1.3%となっています。

図 26-4 「快適で心地よい住環境のまちの推進」の注力度



問 27 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」について

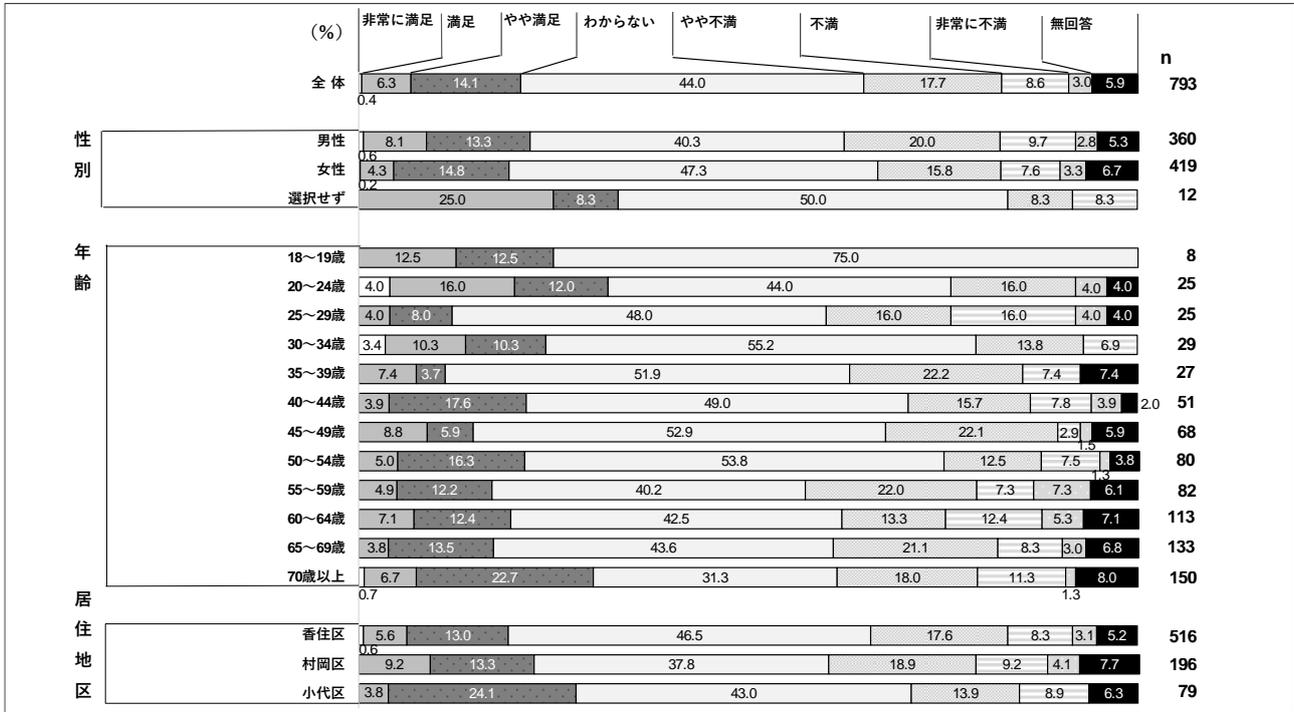
施策内容

空き家バンクの活用推進に加え、まちや移住定住に関する情報公開、相談体制の強化に努めることで、移住定住意欲が高まるまちをつくっています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 20.8%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 29.3%を 8.5 ポイント下回っており、「わからない」が 44.0%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 22.0%、女性が 19.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 32.5%、女性が 26.7%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「20～24 歳」が 32.0%で最も高く、次いで、「70 歳以上」が 30.1%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「55～59 歳」が 36.6%と最も高く、次いで「25～29 歳」で 36.0%、「65～69 歳」で 32.4%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で 27.9%と最も高く、次いで村岡区で 22.5%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が 32.2%と最も高く、次いで、香住区で 29.0%、小代区で 22.8%となっています。

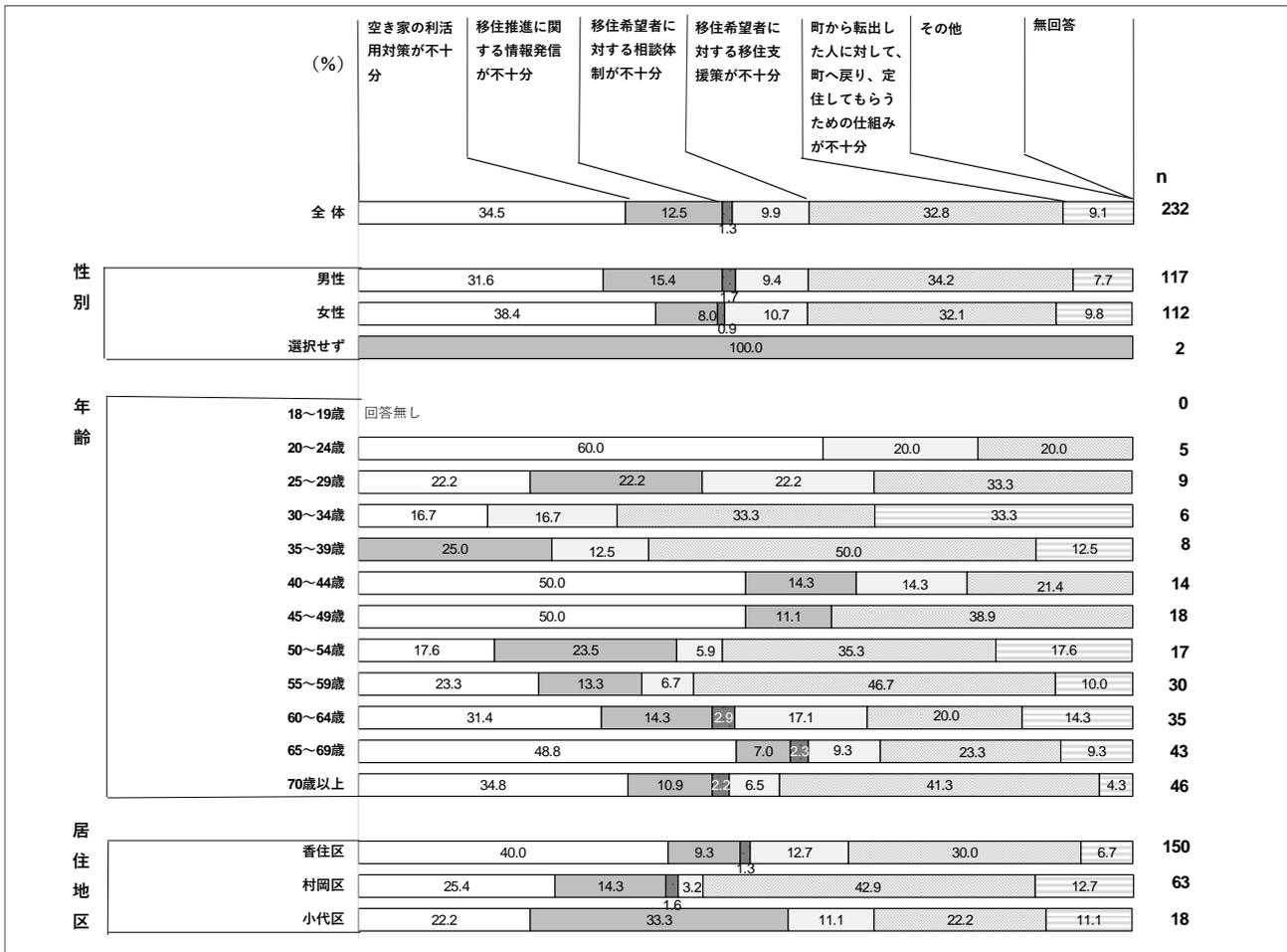
図 27-1 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」の満足度



不満理由

- 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「空き家の利活用対策が不十分」が 34.5%で最も高く、次いで「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が 32.8%、「移住推進に関する情報発信が不十分」が 12.5%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が 34.2%と最も高く、次いで、「空き家の利活用対策が不十分」が 31.6%となっています。女性では「空き家の利活用対策が不十分」が 38.4%と最も高く、次いで、「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が 32.1%となっています。
- 年齢別にみると、「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が「35～39歳」で 50.0%と最も高く、次いで、「55～59歳」で 46.7%、「70歳以上」で 41.3%となっています。
- 居住区別にみると、香住区では「空き家の利活用対策が不十分」が 40.0%と最も高く、次いで、「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が 30.0%となっています。村岡区では「町から転出した人に対して、町へ戻り、定住してもらうための仕組みが不十分」が 42.9%と最も高く、次いで、「空き家の利活用対策が不十分」が 25.4%となっています。小代区では「移住推進に関する情報発信が不十分」が 33.3%と最も高くなっています。

図 27-2 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」の不満理由



【その他】

518 百万は何にどう使われましたか？ / 1 コメント：実際に多くの空き家があります。固定資産税が高くなるためか、空き家を壊したり更地にすることがないのが現状です。中には自宅の原型をとどめない位にくずれた家や植えている木々が大きく育ちすぎ、電線に引っ掛かり、停電を起こすのではと危惧する家もあります。もう少し、空き家の把握をして、持ち主に連絡し、取り壊す等してほしいものです。外見的にも見栄えも悪く、衛生面でもよくないと思います。 / 根本的な課題に取り組むべき / 廃校校舎の有効利用を検討して欲しい（商業施設、オフィス、住居等） / 今住んでいる人が犠牲にならない様十分な調査を / 新しい入居者を選べない。変な人が移住してきて困っている話もよく聞く / 空き家が多すぎる。住めない家は更地にしてほしい / 私が転入時、情報が全くなかった。 / 実家を管理をし家の廻りの草刈りをしてるのに、その村の住民は「不法侵入並び器物損壊」「除草剤」を黙って撒いている住民の親子がいます。管理している身なので釘をさして云えません。何度もしなるので困っています。「空き家」と簡単に決めつけないで貰いたい。実家を管理している方々もいるんです。何か移住ですか！移住よりもUターンしてくれる地元だった方々が住める様になささい。 / 空家バンクの登録が少ないと移住者から聞いた。古い家しかないのは移住者はこない。④も大切。 / 空き家だけでなく耕作放棄地の管理が問題。 / 移住者と地区との関係が微妙 / 空き家の家財を処分する費用等の支援があってもいい 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が74.4%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が8.2%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では74.2%、女性では74.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では10.5%、女性では6.0%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で87.5%と最も高く、次いで、「30～34歳」で86.1%、「20～24歳」、「25～29歳」でそれぞれ80.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「35～39歳」で14.8%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区で75.6%と最も高く、次いで村岡区で74.5%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で16.5%と最も高く、次いで村岡区で8.1%、香住区で7.0%となっています。

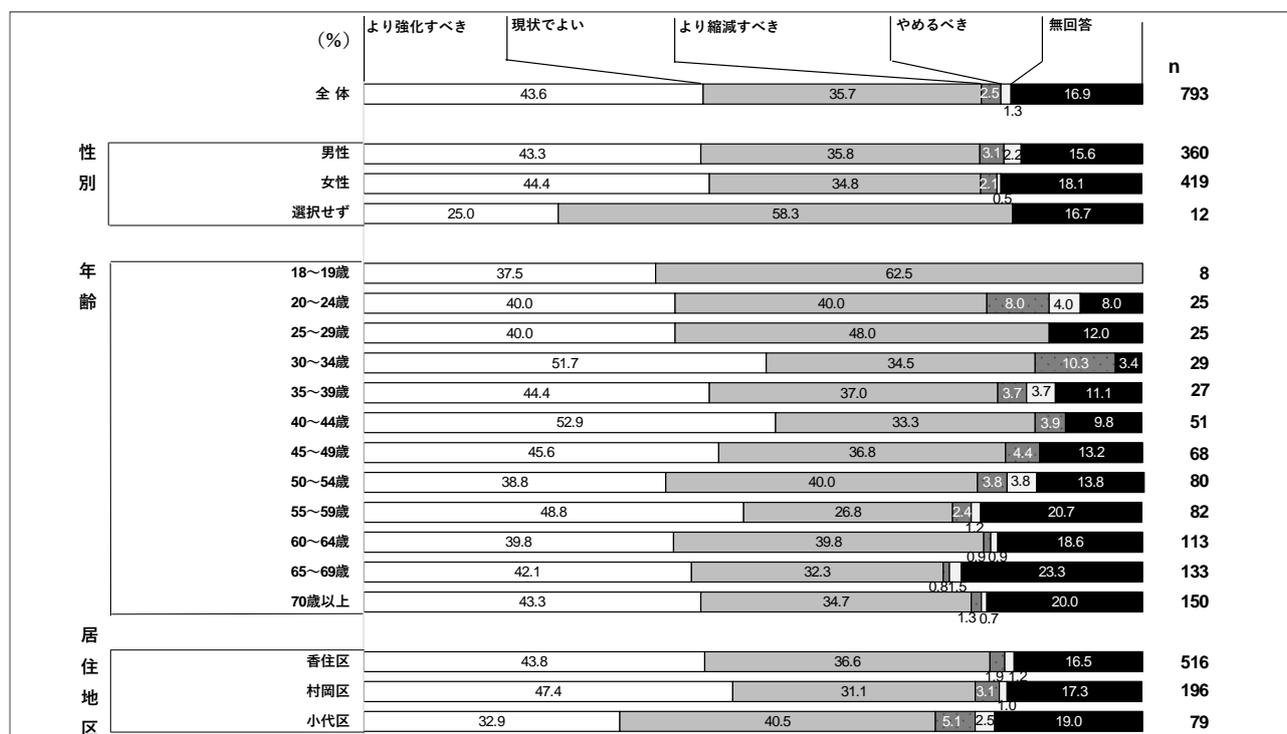
図 27-3 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」の重要度

		(%)	非常に重要	重要である	少し重要	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	無回答	n
全体			15.8	37.2	21.4	6.2	1.5	0.5	17.4	793
性別	男性		16.1	35.3	22.8	7.5	2.2	0.8	15.3	360
	女性		15.5	38.4	20.8	4.8	1.0	0.2	19.3	419
	選択せず		16.7	41.7	8.3	16.7		16.7		12
年齢	18～19歳		25.0	62.5					12.5	8
	20～24歳		16.0	36.0	28.0	4.0	4.0	12.0		25
	25～29歳		16.0	44.0	20.0	8.0	12.0			25
	30～34歳		31.0	31.0	24.1	3.4	6.9	3.4		29
	35～39歳		22.2	25.9	25.9	14.8	11.1			27
	40～44歳		19.6	45.1	13.7	7.8	3.9	9.8		51
	45～49歳		20.6	30.9	23.5	8.8	4.4	11.8		68
	50～54歳		17.5	26.3	30.0	6.3	2.5	16.3		80
	55～59歳		20.7	35.4	13.4	3.7	1.3	24.4		82
	60～64歳		14.2	38.1	23.0	3.5	0.9	20.4		113
居住地区	香住区		15.5	35.7	24.4	5.6	1.0	0.4	17.4	516
	村岡区		16.3	43.4	14.8	6.1	1.5	0.5	17.3	196
	小代区		16.5	30.4	19.0	10.1	5.1	1.3	17.7	79

注力度

- 全体では、「より強化すべき」が43.6%、「現状でよい」が35.7%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で43.3%、女性で44.4%となっており、「現状でよい」は男性で35.8%、女性で34.8%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「40～44歳」で52.9%と最も高く、次いで「30～34歳」で51.7%となっています。また、「30～34歳」では「より縮減すべき」が10.3%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で47.4%と最も高く、次いで香住区で43.8%、小代区で32.9%となっています。また、「より縮減すべき」が小代区で5.1%と最も高く、次いで村岡区で3.1%、香住区で1.9%となっています。

図 27-4 「住んでみたいまち、住み続けたいまちの推進」の注力度



基本方針V 地域の豊かな資源を生かすまち

問 28 「自然と共生するまちの推進」について

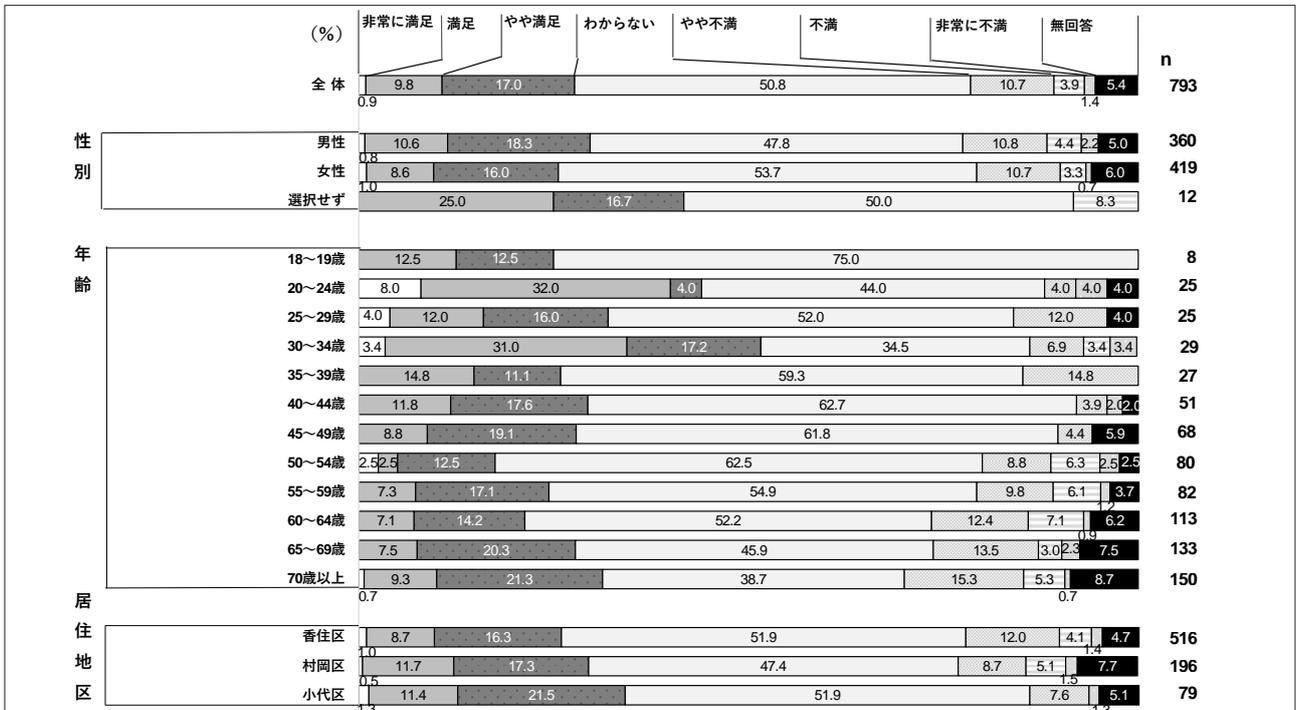
施策内容

自然環境とそれに支えられた生活文化を守り育てため、自然との共生と持続可能な社会の実現に向けた取組を進めています。また、自然景観や歴史文化景観のさらなる活用に向けての取組を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が27.7%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の16.0%を11.7ポイント上回っており、「わからない」が50.8%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が29.7%、女性が25.6%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が17.4%、女性が14.7%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が51.6%で最も高く、次いで、「20～24歳」が44.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「70歳以上」が21.3%と最も高く、次いで「60～64歳」で20.4%、「65～69歳」で18.8%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で34.2%と最も高く、次いで村岡区で29.5%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が17.5%と最も高く、次いで、村岡区で15.3%、小代区で8.9%となっています。

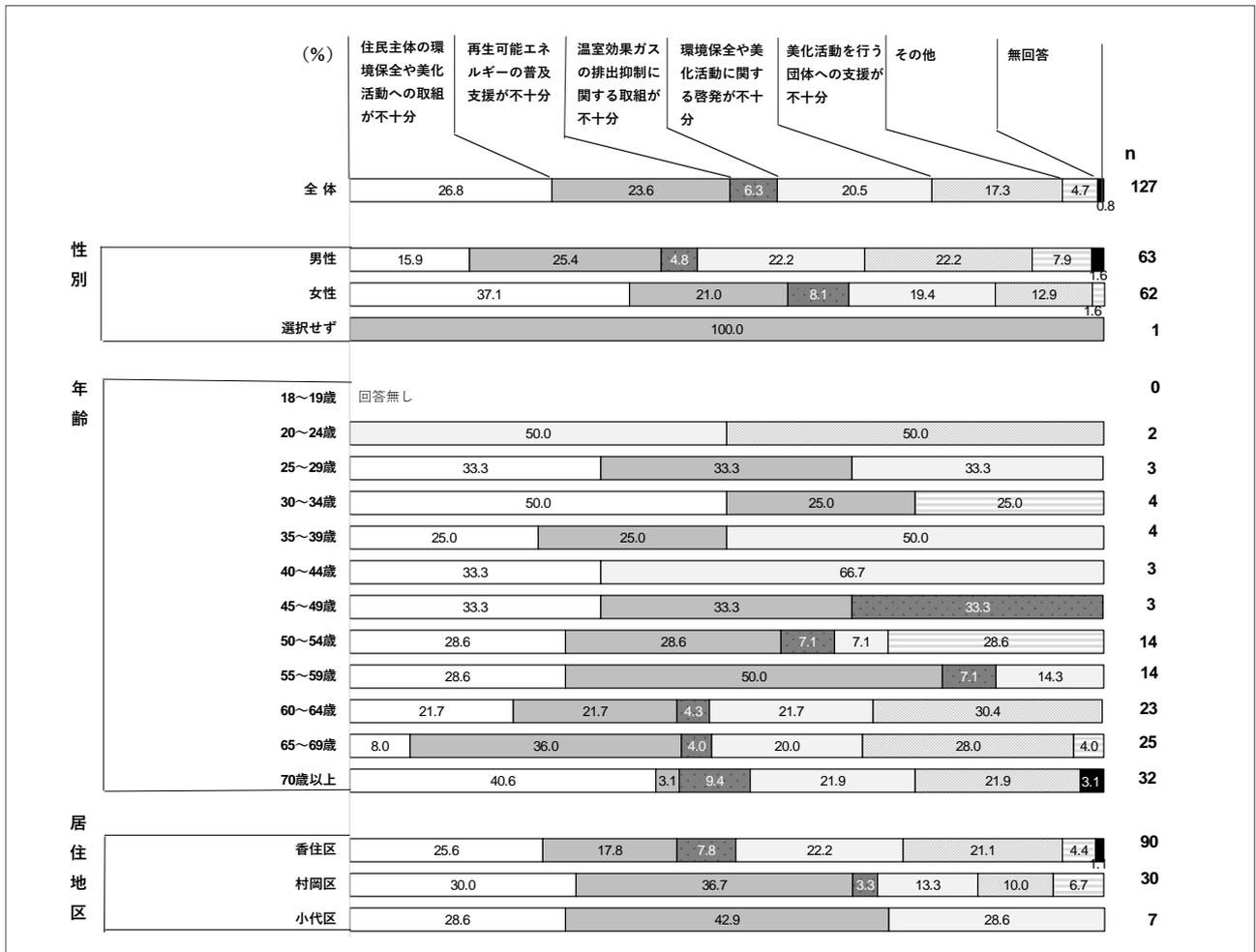
図 28- 1 「自然と共生するまちの推進」の満足度



不満理由

- 「自然と共生するまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分」が 26.8%で最も高く、次いで「再生可能エネルギーの普及支援が不十分」が 23.6%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「再生可能エネルギーの普及支援が不十分」が 25.4%と最も高く、次いで、「環境保全や美化活動に関する啓発が不十分」、「美化活動を行う団体への支援が不十分」がそれぞれ 22.2%となっています。女性では「住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分」が 37.1%と最も高く、次いで、「再生可能エネルギーの普及支援が不十分」が 21.0%となっています。
- 年齢別にみると、「温室効果ガスの排出抑制に関する取組が不十分」が「45～49 歳」で 33.3%と最も高く、次いで、「70 歳以上」で 9.4%、「50～54 歳」、「55～59 歳」でそれぞれ 7.1%となっています。また、「40～44 歳」では「環境保全や美化活動に関する啓発が不十分」が 66.7%と、他の年齢に比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、香住区では「住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分」が 25.6%と最も高く、次いで、「環境保全や美化活動に関する啓発が不十分」が 22.2%となっています。村岡区では「再生可能エネルギーの普及支援が不十分」が 36.7%と最も高く、次いで、「住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分」が 30.0%となっています。小代区では「再生可能エネルギーの普及支援が不十分」が 42.9%と最も高く、次いで、「住民主体の環境保全や美化活動への取組が不十分」、「環境保全や美化活動に関する啓発が不十分」がそれぞれ 28.6%となっています。

図 28-2 「自然と共生するまちの推進」の不満理由



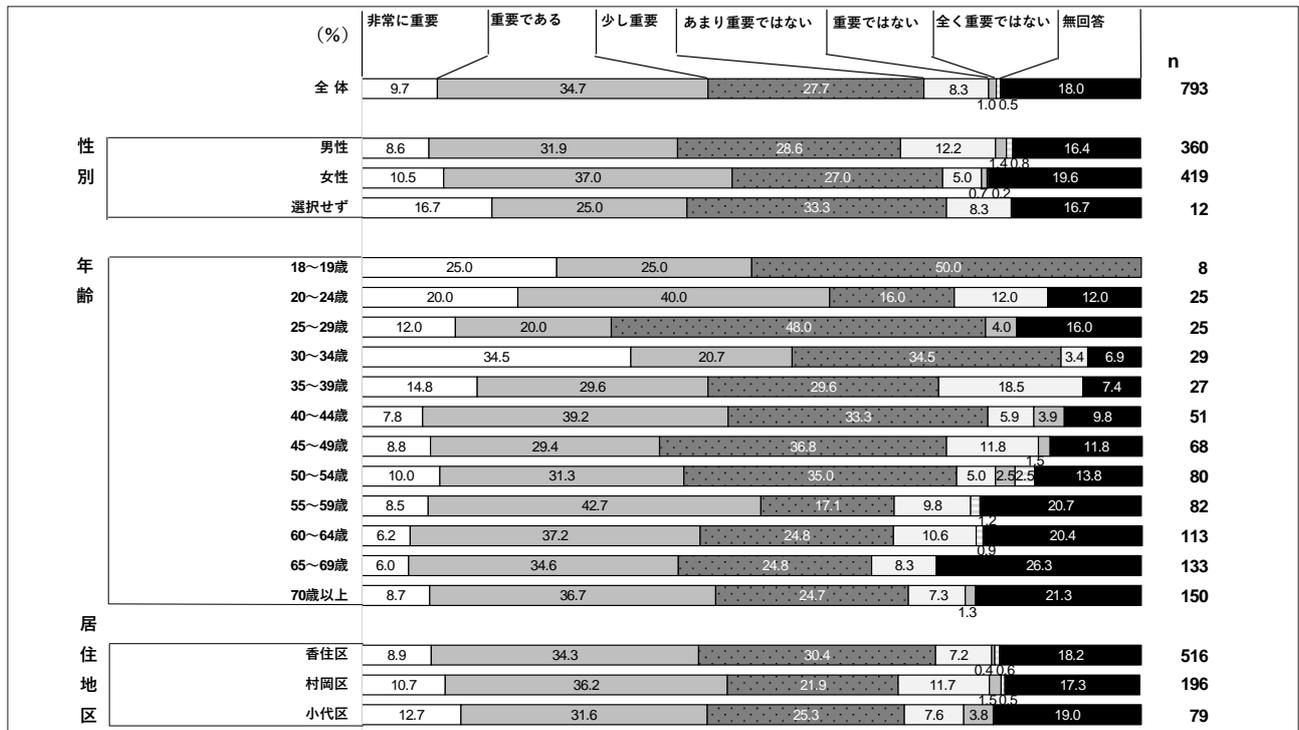
【その他】

10 百万は何にどう使いましたか？／歴史・文化を重んじて他所とのないものをアピールするべき。／太陽光発電パネル設置し（香美町各地）、蓄電気を売ったり、町の財政（自然エネルギー利用で）を増やすようにするか。各地区電柱に太陽光パネル設置し、電気を作る、蓄電池を売って町の財政をふやすとか。蓄電池で停電対策にも。／下水道設備充実のように一步を／シカの生息密度が高くなった影響で、山林等の下層／この施策について何をしているのか、何をする予定

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が 72.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が 9.8%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では 69.1%、女性では 74.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では 14.4%、女性では 5.9%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19 歳」で 100.0%と最も高く、次いで、「30～34 歳」で 89.7%、「40～44 歳」で 80.3%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「35～39 歳」で 18.5%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区で 73.6%と最も高く、次いで小代区で 69.6%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は村岡区で 13.7%と最も高く、次いで小代区で 11.4%、香住区で 8.2%となっています。

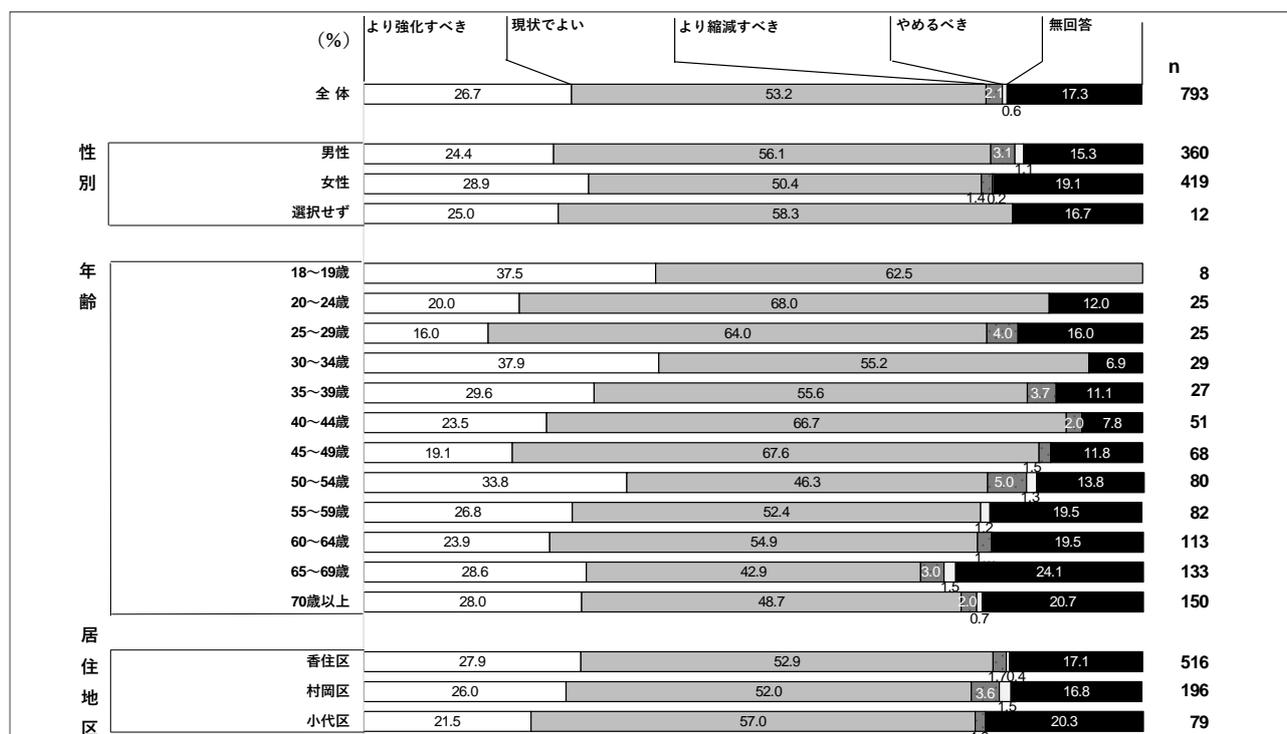
図 28-3 「自然と共生するまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 26.7%、「現状でよい」が 53.2%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 24.4%、女性で 28.9%となっており、「現状でよい」は男性で 56.1%、女性で 50.4%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「30～34 歳」で 37.9%と最も高く、次いで「18～19 歳」で 37.5%となっています。また、「50～54 歳」では「より縮減すべき」が 5.0%と、他の年齢に比べてやや高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 27.9%と最も高く、次いで村岡区で 26.0%、小代区で 21.5%となっています。また、「より縮減すべき」が村岡区で 3.6%と最も高く、次いで香住区で 1.7%、小代区で 1.3%となっています。

図 28-4 「自然と共生するまちの推進」の注力度



問 29 「環境への責任を果たすまちの推進」について

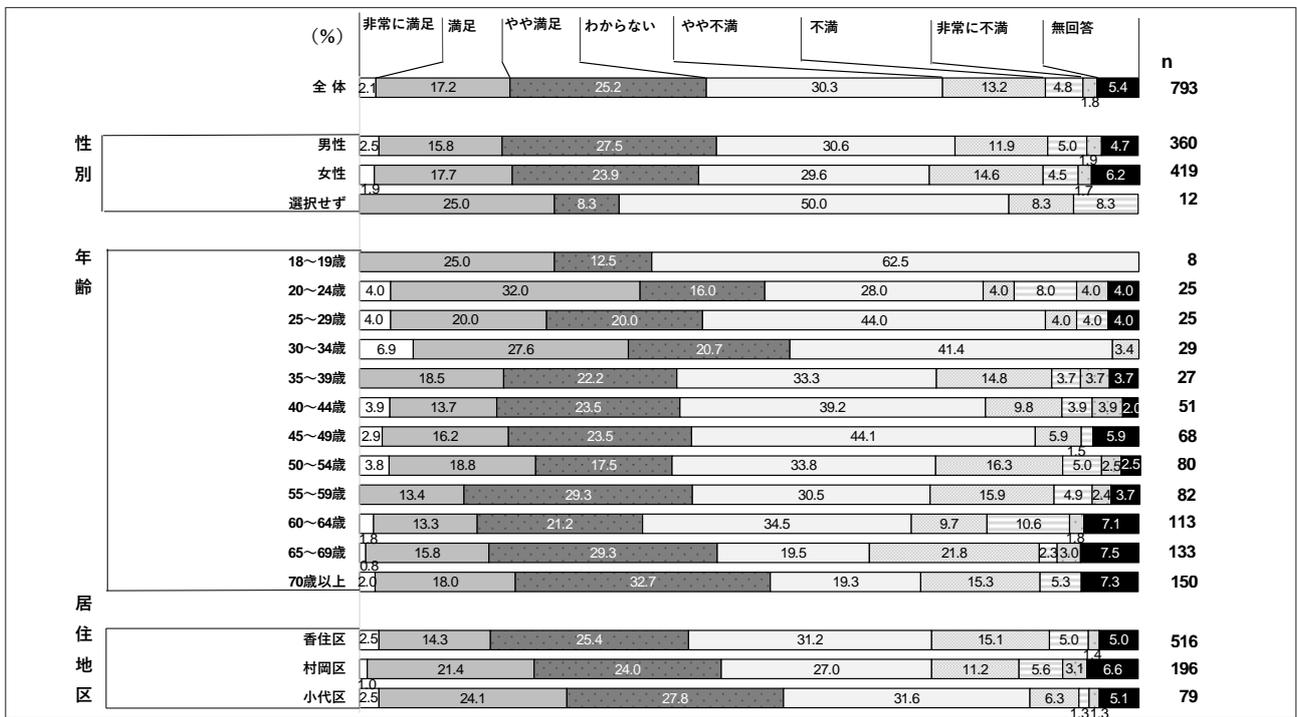
施策内容

継続的なごみの減量化や資源化の啓発を進め、循環型社会の構築を進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が44.5%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の19.8%を24.7ポイント上回っており、「わからない」が30.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が45.8%、女性が43.5%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が18.8%、女性が20.8%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が55.2%で最も高く、次いで、「70歳以上」が52.7%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「65～69歳」が27.1%と最も高く、次いで「50～54歳」で23.8%、「55～59歳」で23.2%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で54.4%と最も高く、次いで村岡区で46.4%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が21.5%と最も高く、次いで、村岡区で19.9%、小代区で8.9%となっています。

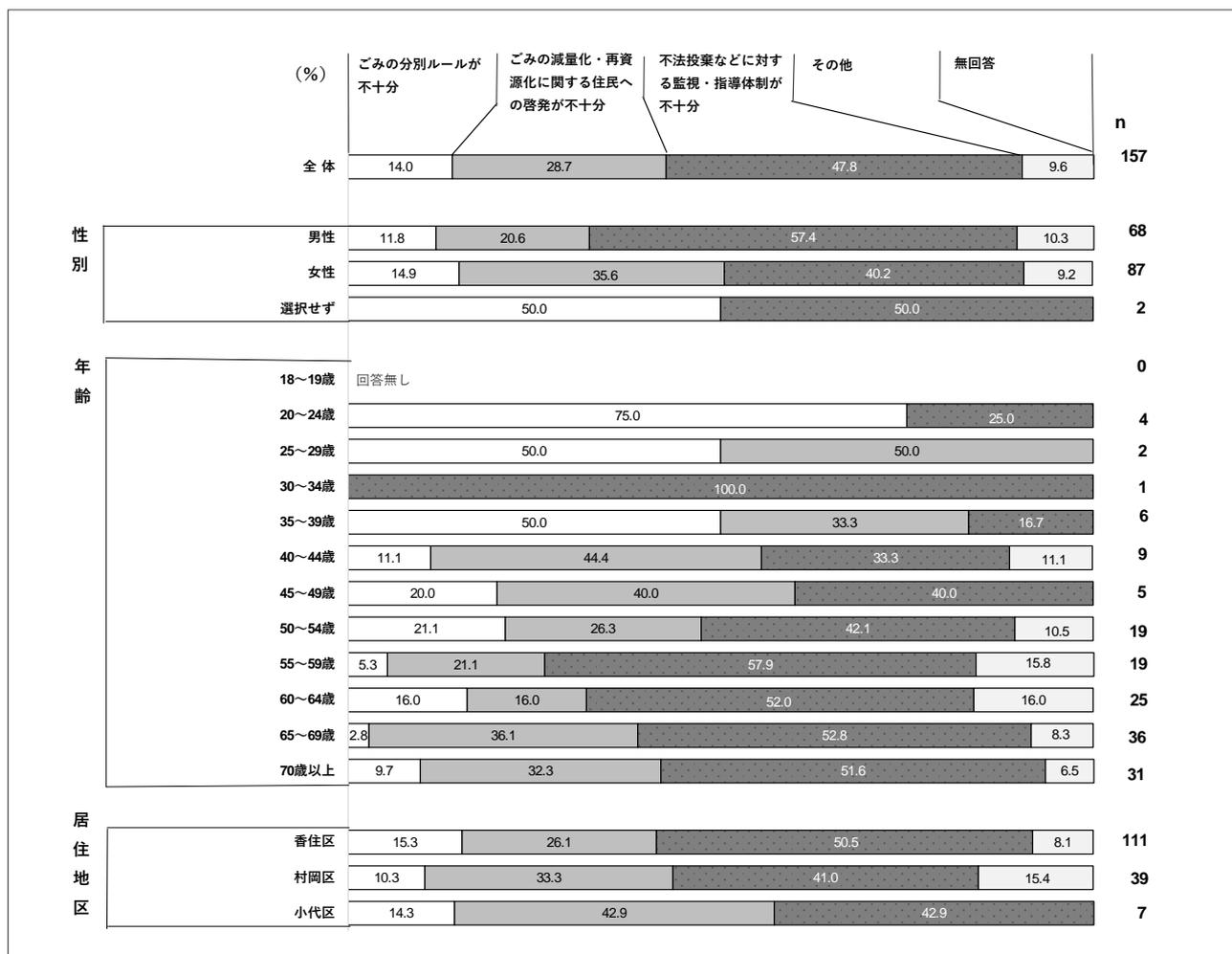
図 29- 1 「環境への責任を果たすまちの推進」の満足度



不満理由

- 「環境への責任を果たすまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「不法投棄などに対する監視・指導体制が不十分」が47.8%で最も高く、次いで「ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓発が不十分」が28.7%、「ごみの分別ルールが不十分」が14.0%となっています。
- 男女別で見ると、「不法投棄などに対する監視・指導体制が不十分」が男性で57.4%、女性で40.2%と最も高く、次いで、「ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓発が不十分」が男性で20.6%、女性で35.6%となっています。
- 年齢別にみると、「不法投棄などに対する監視・指導体制が不十分」が「30～34歳」で100.0%と最も高く、次いで、「55～59歳」で57.9%、「65～69歳」で52.8%となっています。「ごみの分別ルールが不十分」が「20～24歳」で75.0%で、他の年齢に比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、「不法投棄などに対する監視・指導体制が不十分」が香住区で50.5%、村岡区で41.0%、小代区で42.9%と最も高く、小代区では「ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓発が不十分」も42.9%となっています。

図 29-2 「環境への責任を果たすまちの推進」の不満理由



【その他】

外国人労働者の方のゴミ出しの指導をお願いしたい。／リサイクルの無料回収を強化してほしい／町としての立場では住民に対してどう思われますか？／1について分別の意味があるのか不明で、その後の処理がどうなっているからこの分別なんですと分かるお知らせのようなものを何かの際に示してほしい。（例）プラスチック包装容器は分別となっているが燃やすゴミと一緒に入れたら燃やす時の燃料となっているのでは？分けた方が良い理由は？等／分別が厳しく出しづらい／プラスチック類の燃焼化により追加燃料の軽減／袋が高値すぎ・記名は個人情報保護に違反では。置いたままにされるのは不愉快です。名前書いている意味がない！ダメな理由を伝えに持ってくるべき！名前書いているのだから！人権の尊重に違反している！ゴミ分別のアプリを作ってほしい。／大型ゴミの持ち込み（クリーンパーク）が遠い。回収してほしい。大型ゴミが捨てられず非常に不便。／卵ケースやペットボトルを無料で引き取るボックスがある店舗があるといいな。助成を。無料なら持ち込みに行きます。／野焼きへの注意を厳しく／1 コメント：きつすぎ／1 コメント：・沢山の分別ルールが有り、高齢者でも一般人でも戸惑ってしまいますよ。「直してくださいのシール」を貼るよりも、解っている収集者さんに省くのが有利です。・ゴミの収集場所にて「別の班の人間」がゴミ袋を置去りするのを止める様に「広報」及び有線にて伝えること。4 コメント：水質汚染にて訊ねます。矢田川等の水質検査等をし、汚染去れていないかを調べ上げる様。「川遊び」にて<赤痢菌/大腸菌>が発生しており。香美町をも調べる様にする。／1 コメント：結局ほとんど燃やすゴミ袋に入れている。／ペットボトル、カンはずぶしてはいけないのか／分別した後のゴミがどう活用されているか。ここがまだできてない等知らせてほしい。／ゴミステーションが遠い

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が81.6%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が3.5%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では80.9%、女性では82.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では5.3%、女性では1.9%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で96.5%、「35～39歳」で88.8%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「20～24歳」で8.0%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区で82.2%と最も高く、次いで村岡区で81.1%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は小代区で7.6%と最も高く、次いで村岡区で4.1%、香住区で2.7%となっています。

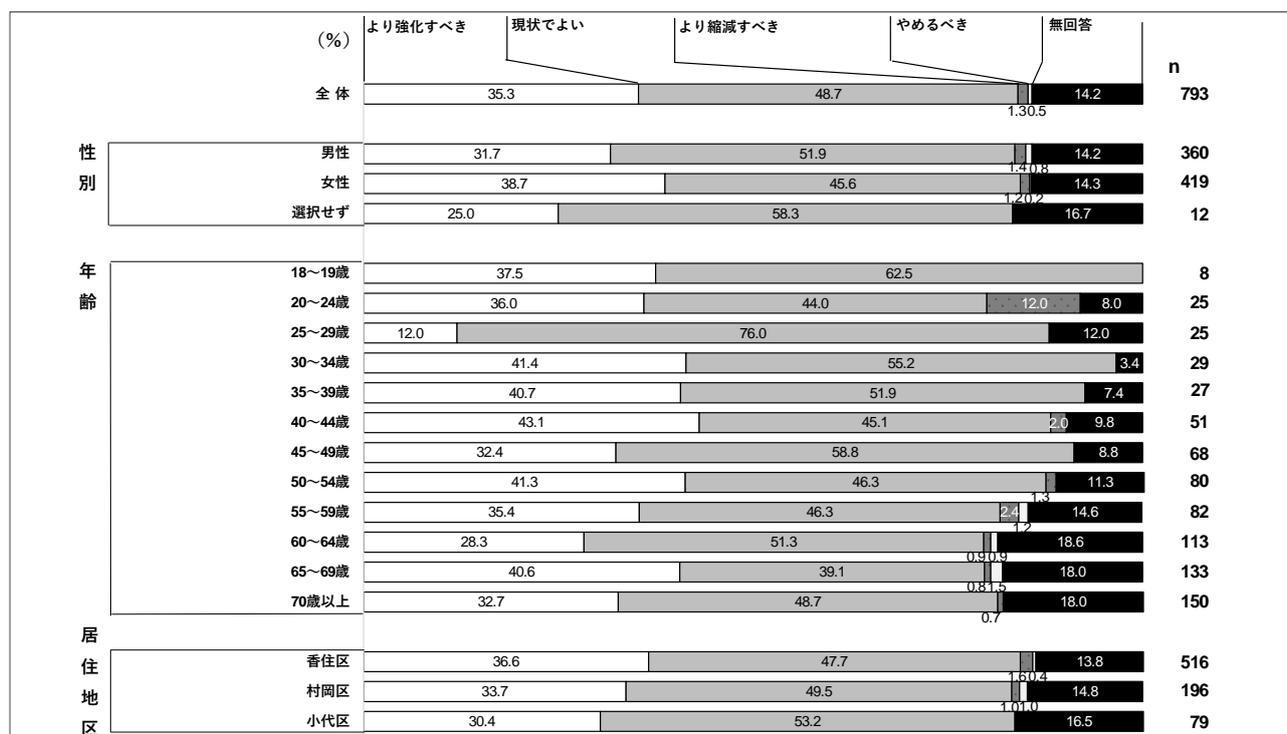
図 29-3 「環境への責任を果たすまちの推進」の重要度

	(%)	重要度						n	
		非常に重要	重要である	少し重要	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない		無回答
全体		16.4	47.2	18.0	2.9	0.5	14.9	793	
性別	男性	13.1	46.7	21.1	4.4	0.5	13.9	360	
	女性	19.1	47.7	15.5	1.4	0.5	15.8	419	
	選択せず	25.0	33.3	16.7	8.3		16.7	12	
年齢	18～19歳		37.5	37.5			25.0	8	
	20～24歳		32.0	36.0	16.0	8.0	8.0	25	
	25～29歳		20.0	28.0	36.0	4.0	12.0	25	
	30～34歳		24.1	55.2	17.2	3.4		29	
	35～39歳		22.2	40.7	25.9	3.7	7.4	27	
	40～44歳		17.6	54.9	13.7	3.9	9.8	51	
	45～49歳		14.7	41.2	27.9	4.4	2.9	8.8	68
	50～54歳		21.3	46.3	16.3	2.5	13.8	80	
	55～59歳		14.6	46.3	18.3	2.4	15.9	82	
	60～64歳		13.3	43.4	21.2	3.5	18.6	113	
居住地	香住区		16.3	44.4	21.5	2.3	15.1	516	
	村岡区		18.4	51.0	11.7	3.1	14.8	196	
	小代区		12.7	54.4	11.4	6.3	13.9	79	

注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 35.3%、「現状でよい」が 48.7%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 31.7%、女性で 38.7%となっており、「現状でよい」は男性で 51.9%、女性で 45.6%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「40～44 歳」で 43.1%と最も高く、次いで「30～34 歳」で 41.4%となっています。また、「20～24 歳」では「より縮減すべき」が 12.0%と、他の年齢に比べて高くなっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が香住区で 36.6%と最も高く、次いで村岡区で 33.7%、小代区で 30.4%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で 1.6%と最も高く、次いで村岡区で 1.0%となっています。

図 29-4 「環境への責任を果たすまちの推進」の注力度



基本方針VI 協働によるまちづくりの推進

問 30 「協働で築かれるまちの推進」について

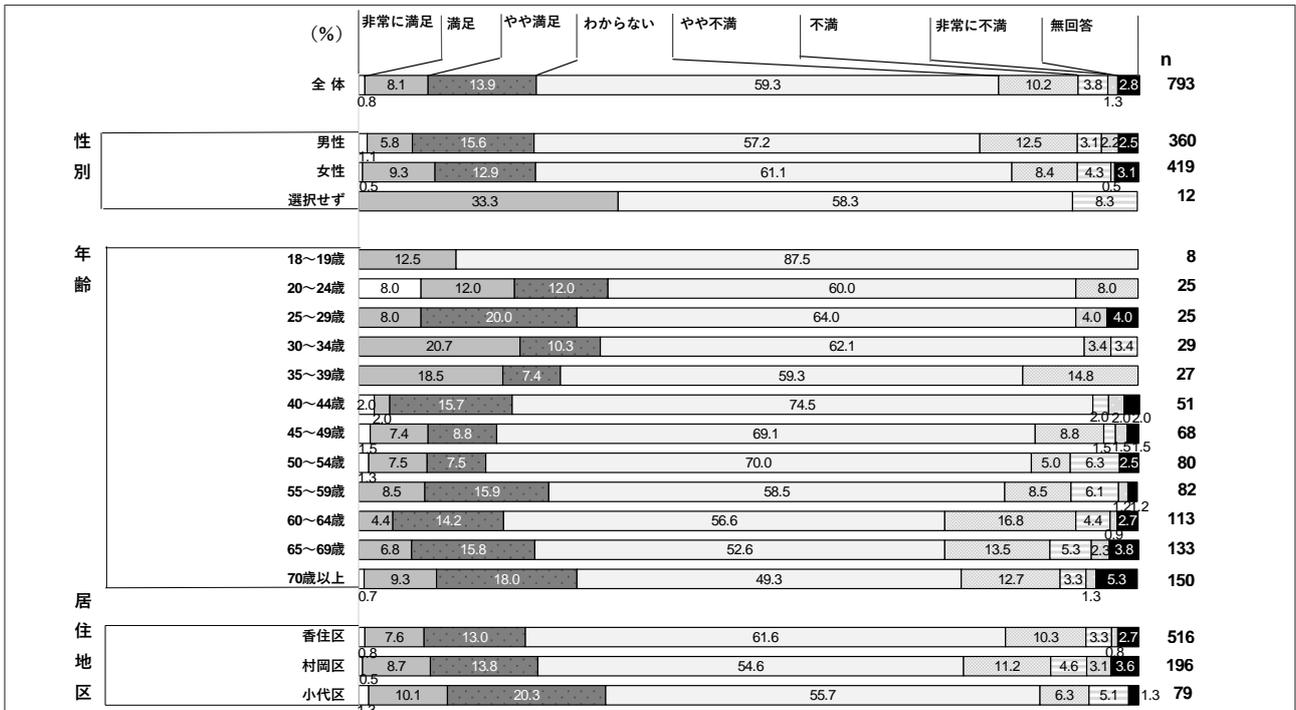
施策内容

本町の個性をより輝かせるため、それぞれの役割を明確にし自らの責任と役割を果たしながら、各課や組織、団体等との連携体制の構築に努めることで、協働のまちづくりを進めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 22.8%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 15.3%を 7.5 ポイント上回っており、「わからない」が 59.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 22.5%、女性が 22.7%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 17.8%、女性が 13.2%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「20～24 歳」が 32.0%で最も高く、次いで、「30～34 歳」が 31.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「60～64 歳」が 22.1%と最も高く、次いで「65～69 歳」で 21.1%、「70 歳以上」で 17.3%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で 31.7%と最も高く、次いで村岡区で 23.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が 18.9%と最も高く、次いで、香住区で 14.4%、小代区で 11.4%となっています。

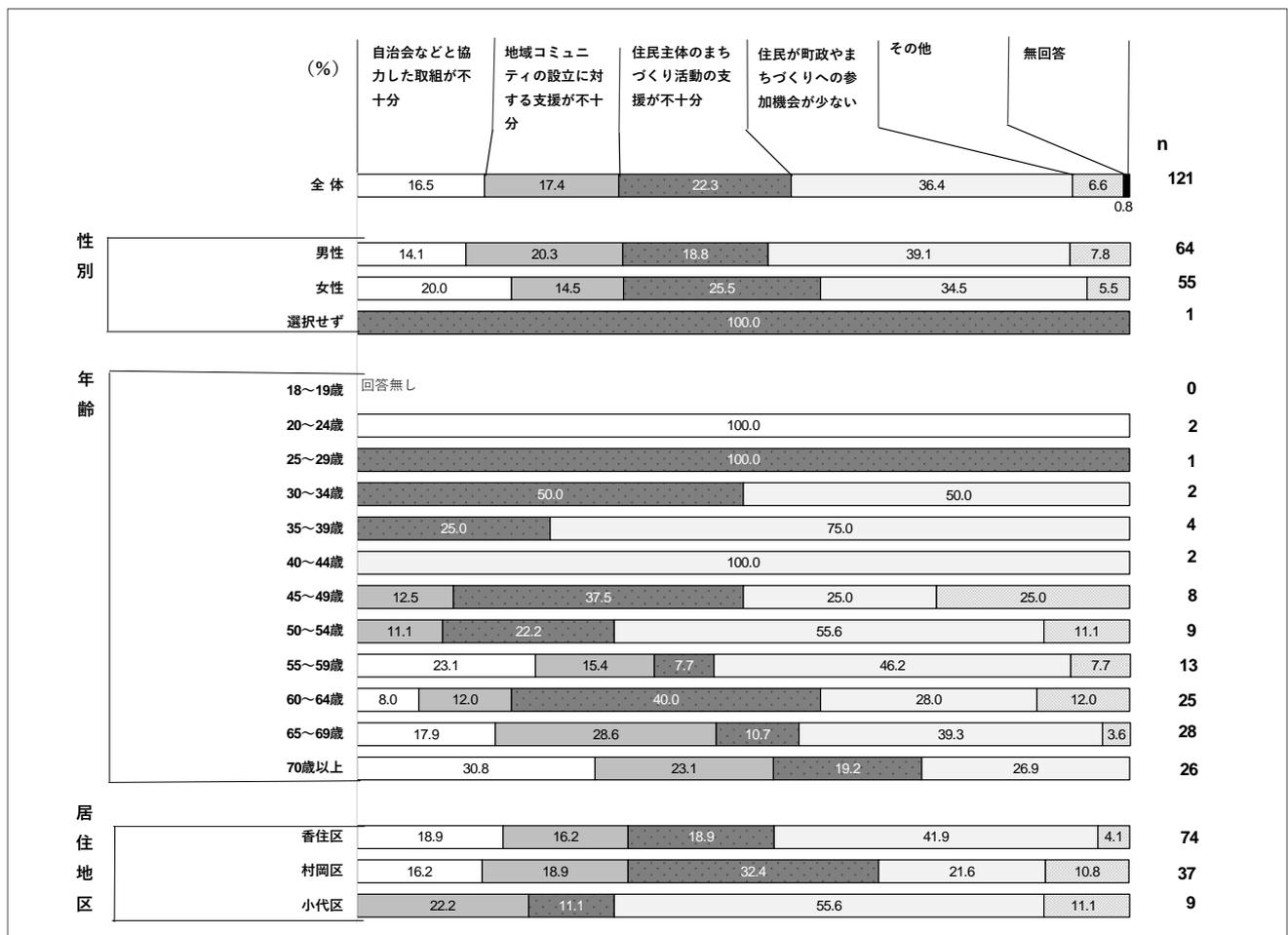
図 30-1 「協働で築かれるまちの推進」の満足度



不満理由

- 「協働で築かれるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 36.4%で最も高く、次いで「住民主体のまちづくり活動の支援が不十分」が 22.3%、「地域コミュニティの設立に対する支援が不十分」が 17.4%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 39.1%と最も高く、次いで、「地域コミュニティの設立に対する支援が不十分」が 20.3%となっています。女性では、「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 34.5%と最も高く、次いで「住民主体のまちづくり活動の支援が不十分」が 25.5%となっています。
- 年齢別にみると、「自治会などと協力した取組が不十分」が「70 歳以上」で 30.8%と最も高く、次いで、「55～59 歳」で 23.1%、「65～69 歳」で 17.9%となっています。
- 居住区別にみると、香住区では「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 41.9%と最も高く、次いで、「住民主体のまちづくり活動の支援が不十分」、「自治会などと協力した取組が不十分」がそれぞれ 18.9%となっています。村岡区では「住民主体のまちづくり活動の支援が不十分」が 32.4%、次いで、「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 21.6%となっています。小代区では「住民が町政やまちづくりへの参加機会が少ない」が 55.6%と最も高く、次いで、「地域コミュニティの設立に対する支援が不十分」が 22.2%となっています。

図 30-2 「協働で築かれるまちの推進」の不満理由



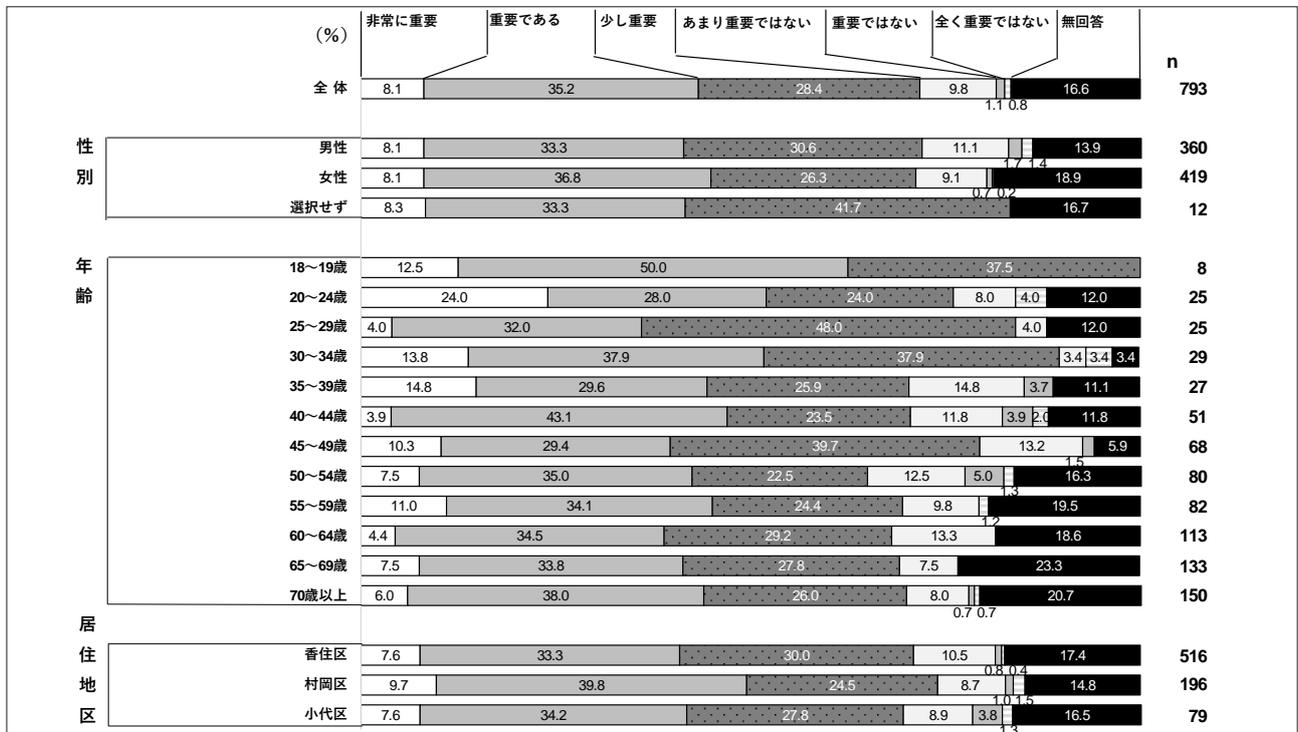
【その他】

自治会に頼らず町がするべき／盛り上げようとしての外れな取組をして負担を感じる／協働って初めて聞きました／後継者の育成と担い手の負担過多の解消

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が71.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が11.7%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では72.0%、女性では71.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では14.2%、女性では10.0%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で89.6%、「25～29歳」で84.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「50～54歳」で18.8%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約7割となっています。また、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、小代区で14.0%と最も高く、次いで香住区で11.7%、村岡区で11.2%となっています。

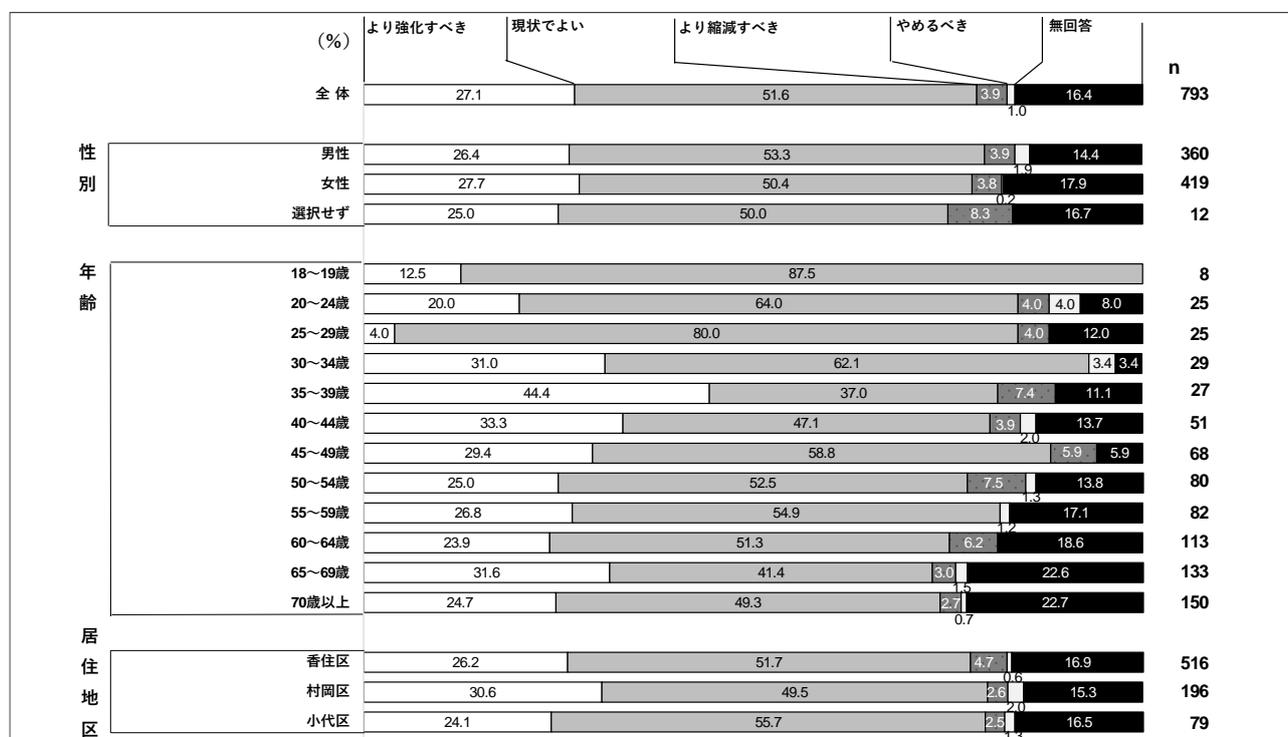
図 30-3 「協働で築かれるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が27.1%、「現状でよい」が51.6%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で26.4%、女性で27.7%となっており、「現状でよい」は男性で53.3%、女性で50.4%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「35～39歳」で44.4%と最も高く、次いで「40～44歳」で33.3%となっています。また、「やめるべき」は「20～24歳」で4.0%と最も高く、次いで「30～34歳」で3.4%となっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で30.6%と最も高く、次いで香住区で26.2%、小代区で24.1%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で4.7%と最も高く、次いで村岡区で2.6%、小代区で2.5%となっています。

図 30-4 「協働で築かれるまちの推進」の注力度



問 31 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」について

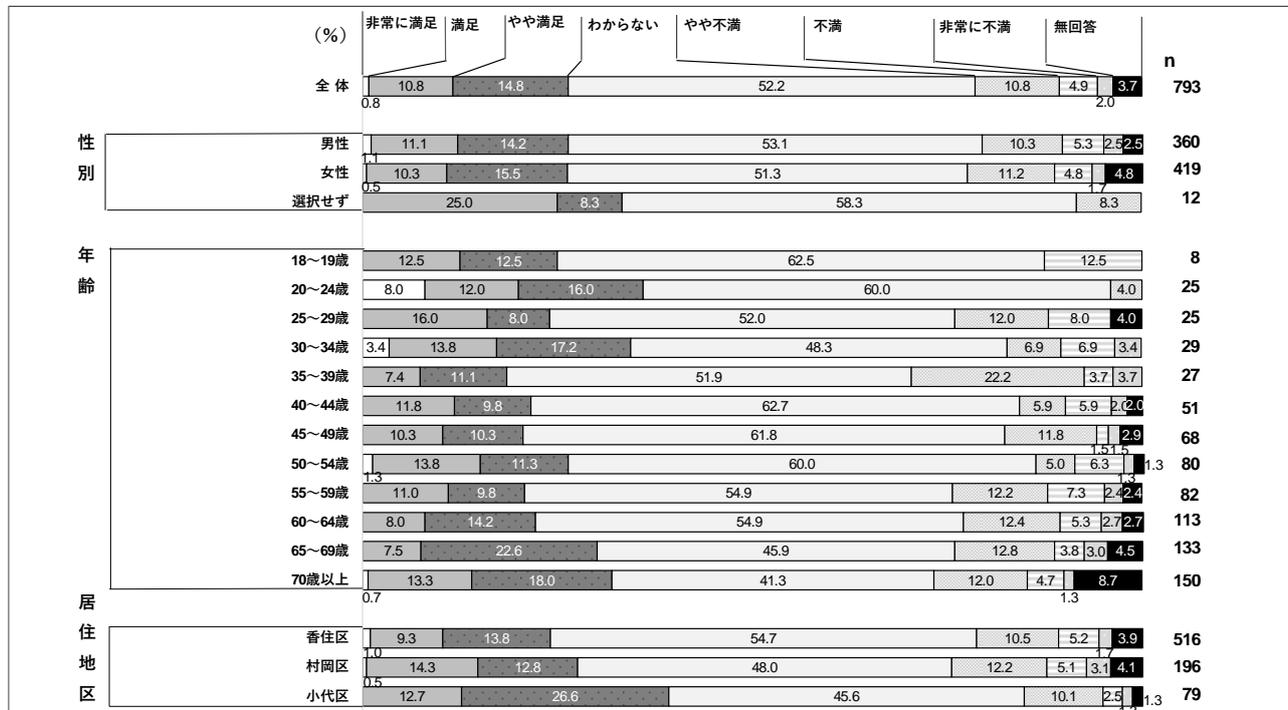
施策内容

不当な差別の心や行動を許さないまちとして、男女共同参画の取組や、さらなる人権啓発活動の推進に努めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が 26.4%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の 17.7%を 8.7 ポイント上回っており、「わからない」が 52.2%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が 26.4%、女性が 26.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が 18.1%、女性が 17.7%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「20～24 歳」が 36.0%で最も高く、次いで、「30～34 歳」が 34.4%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「35～39 歳」が 29.6%と最も高く、次いで「55～59 歳」で 21.9%、「60～64 歳」で 20.4%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で 39.3%と最も高く、次いで村岡区で 27.6%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は村岡区が 20.4%と最も高く、次いで、香住区で 17.4%、小代区で 13.9%となっています。

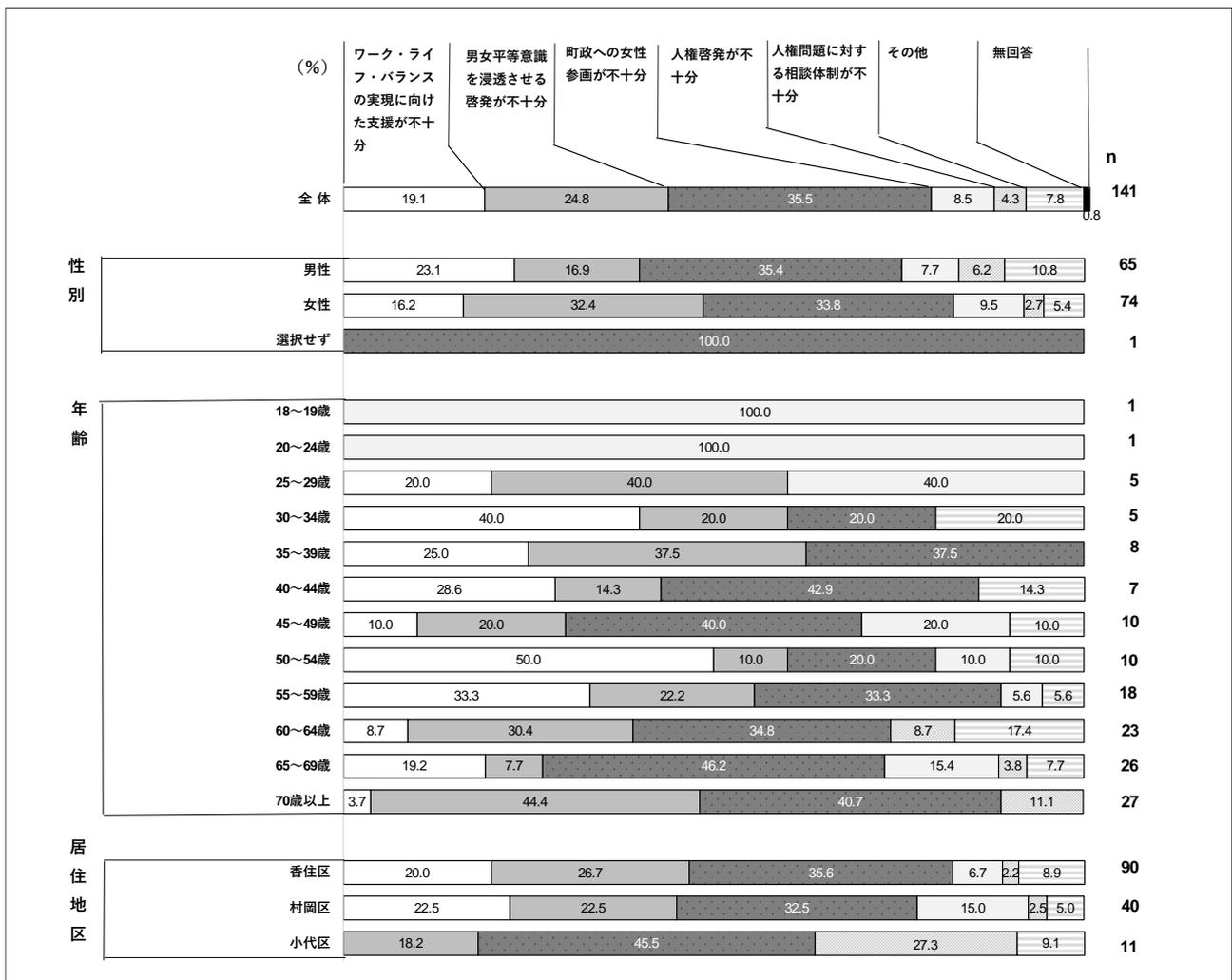
図 31-1 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」の満足度



不満理由

- 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「町政への女性参画が不十分」が 35.5%で最も高く、次いで「男女平等意識を浸透させる啓発が不十分」が 24.8%、「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援が不十分」が 19.1%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「町政への女性参画が不十分」が 35.4%と最も高く、次いで、「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援が不十分」が 23.1%となっています。女性では、「町政への女性参画が不十分」が 33.8%と最も高く、次いで「男女平等意識を浸透させる啓発が不十分」が 32.4%となっています。
- 年齢別にみると、「町政への女性参画が不十分」が「65～69 歳」で 46.2%と最も高く、次いで、「40～44 歳」で 42.9%、「70 歳以上」で 40.7%となっています。
- 居住区別にみると、「町政への女性参画が不十分」が香住区で 35.6%、村岡区で 32.5%、小代区で 45.5%と最も高くなっています。また、小代区では「人権問題に対する相談体制が不十分」が 27.3%と、他の区と比べて高くなっています。

図 31-2 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」の不満理由



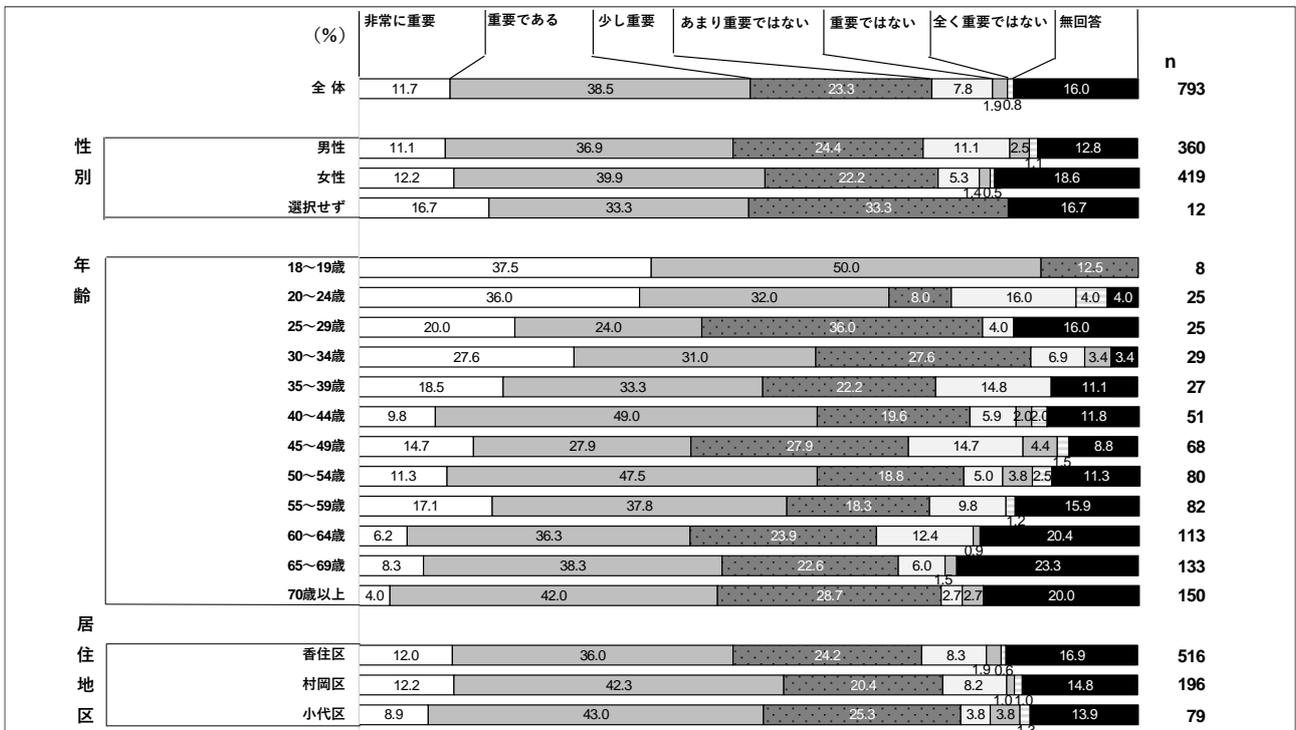
【その他】

男女ではなく能力のある人がやるべき／逆差別が起こらないようにしていく体制も必要／男性の家事や育児への参加に対する意識を高める教育が不十分／マイナス発想の啓発は逆効果／なかなか女性は外へ出たがらない。この意識をどう変えていけばいいのか？／古い考え方の人が多く、男女平等の意識改革は難し 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が73.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が10.5%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では72.4%、女性では74.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では14.7%、女性では7.2%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で86.2%、「25～29歳」で80.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「45～49歳」で20.6%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約7割となっています。また、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、香住区で10.8%と最も高く、次いで村岡区で10.2%、小代区で8.9%となっています。

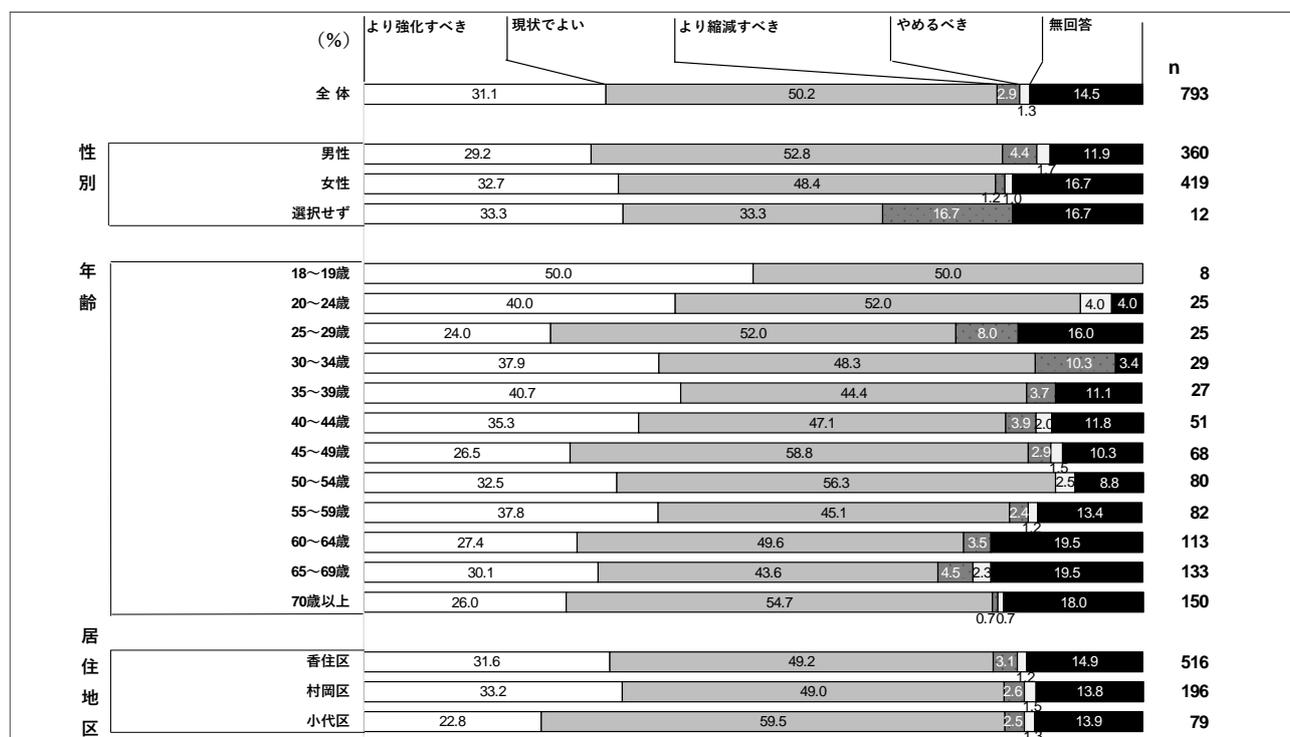
図 31-3 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 31.1%、「現状でよい」が 50.2%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 29.2%、女性で 32.7%となっており、「現状でよい」は男性で 52.8%、女性で 48.4%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「18～19 歳」で 50.0%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 40.7%となっています。また、「やめるべき」は「20～24 歳」で 4.0%と最も高く、次いで「50～54 歳」で 2.5%となっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 33.2%と最も高く、次いで香住区で 31.6%、小代区で 22.8%となっています。また、「より縮減すべき」が香住区で 3.1%と最も高く、次いで村岡区で 2.6%、小代区で 2.5%となっています。

図 31-4 「男女共同参画社会の形成と人権の尊重」の注力度



基本方針Ⅶ 経営的視点にたった行財政運営の推進

問 32 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」について

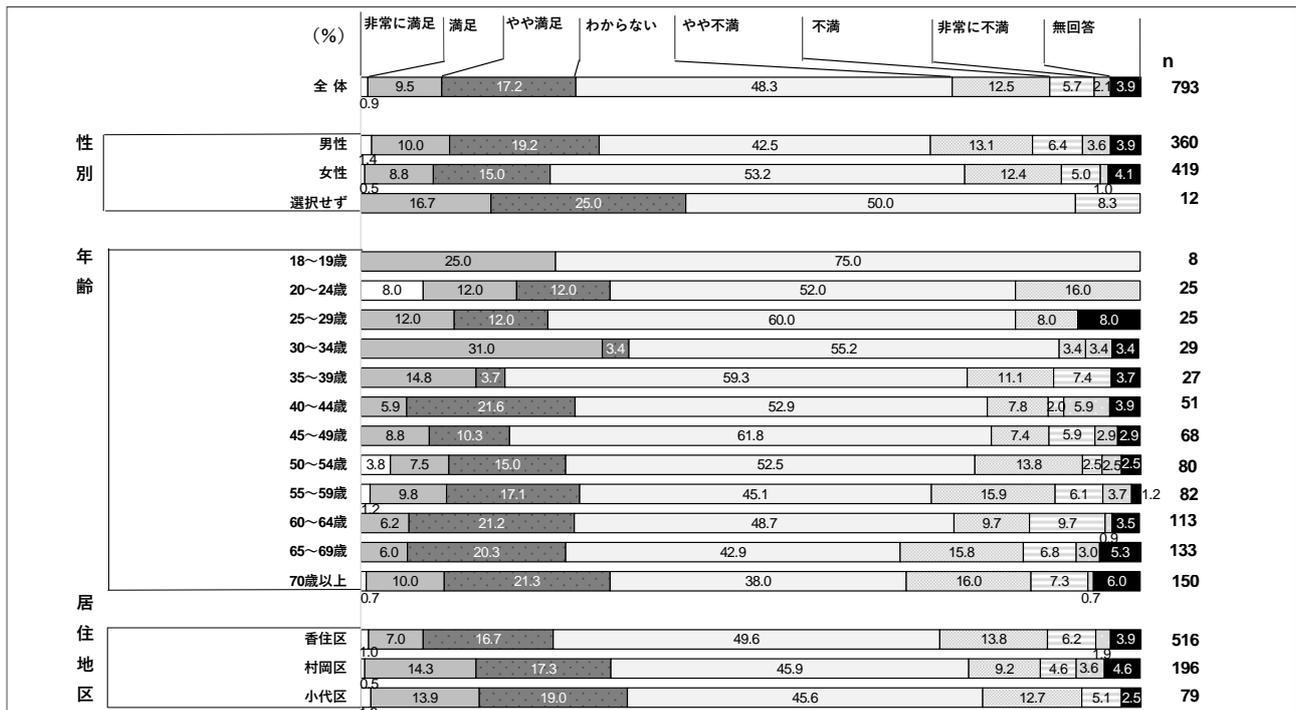
施策内容

さまざまな行政課題に対し、生活者視点・経営的視点にたった町政運営により、行財政改革の取組を進めています。また、適正かつ正確な情報公開を図り、地域情報化を推進するなど、持続可能な財政運営の実現に向け、町政運営の効率化と開かれた町政の推進に努めています。

満足度

- 全体では、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）が27.6%で、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）の20.3%を7.3ポイント上回っており、「わからない」が48.3%となっています。
- 男女別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は男性が30.6%、女性が24.3%となっています。また、不満（「やや不満」+「不満」+「非常に不満」）は男性が23.1%、女性が18.4%となっています。
- 年齢別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は「30～34歳」が34.4%で最も高く、次いで、「20～24歳」、「70歳以上」がそれぞれ32.0%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は「55～59歳」が25.7%と最も高く、次いで「65～69歳」で25.6%、「70歳以上」で24.0%となっています。
- 居住地区別にみると、満足（「非常に満足」+「満足」+「やや満足」）は小代区で34.2%と最も高く、次いで村岡区で32.1%となっています。また、不満（「不満」+「やや不満」+「非常に不満」）は香住区が21.9%と最も高く、次いで、小代区で17.8%、村岡区で17.4%となっています。

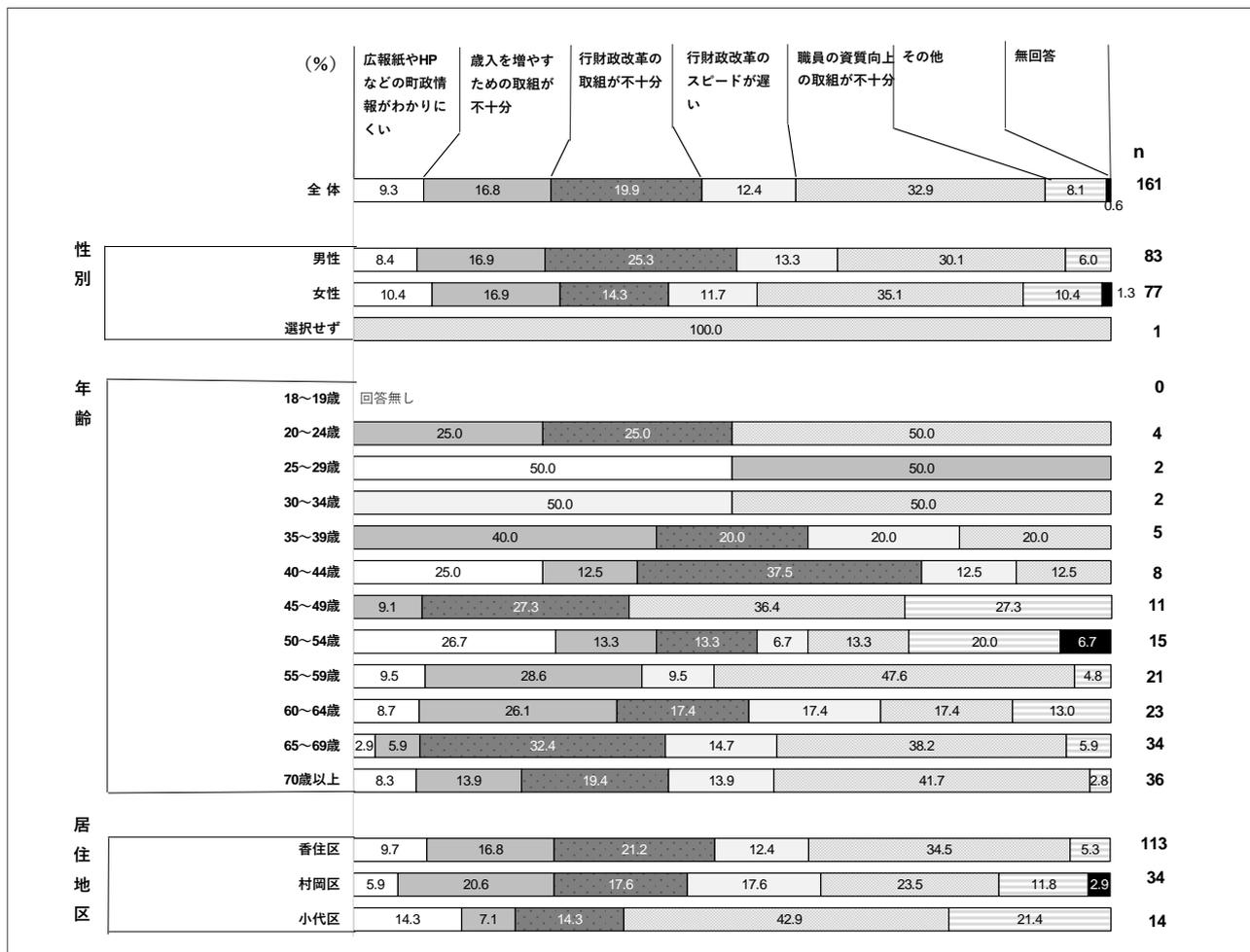
図 32-1 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」の満足度



不満理由

- 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果、全体では、「職員の資質向上の取組が不十分」が 32.9%で最も高く、次いで「行財政改革の取組が不十分」が 19.9%、「歳入を増やすための取組が不十分」が 16.8%となっています。
- 男女別で見ると、男性では「職員の資質向上の取組が不十分」が 30.1%と最も高く、次いで、「行財政改革の取組が不十分」が 25.3%となっています。女性では、「職員の資質向上の取組が不十分」が 35.1%と最も高く、次いで「歳入を増やすための取組が不十分」が 16.9%となっています。
- 年齢別にみると、「行財政改革の取組が不十分」が「40～44 歳」で 37.5%と最も高く、次いで、「65～69 歳」で 32.4%、「45～49 歳」で 27.3%となっています。
- 居住区別にみると、「職員の資質向上の取組が不十分」が香住区で 34.5%、村岡区で 23.5%、小代区で 42.9%と最も高くなっています。

図 32-2 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」の不満理由



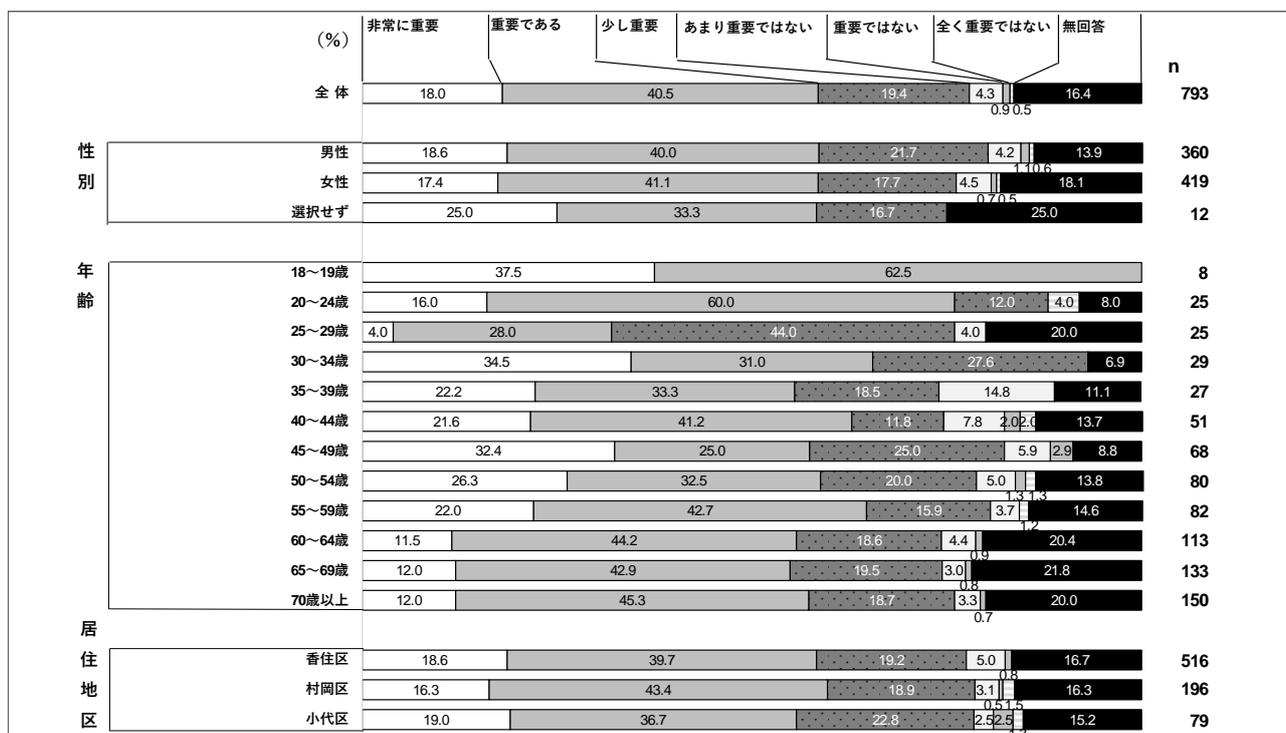
【その他】

矢田橋つくるより医にお金をつかえ／役所内での理念浸透が不十分。ビジョン、ミッションを意識する事／ふるさと納税にさらに力を入れてほしい／HP がひらける環境ではない／スマホがあるのでもっとペーパーレスにしたほうがよい。QRコードよみとり等もっと活用すべき。／仕事ができない職員への教育ができていない。昨年度からの改善がみられない／旧3町のまとまり感が感じられない／行財政の可視化ない／人口減で税収減が予想されるため、より効率性の重要視が必要？／住民に寄り添った行政給付金などの開示 他

重要度

- 全体では、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）が77.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）が5.7%となっています。
- 男女別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は男性では80.3%、女性では76.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、男性では5.9%、女性では5.7%となっています。
- 年齢別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は「18～19歳」で100.0%と最も高く、次いで、「30～34歳」で93.1%、「20～24歳」で88.0%となっています。重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）の割合は「35～39歳」で14.8%と最も高くなっています。
- 居住区別にみると、重要（「非常に重要」+「重要である」+「少し重要」）は香住区、村岡区、小代区のいずれにおいても約8割となっています。また、重要ではない（「あまり重要ではない」+「重要ではない」+「全く重要ではない」）は、小代区で6.3%と最も高く、次いで香住区で5.8%、村岡区で5.1%となっています。

図 32-3 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」の重要度



注力度

- 全体では、「より強化すべき」が 37.3%、「現状でよい」が 42.9%となっています。
- 男女別にみると、「より強化すべき」が男性で 36.4%、女性で 38.7%となっており、「現状でよい」は男性で 45.3%、女性で 40.8%となっています。
- 年齢別にみると、「より強化すべき」が「50～54 歳」で 45.0%と最も高く、次いで「35～39 歳」で 44.4%となっています。また、「やめるべき」は「20～24 歳」で 4.0%と最も高く、次いで「40～44 歳」で 2.0%となっています。
- 居住区別にみると、「より強化すべき」が村岡区で 40.3%と最も高く、次いで香住区で 37.2%、小代区で 30.4%となっています。また、「より縮減すべき」が小代区で 3.8%と最も高く、次いで香住区で 2.5%、村岡区で 2.0%となっています。

図 32-4 「経営的視点にたった行財政運営がなされるまちの推進」の注力度

